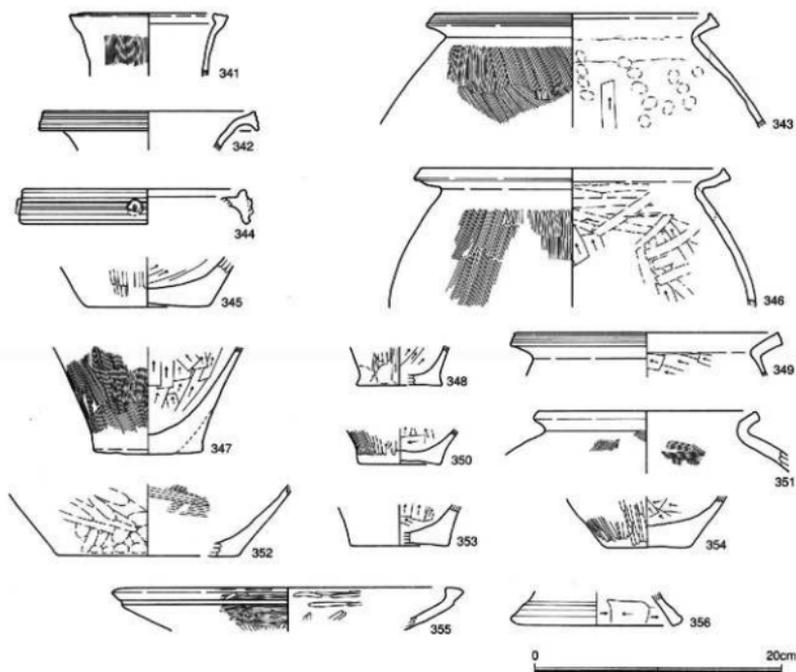
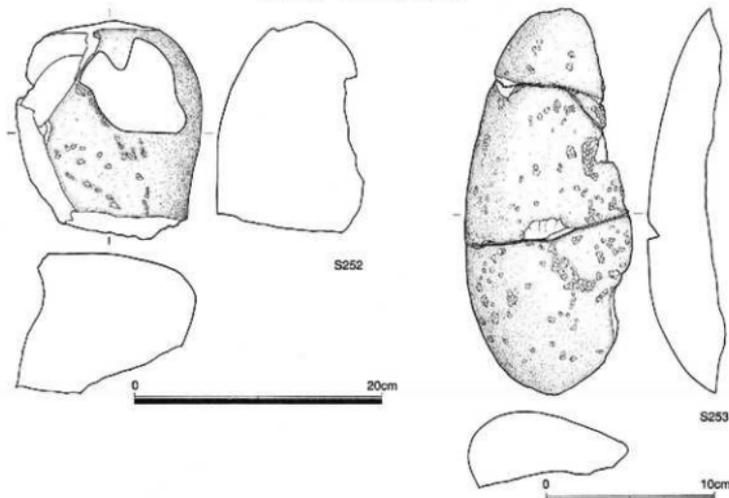


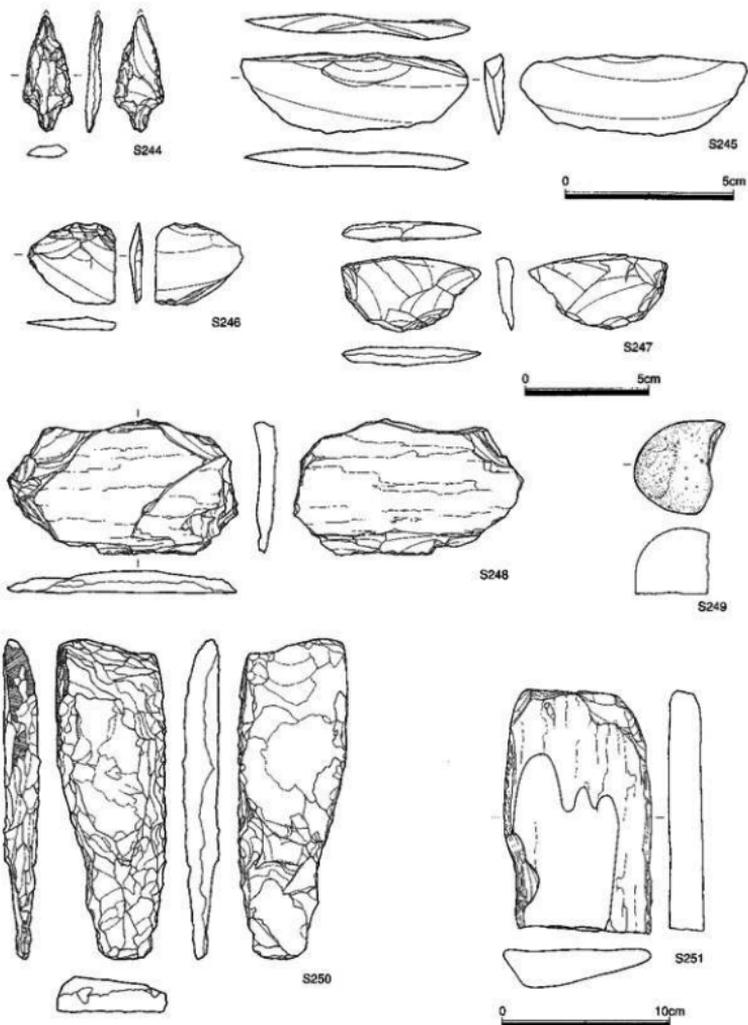
第129図 SB2035焼土、炭化材出土状況図 (S=1/25)



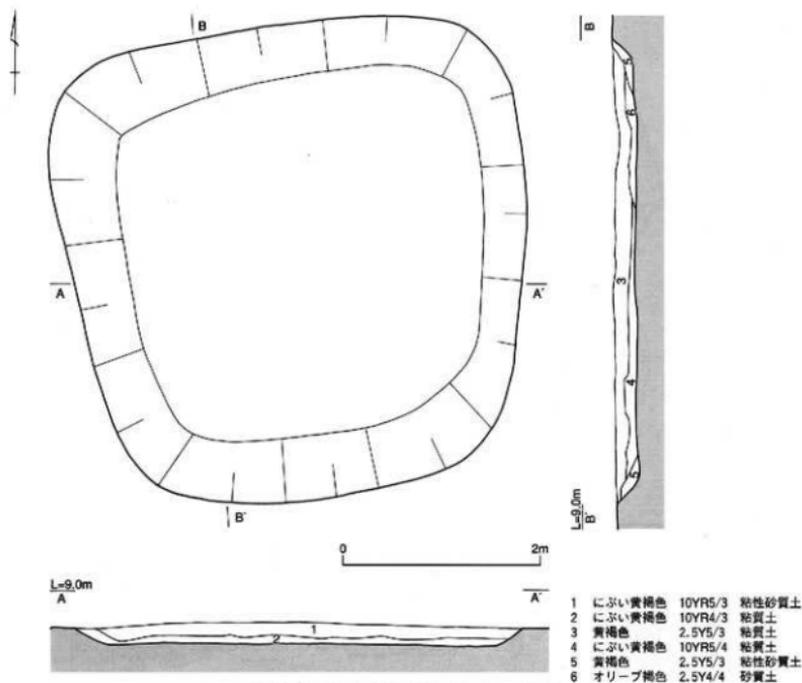
第130图 SB2035出土土器



第131图 SB2035出土土器(1)



第132图 SB2035出土石器(2)



第133図 SB2036平・断面図 (S=1/50)

竪穴住居跡 (SB2036)

位置 10区 Loc.D2 ε I・II mn20~1

平面形 隅丸方形

床面積 12.0m<sup>2</sup>

土層 6層

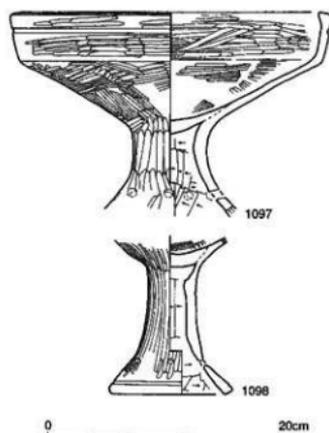
支柱穴 確認されていない。

炉跡 確認されていない。 施設 確認されていない。

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できたのは、高杯の2点である。

時期 弥生時代中期後半

備考 支柱穴、炉跡が確認できなかったこともあり、竪穴住居跡と断定はできない。



第134図 SB2036出土土器

#### 竪穴住居跡 (SB2037)

位置 10区 Loc.D2 e II pq1~3

平面形 円形もしくは楕円形である。(2度の建て替えて、1~3次住居と認識できる。)

床面積 46.8㎡

土層 44層

主柱穴 EP1~13の13基 (径30~50cm、深さ15~45cm)

炉跡 EH1~4の4基

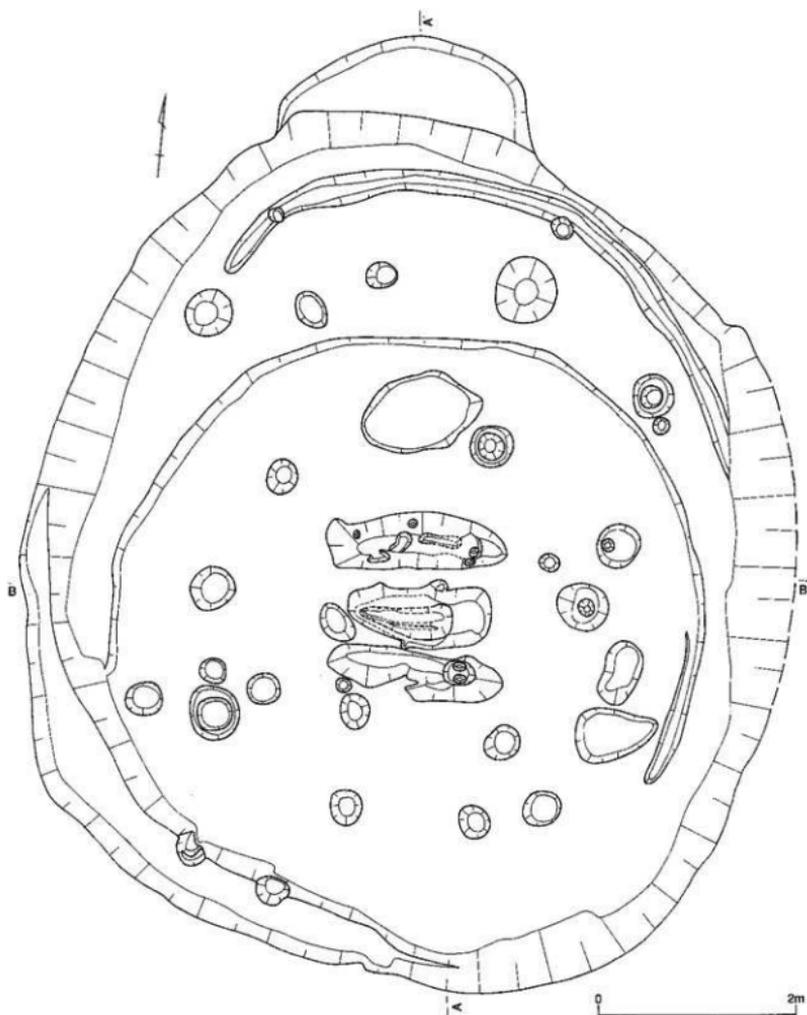
施設 周壁溝、張り出し部、高床部、ピット、土坑

遺物出土状況 かなりの量の遺物が出土している。本報告書に図示した遺物の約1割は、SB2037からの出土である。また、種類も豊富で、土器、石器、鉄器、ガラス玉、管玉が検出されている。上層堆積状況が複雑で、1~3次住居それぞれに所属する遺物を明確に分層できなかつた。ただし、遺物出土状況図にあるように、大部分の遺物は、3次住居の床面直上から出土している。また、2次住居出土土器と3次住居出土土器に型式学的な様式差は認められない。したがって、SB2037出土遺物は他の遺構と比べて、良好な一括出土遺物と考えられる。

時期 弥生時代中期末

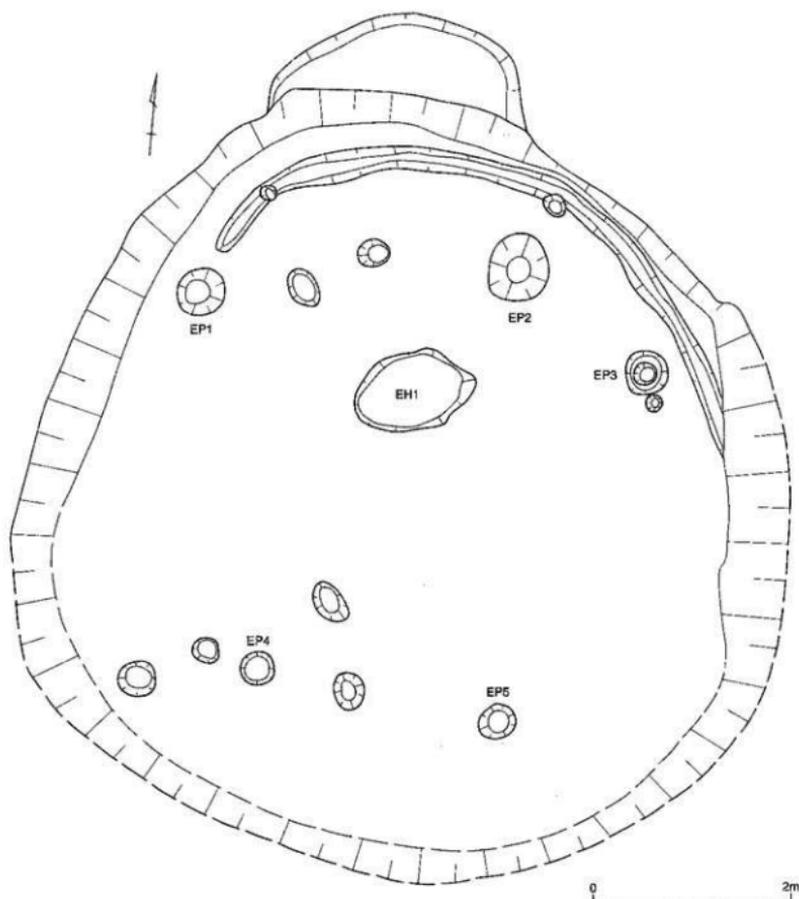
備考 断面観察から2回の建て替え作業を行っており、古い方から1次住居、2次住居、3次住居として区別した。年報作成時の住居規模等と若干の相違があるが、基本的なところには変わらない。

1次住居は、長軸750cm、短軸660cmの楕円形である。北側には、幅250cm、奥行き80cmの張り出し部が備わり、北東側の壁体に沿って、幅20cm前後の壁溝が巡る。主柱穴は、EP1~5の5基と考えたい。炉跡EH1は、住居中央やや北寄りに位置する。長軸120cm、短軸80cm、深さ10cm以下で遺存状態は悪い。2~3次住居構築時に削平を受け、基底部のみ残存していた。



第135図 SB2037平面図 (S=1/50)

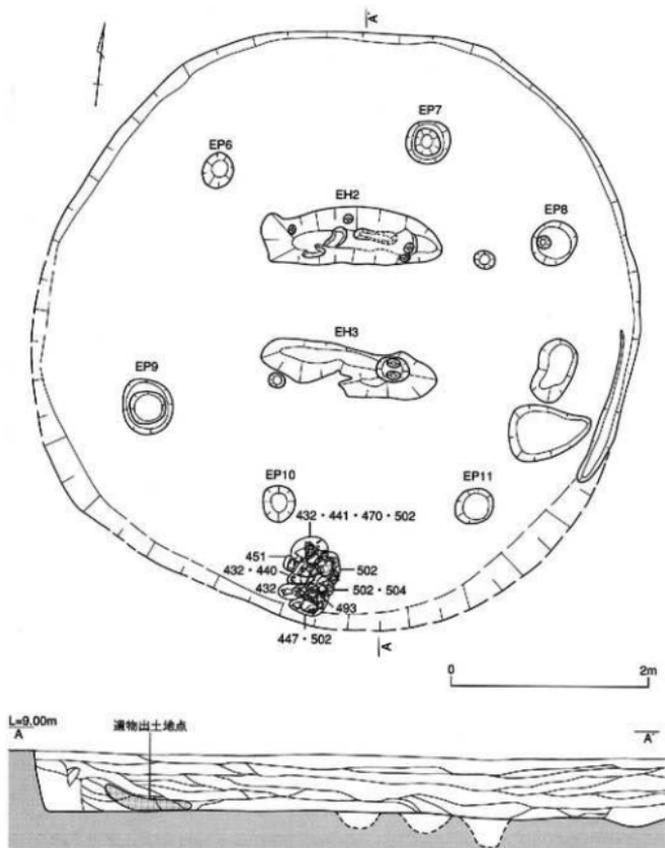
2次住居は、長軸620cm、短軸610cmのほぼ円形を呈する。主柱穴はEP6~11までの6基と考えられる。炉跡EH2、EH3は、長軸180cm、短軸30cmの長楕円形で、深さ50cmを測る。覆土は複雑な堆積状況を示しており、単なる煮炊きのために使用された炉跡でないことがわかる。炭化物、焼土を多量に含ん



第136図 SB2037第1次住居平面図 (S=1/50)

であり、また、微細な鉄片なども含まれていることから鍛冶遺構と認定できる。炉跡以外には、土坑、ピットが確認できた。また、住居東側縁辺の一部ではあるが、鑿溝を検出している。

3次住居は、2次住居を西側に拡張し、長軸670cm、短軸610cmの楕円形を呈する。主柱穴はEP12・13の2基と考えられる。炉跡(EH4)は、長軸112cm、短軸41cmの楕円形で、最大で深さ33cmを測る。炭化物、焼土を多量に含んでいた。また微細な鉄片も多く出土していること、大型蛤刃石斧を転用し、被熱した敲石と鉄器製作に関わる砥石が出土していることから、鍛冶炉であることがわかる。なお、出土遺物の多くは、この3次住居床面直上からの出土が多い(遺物出土状況図参照)。碧玉、ガラス玉



第137図 SB2037第2次住居遺物出土状況図 (S=1/50)

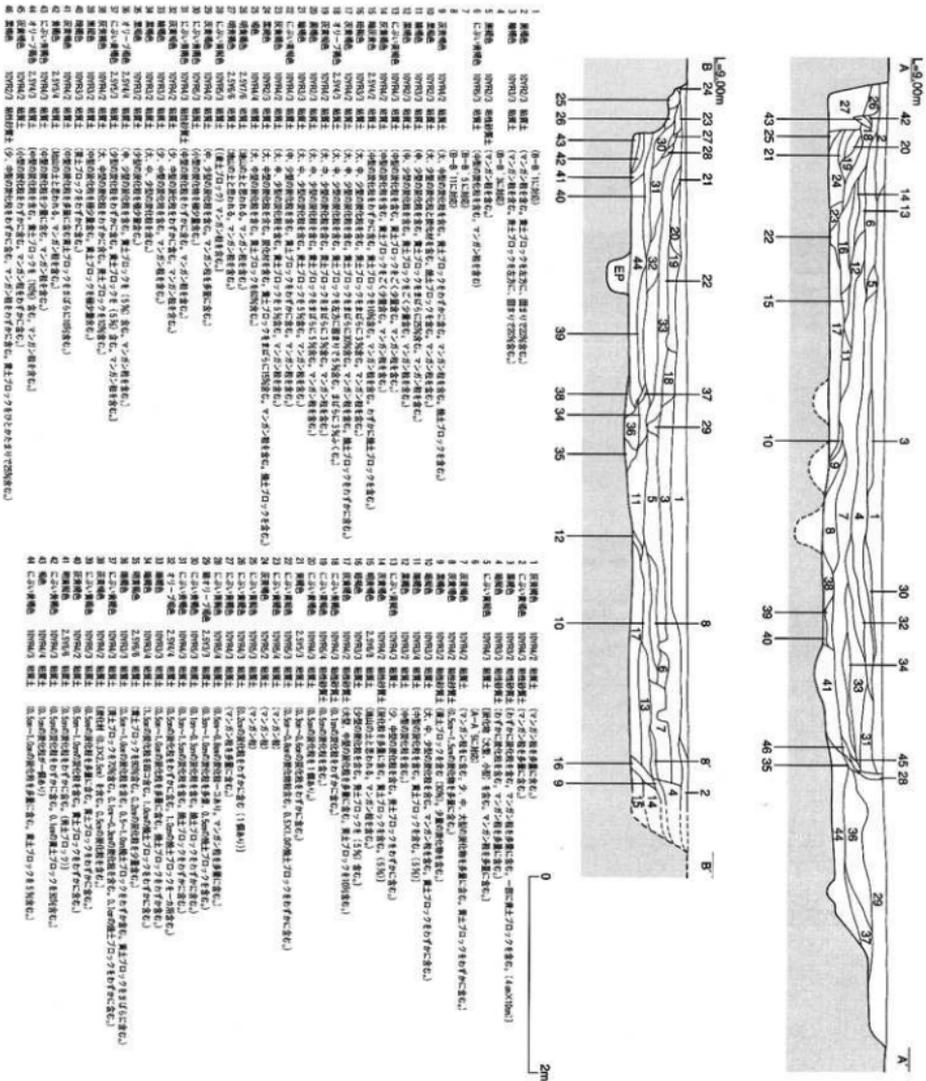
も出土している。多数出土している石器の中で、とりわけ注目されるのは、S370の台石・砥石である。重さ10kgを超える石塊が3つあり、その他接合できたものを合わせると、総重量約20kgになる。接合した中央部分には、かなり濃密に朱が付着している。残念ながら朱の精製時に使用したと考えられる石杵は見つかっていないが、3次住居で朱の精製が行われたことは疑いない。

以上のような観察から、SB2037は、人が寝起きしたと考えられる住居というよりは、鉄器、石器、管玉、ガラス玉などを製作し、朱の精製を行った工房的側面が強い遺構と言えよう。

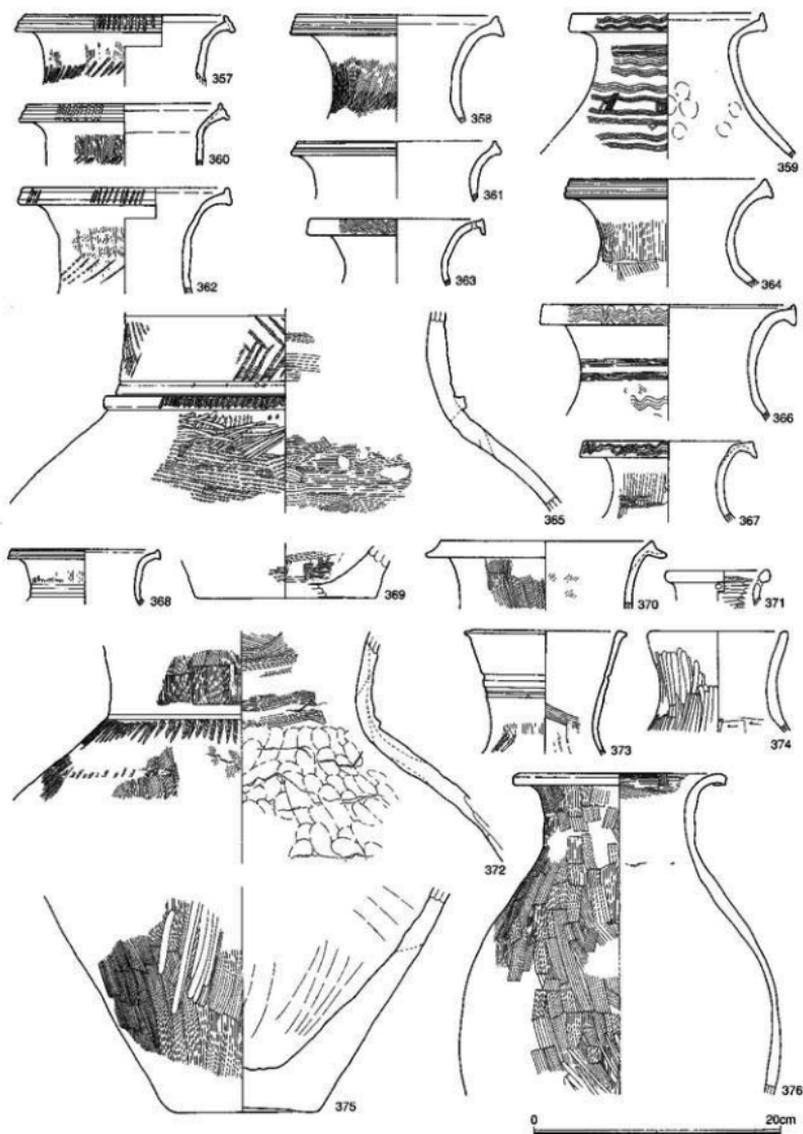
なお、台石・砥石 (S362) は、後述のSB2039出土S383、S385と接合した。整理作業時の混乱の可能性は、ほとんど考えられないことから遺構を別にして、出土した石器と思われる。



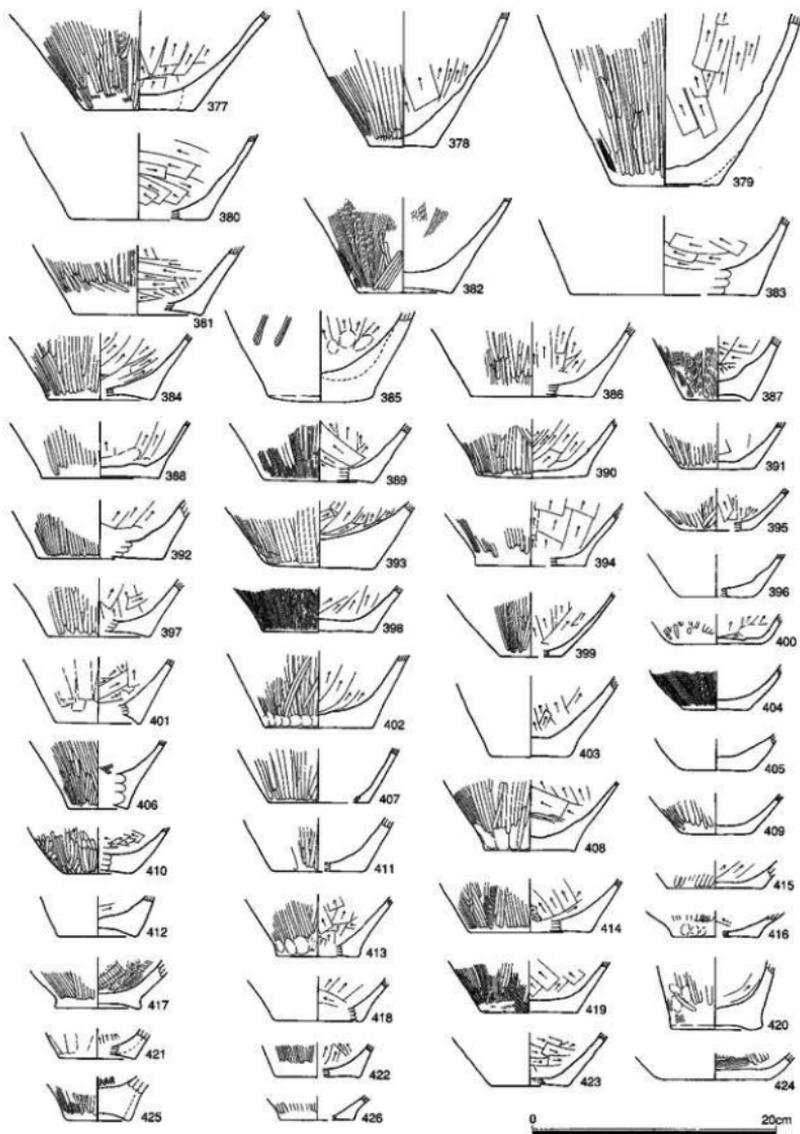
第139図 SB2037断面図 (S=1/50)



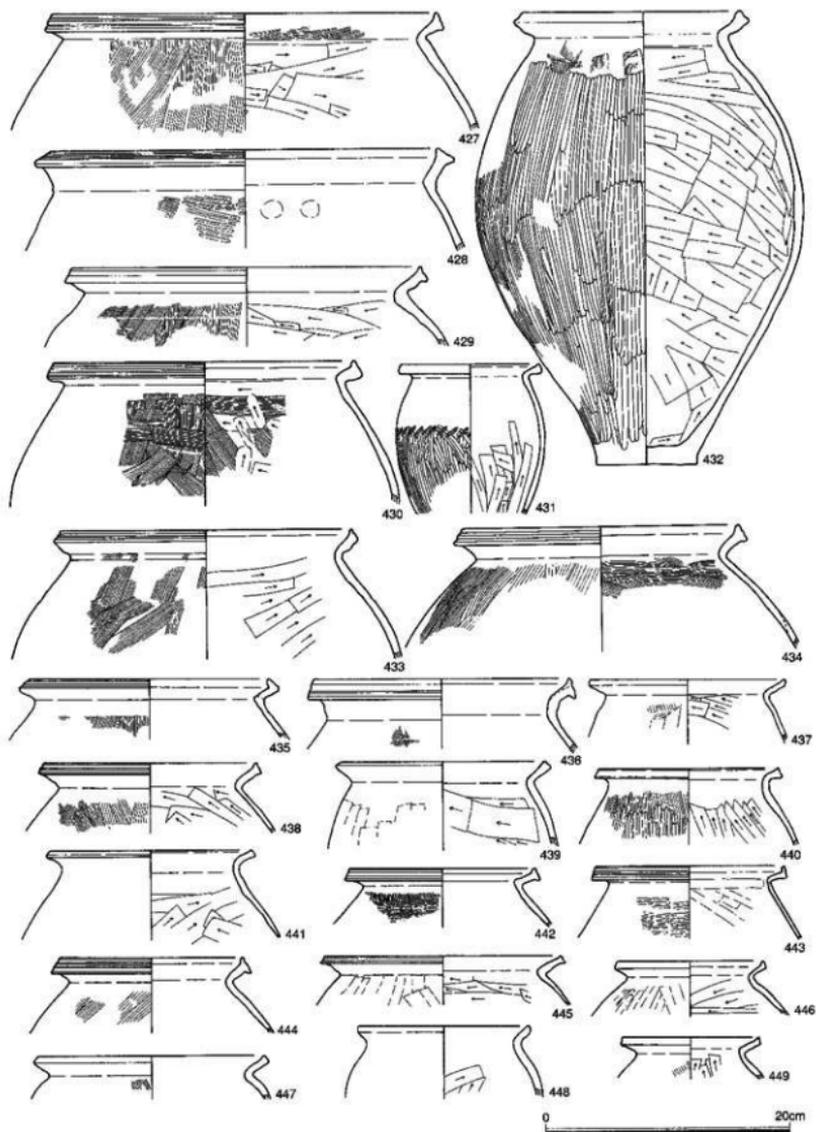




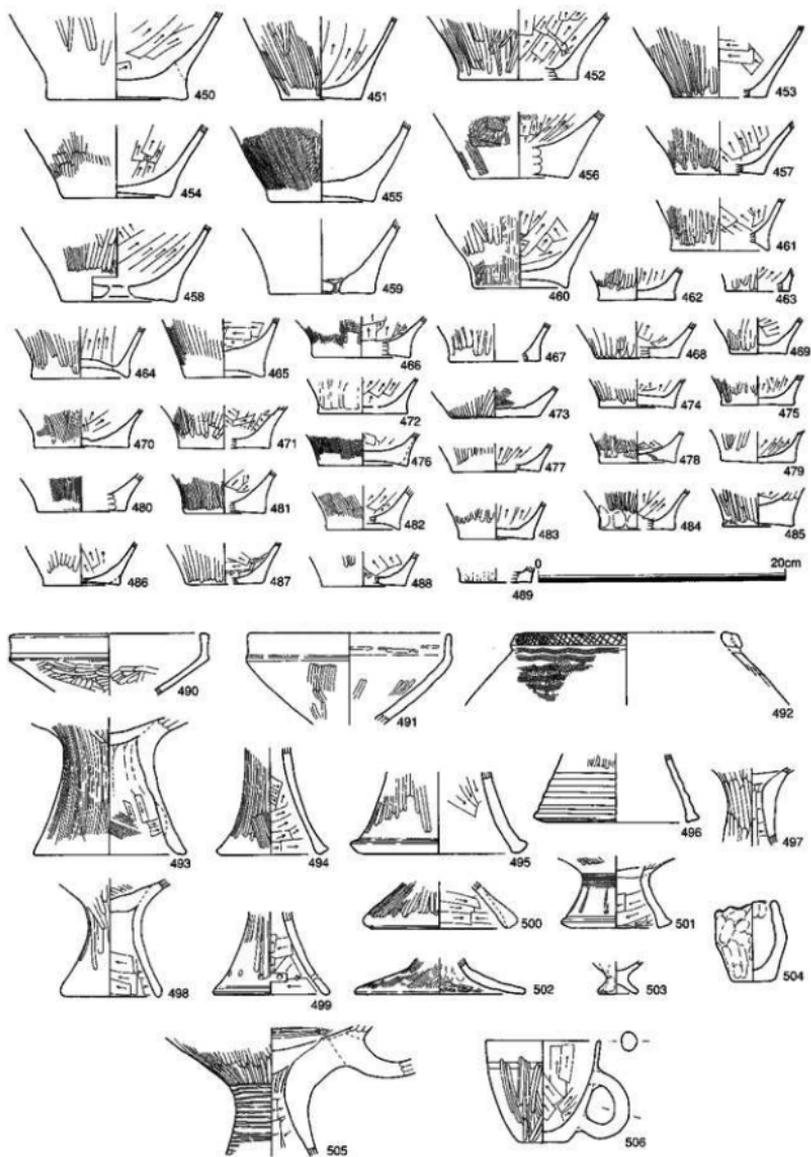
第141图 SB2037出土土器(1)



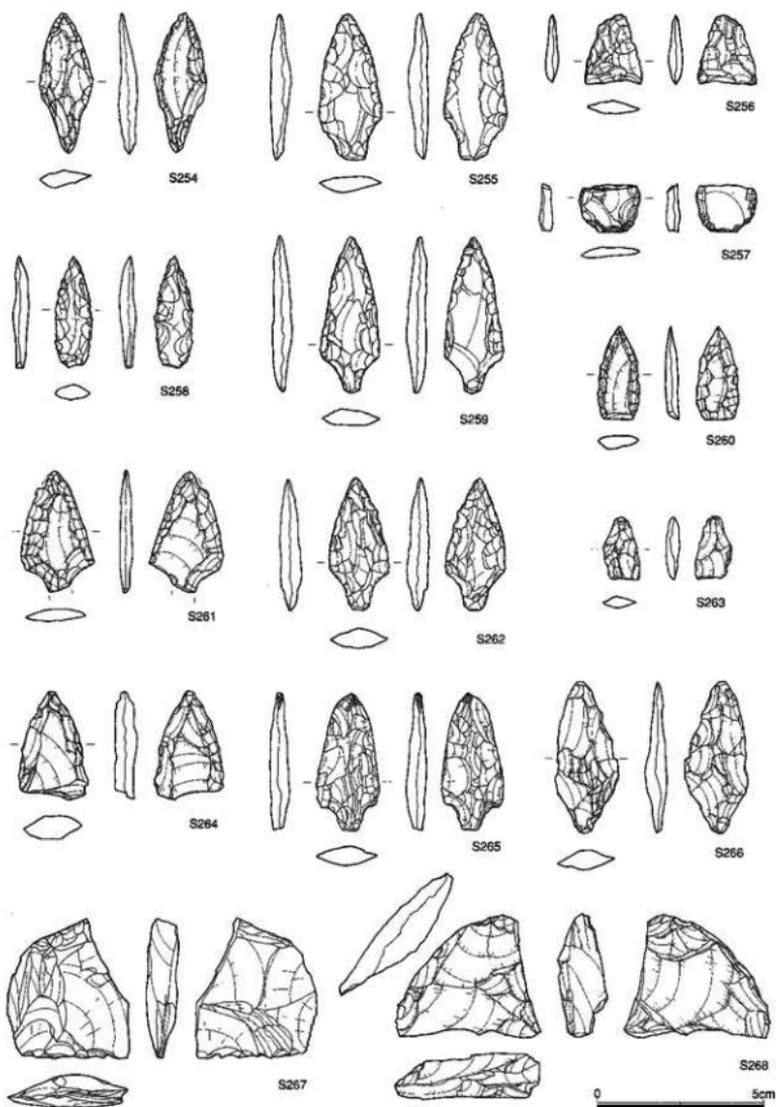
第142图 SB2037出土土器(2)



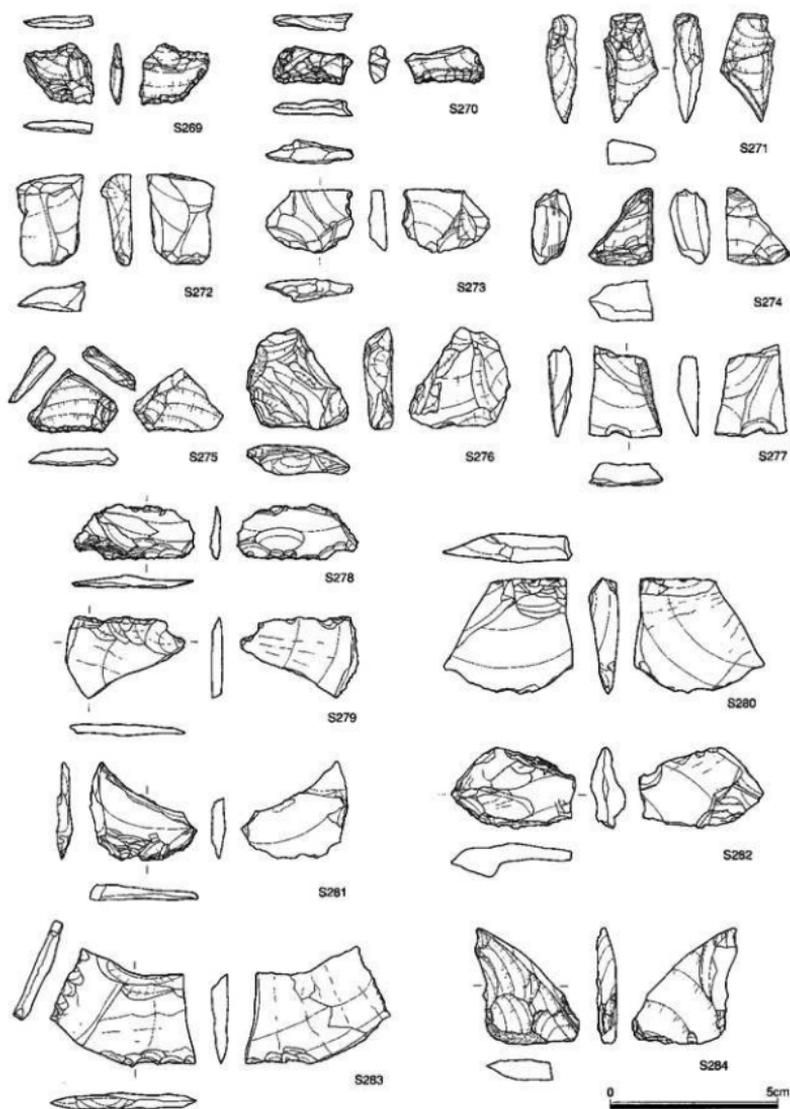
第143图 SB2037出土土器(3)



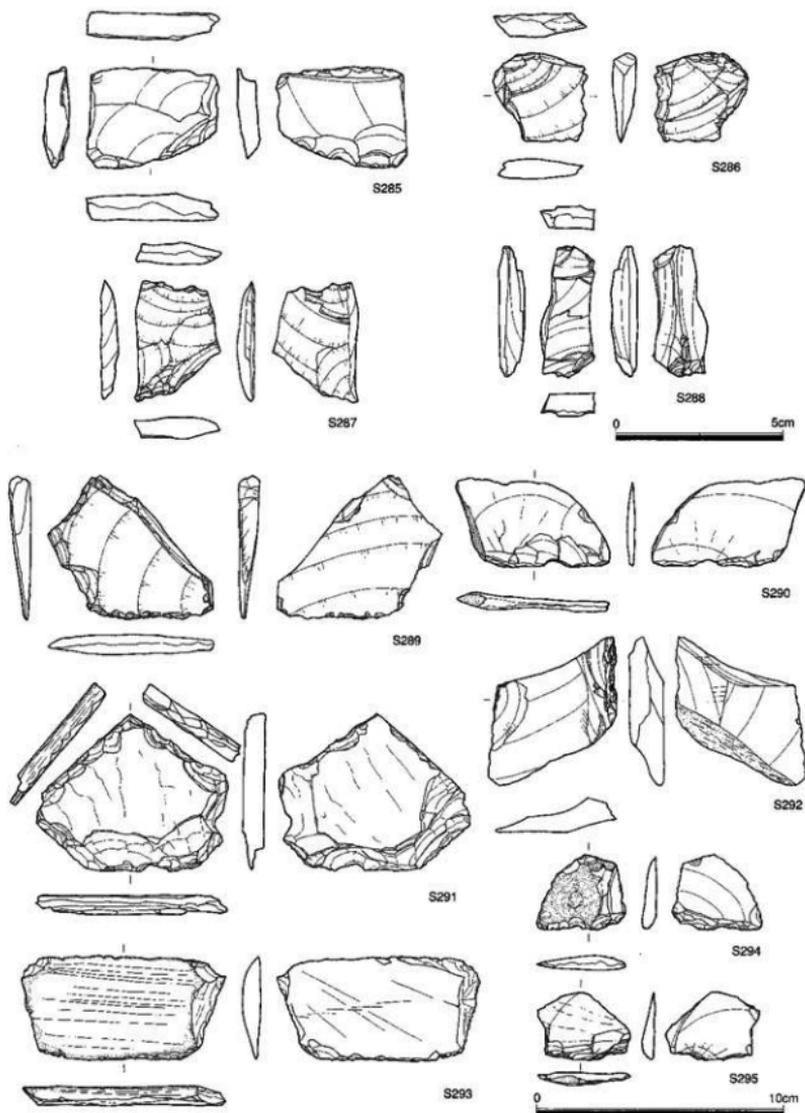
第144图 SB2037出土土器(4)



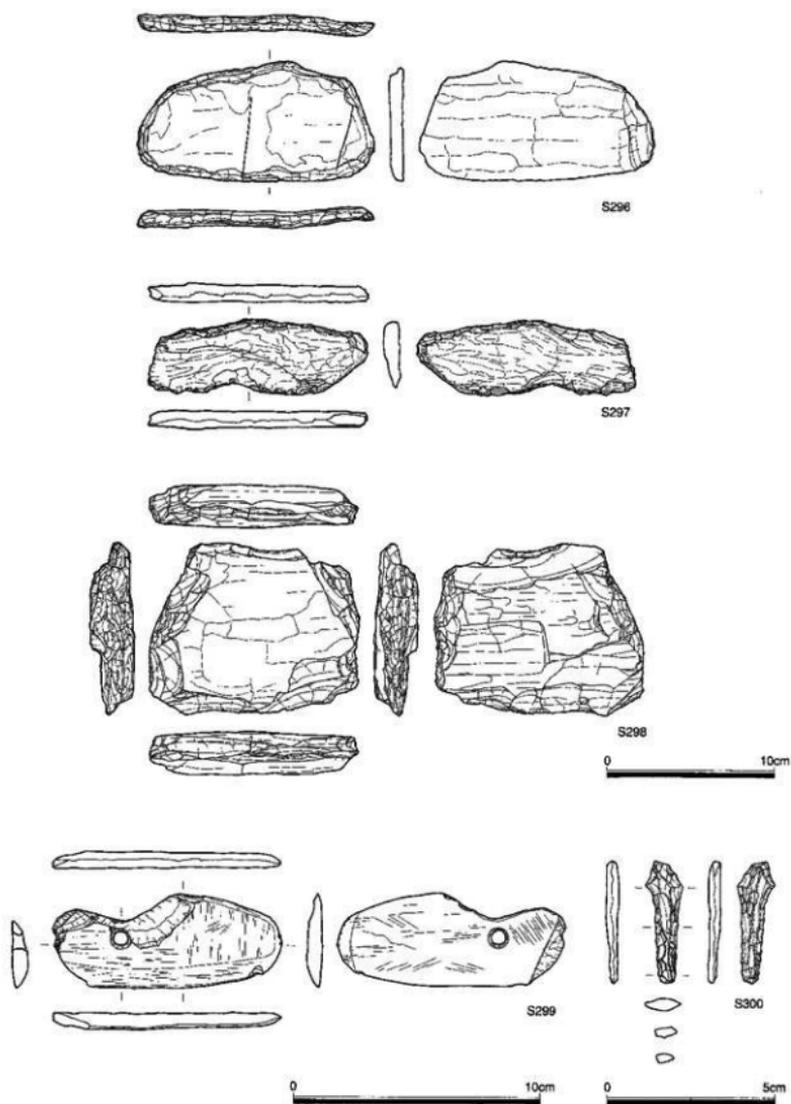
第145圖 SB2037出土石器(1)



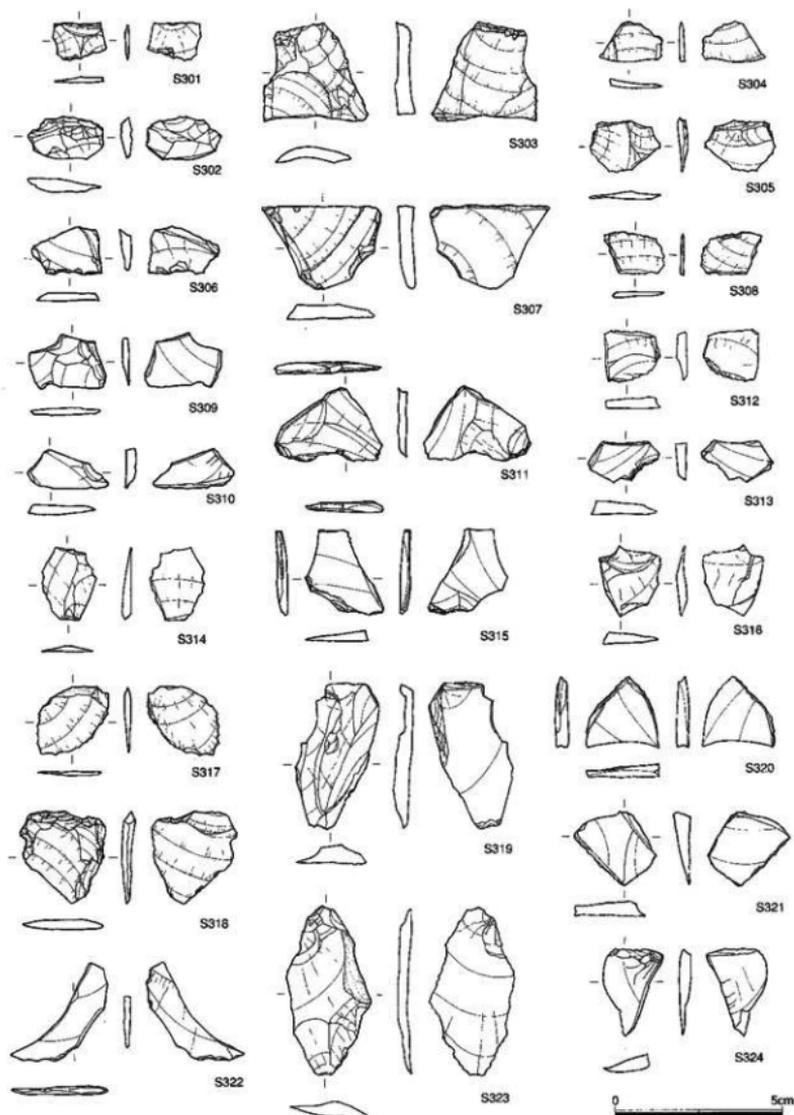
第146图 SB2037出土石器(2)



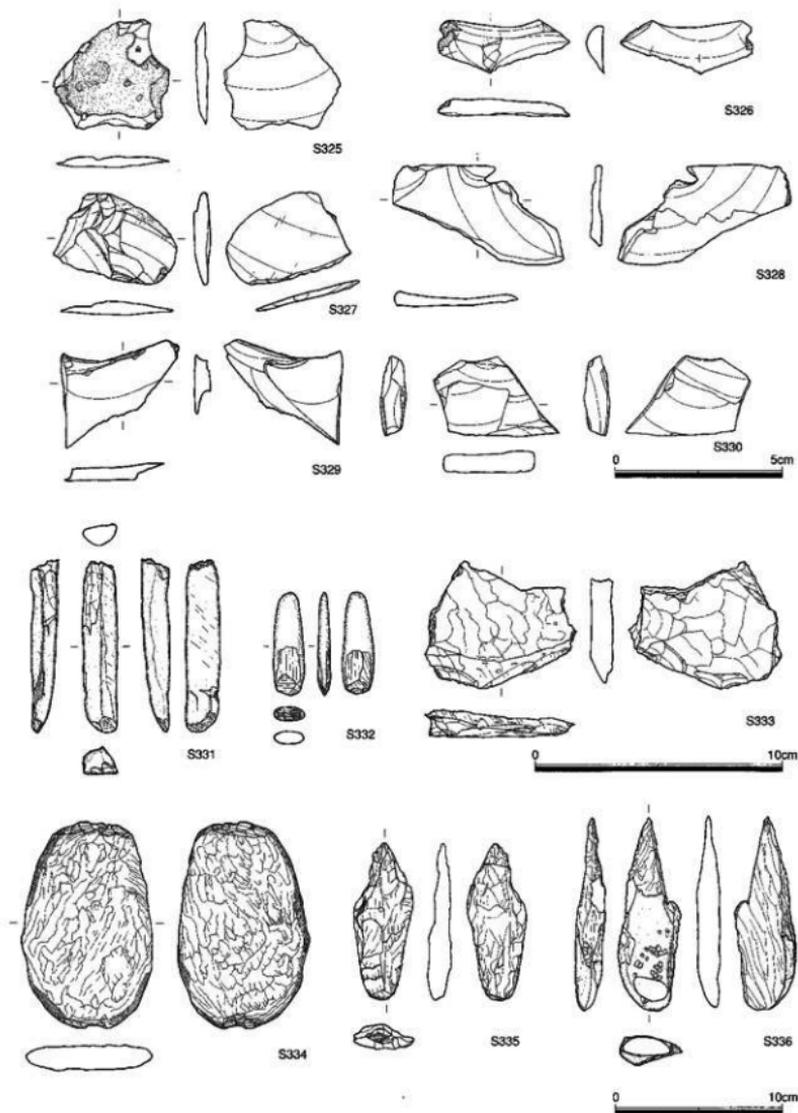
第147图 SB2037出土石器(3)



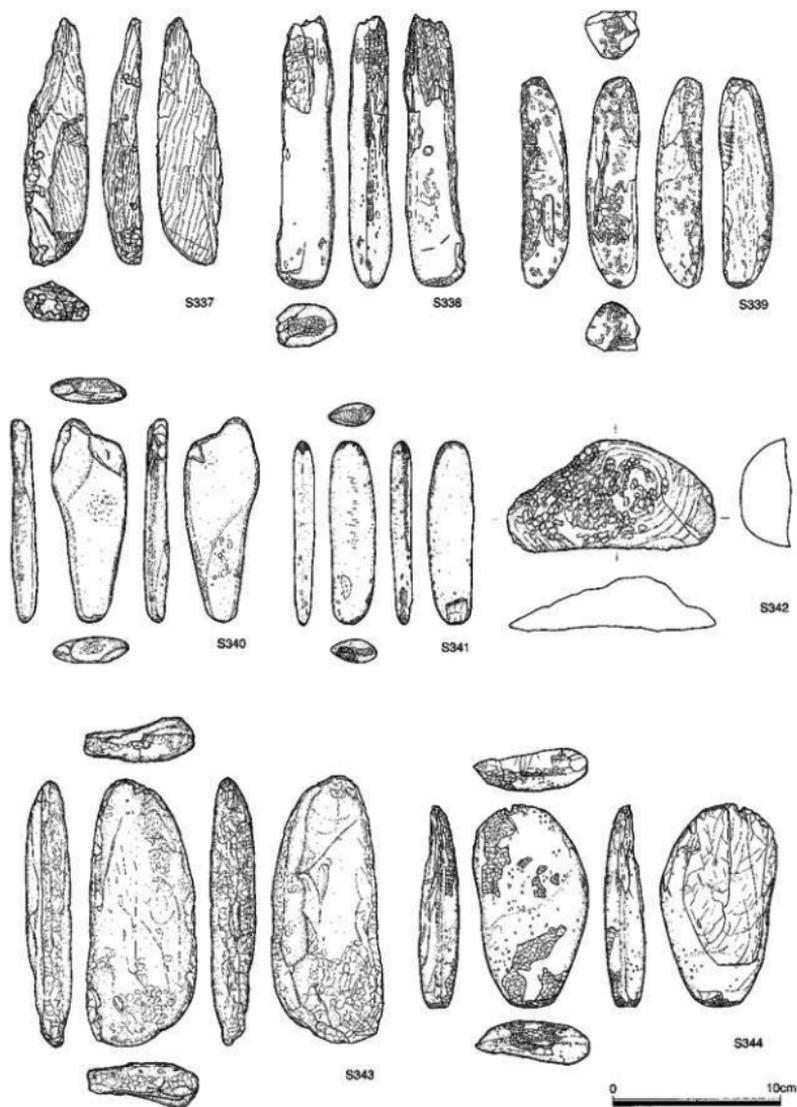
第148图 SB2037出土石器(4)



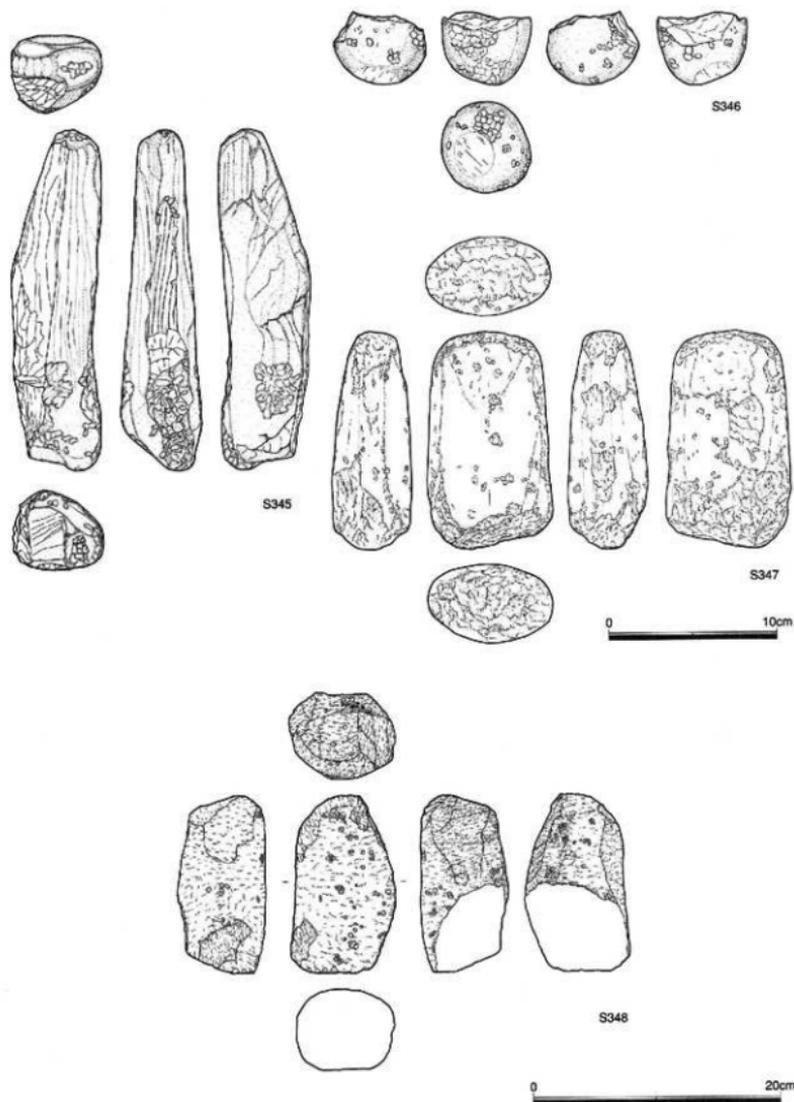
第149图 SB2037出土石器(5)



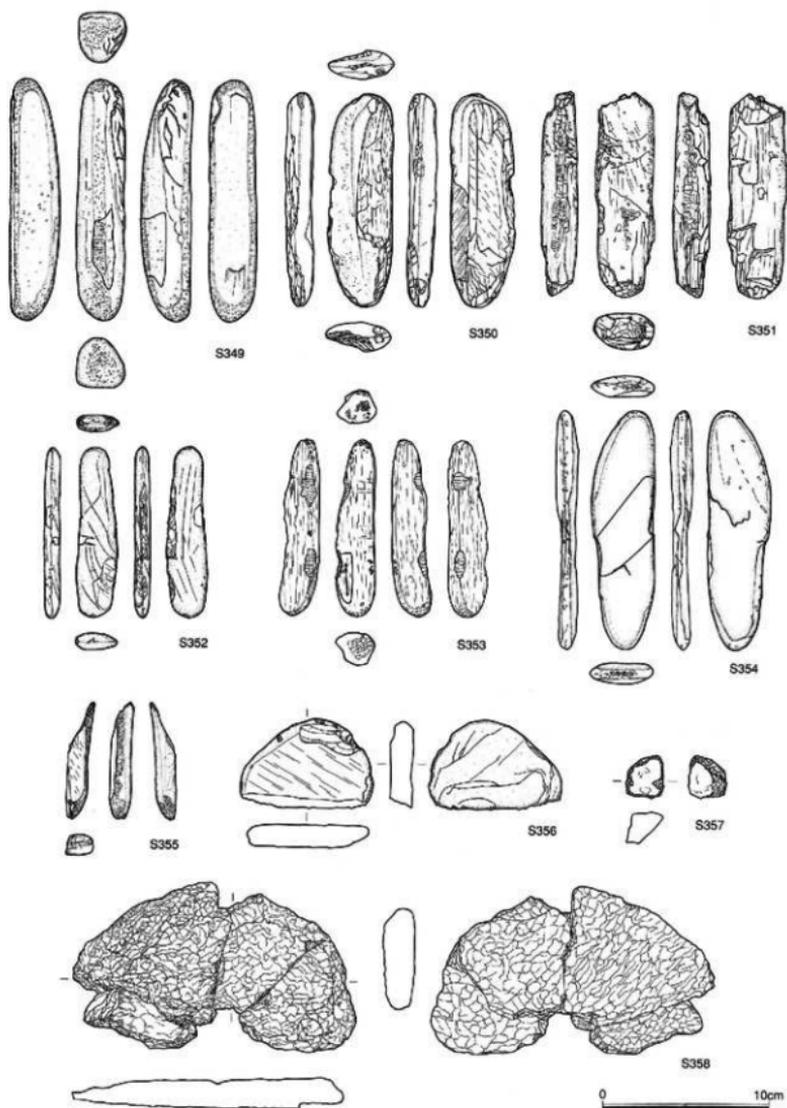
第150圖 SB2037出土石器(6)



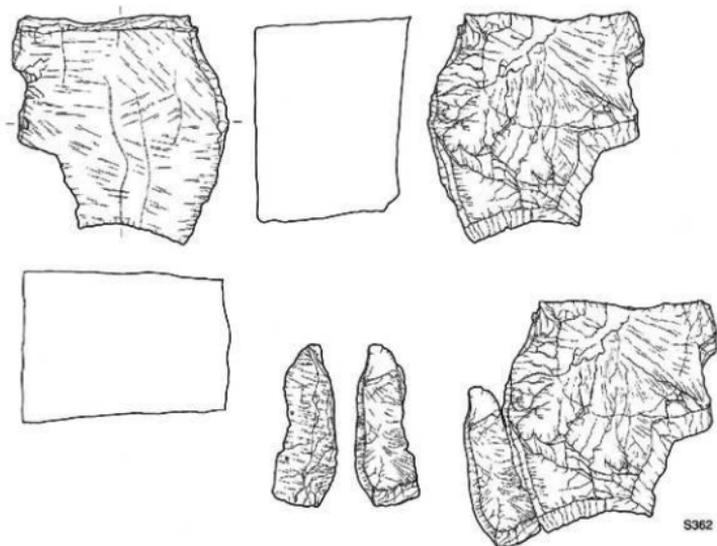
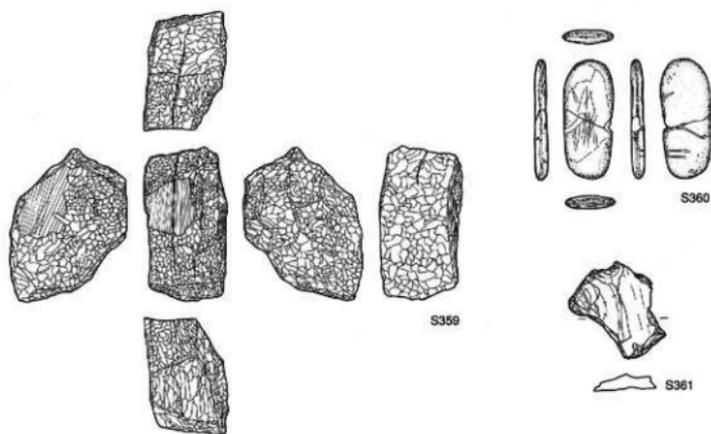
第151圖 SB2037出土石器(7)



第152図 SB2037出土石器(8)

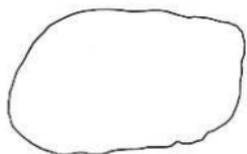
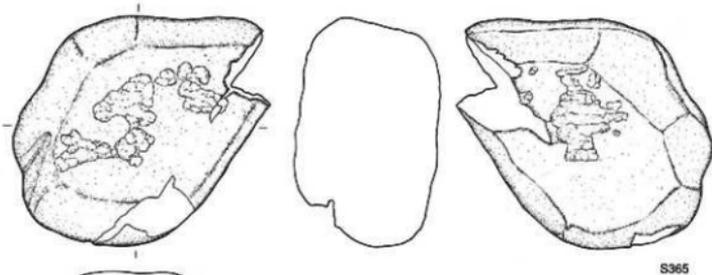
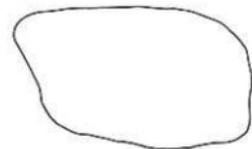
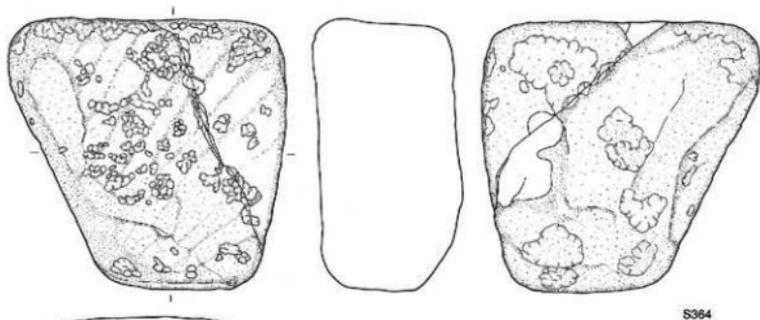
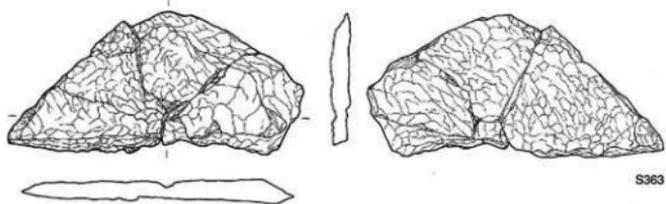


第153图 SB2037出土石器(9)



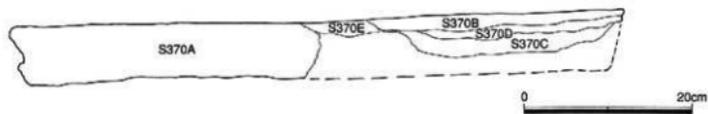
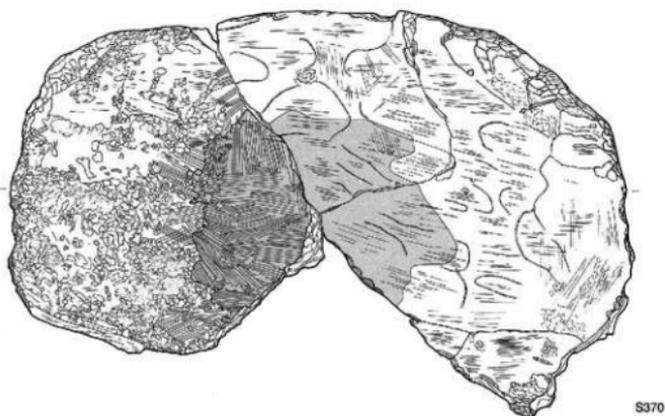
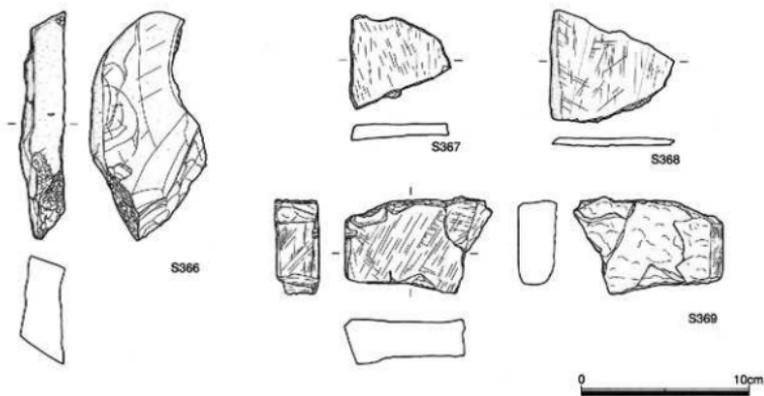
0 10cm

第154图 SB2037出土石器 (10)

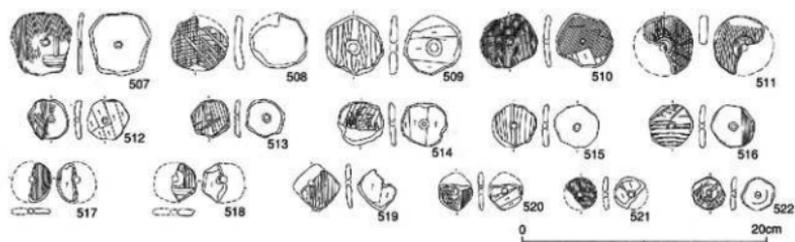


0 20cm

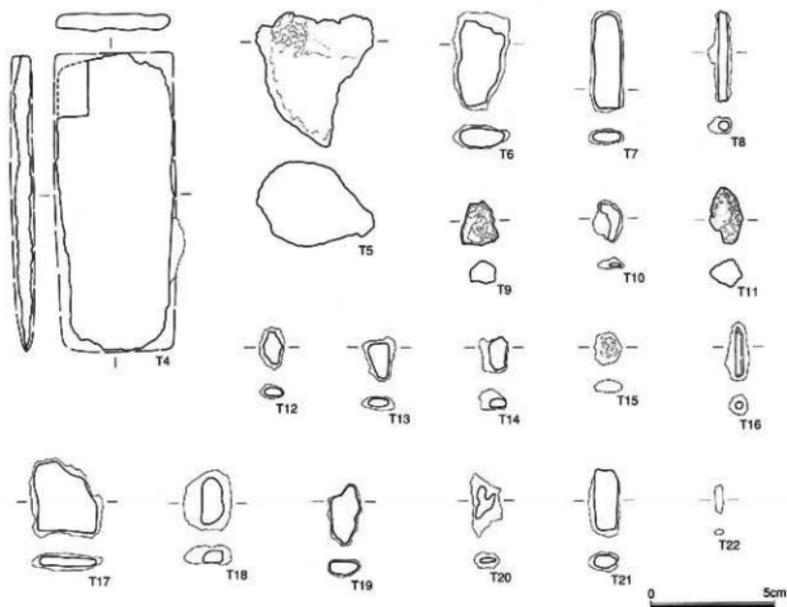
第155图 SB2037出土石器 (11)



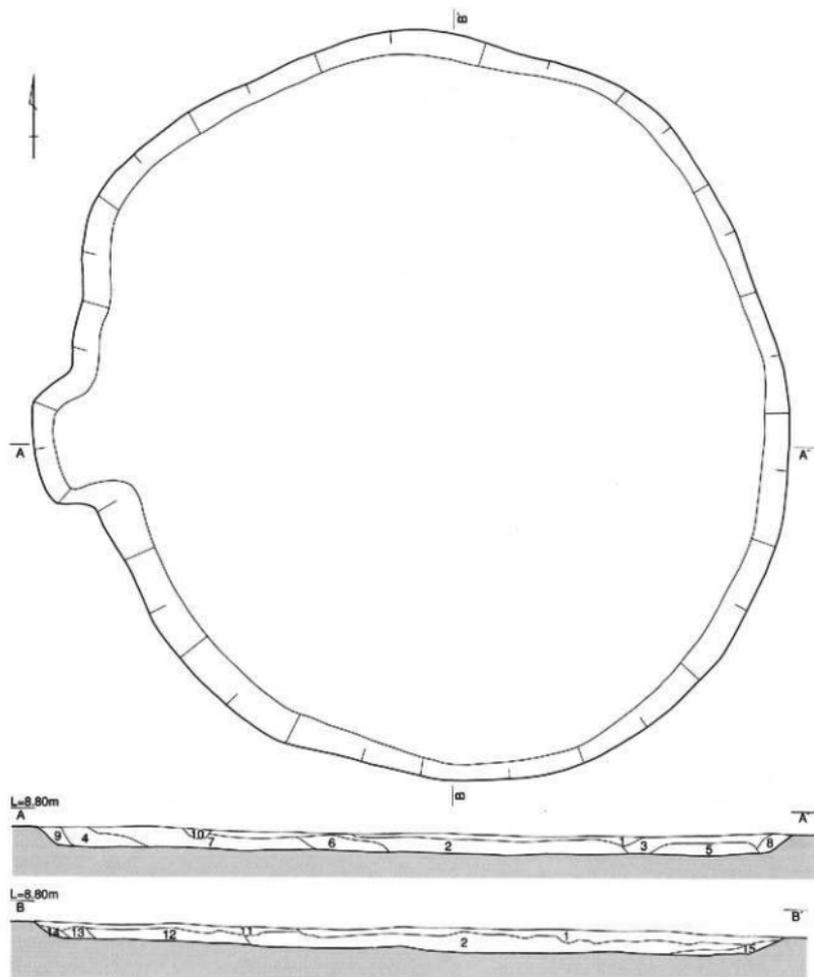
第156图 SB2037出土石器 (12)



第157图 SB2037出土土器 (5)



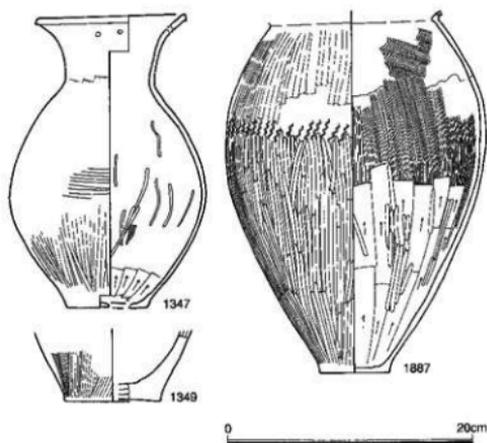
第158图 SB2037出土铁器



- |    |        |         |       |                   |
|----|--------|---------|-------|-------------------|
| 1  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土   | (2~3cmの礫を含む。)     |
| 2  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘質土   | (2~5cmの礫を多量に含む。)  |
| 3  | 黄褐色    | 2.5Y5/3 | 粘質土   |                   |
| 4  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘質土   |                   |
| 5  | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 粘質土   | (0.5~1cmの礫を含む。)   |
| 6  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土   | (0.5~1cmの礫を含む。)   |
| 7  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土   | (1~5cmの礫を含む。)     |
| 8  | 褐色     | 10YR4/4 | 粘性砂質土 | (1~3cmの礫を含む。)     |
| 9  | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘性砂質土 | (0.5~5cmの礫を含む。)   |
| 10 | 灰黄褐色   | 10YR4/2 | 礫層    |                   |
| 11 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 砂質土   |                   |
| 12 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 粘質土   | (0.5~1cmの礫を含む。)   |
| 13 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土   | (1~2.5cmの礫を含む。)   |
| 14 | 褐色     | 10YR4/4 | 粘質土   | (0.5~1.5cmの礫を含む。) |
| 15 | 褐色     | 10YR4/4 | 粘性砂質土 | (0.5cmの礫を含む。)     |

0 2m

第159図 SB2038平・断面図 (S=1/50)



第160図 SB2038出土土器

竪穴住居跡 (SB2038)

位置 10区 Loc.D2 ε I pq19~20

平面形 円形

床面積 38.4m<sup>2</sup>

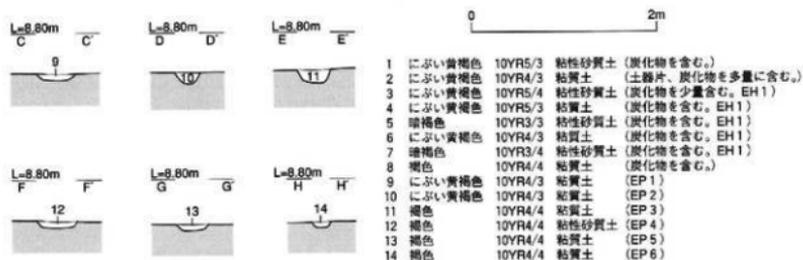
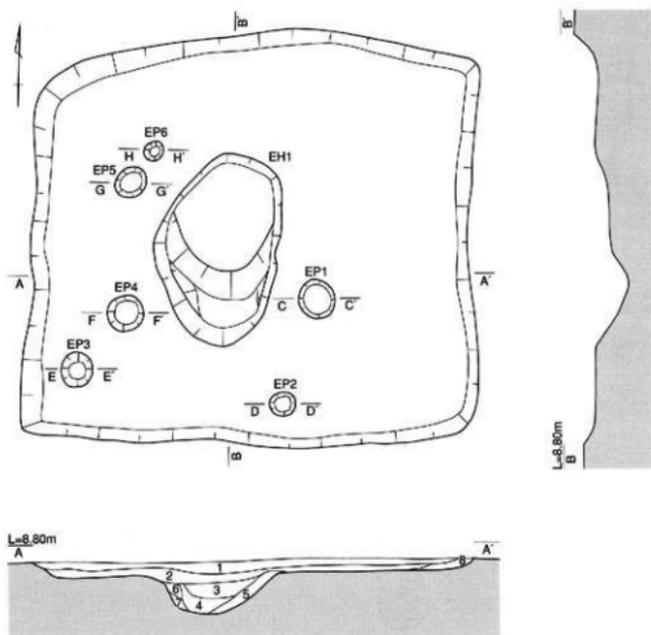
土層 15層

支柱穴 確認されていない。

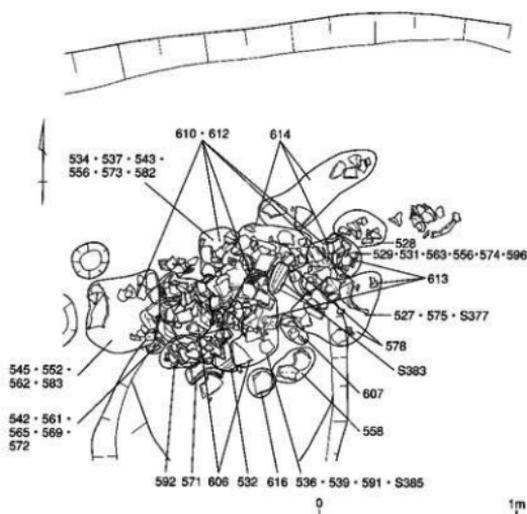
炉跡 確認されていない。 施設 確認されていない。

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できたのは、壺、甕の3点である。

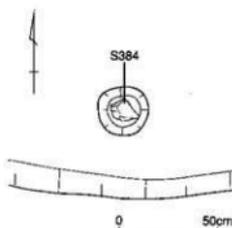
時期 弥生時代中期後半



第161図 SB2039平・断面図 (S=1/50)



第162図 SB2039遺物出土状況図 (S=1/25)



第163図 SB2039、EP 2 遺物出土状況図 (S=1/25)

**竪穴住居跡 (SB2039)**

位置 10区 Loc.E2 α I b19~20 平面形 方形 床面積 14.7㎡ 土層 2層

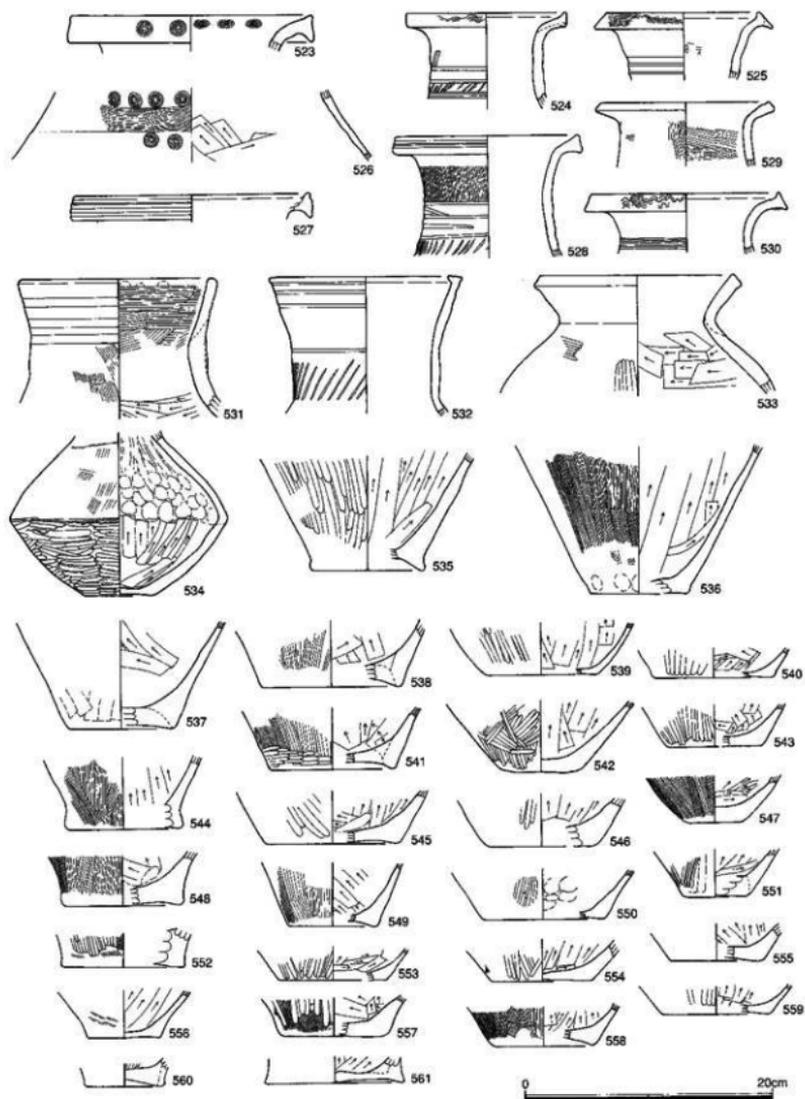
支柱穴 EP1・4・5の3基 (径32~42cm、深さ10cm)

炉跡 1基 (長軸199cm、短軸128cmの楕円形、深さ36cm、炭化物を多く含む5層)

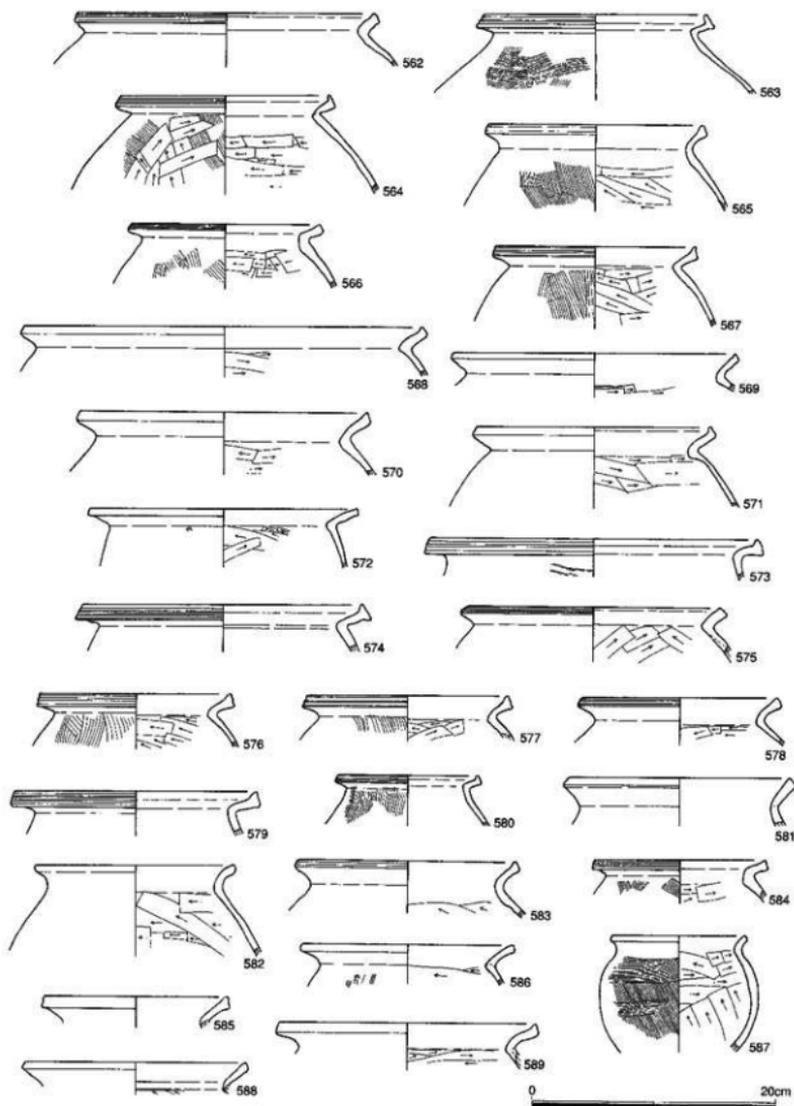
施設 ビット3基

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土しており、その量は、他の竪穴住居跡と比較して多い。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯、器台の94点である。一方、石器は、楔形石器、磨石、砥石、剥片などが10点出土している。これらの遺物は、炉跡北辺からの出土が多い。また、砥石 (S384) は、EP2から出土している。

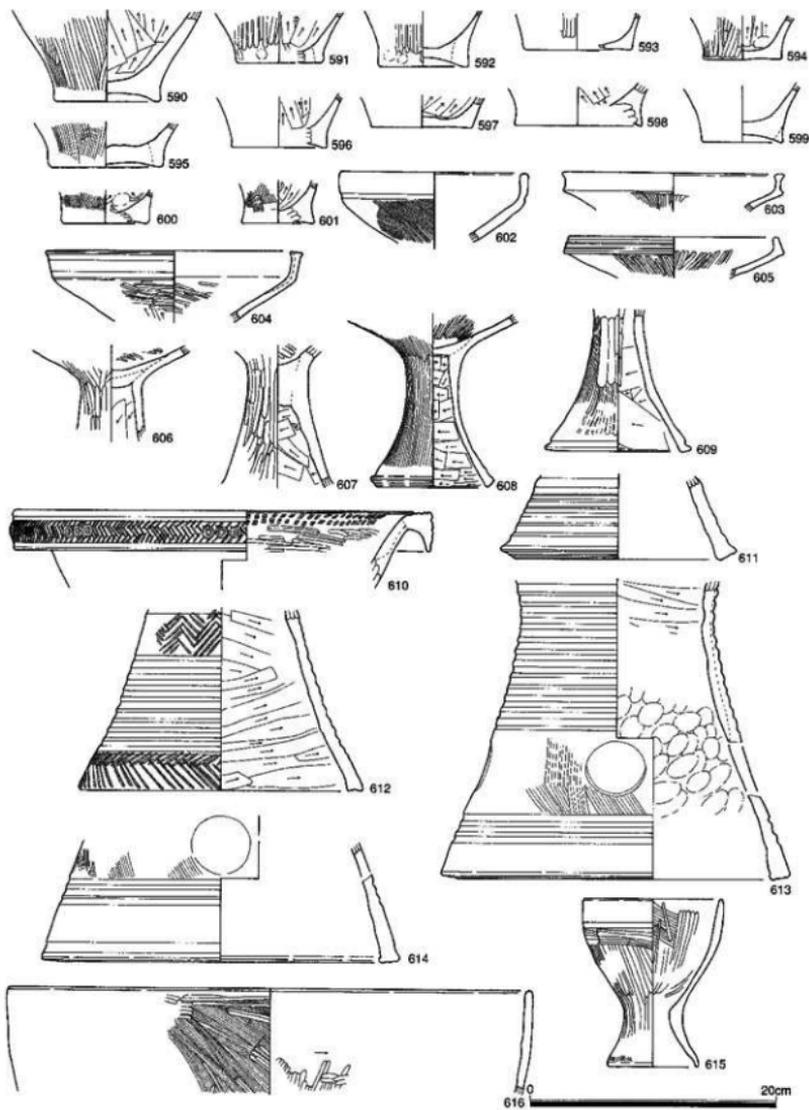
時期 弥生時代中期末



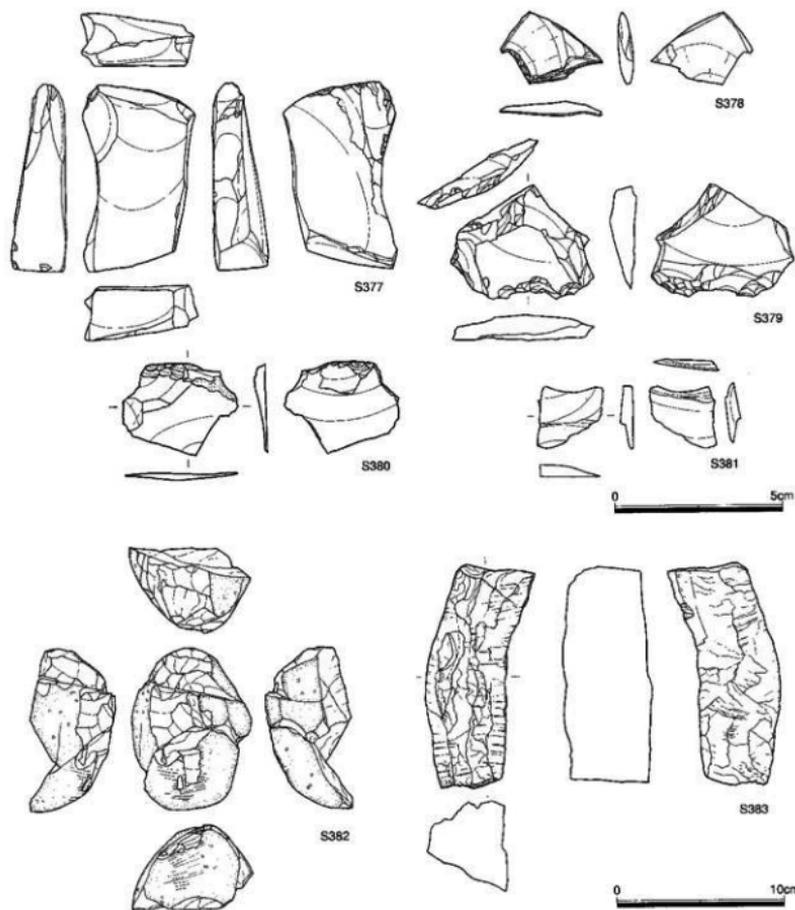
第164图 SB2039出土土器(1)



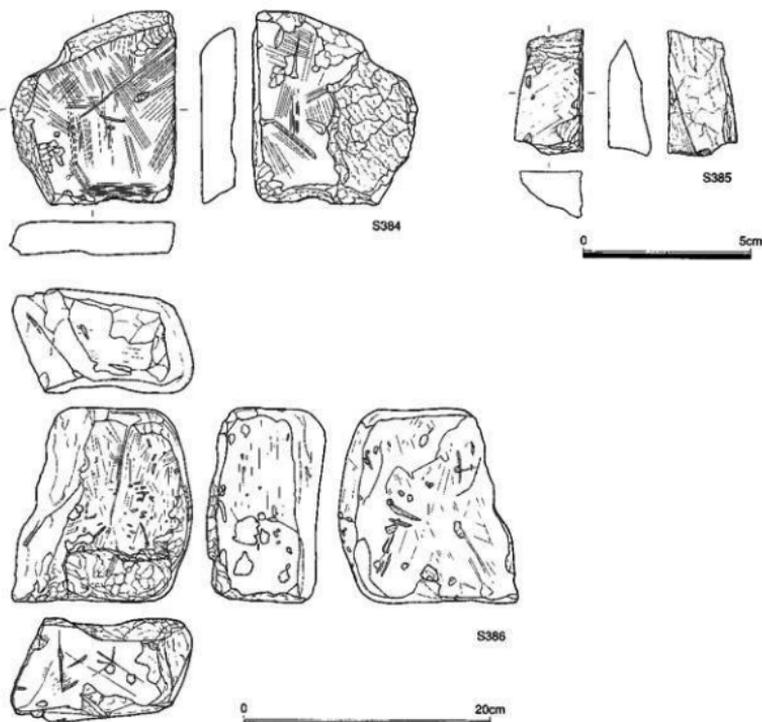
第165图 SB2039出土土器(2)



第166图 SB2039出土土器(3)



第167图 SB2039出土石器(1)



第168図 SB2039出土石器(2)

竪穴住居跡 (SB2040)

位置 10区 Loc.E2 α II de 1 平面形 円形 床面積 4.8㎡ 土層 2層

支柱穴 確認されていない。

炉跡 確認されていない。 施設 土坑1基

遺物出土状況 図示できる遺物は出土していない。

時期 覆土の堆積状況から弥生時代中期後半と考えられる。

竪穴住居跡 (SB2041)

位置 10区 Loc.E2 α II c16 平面形 円形? 床面積 4.0㎡ 土層 6層

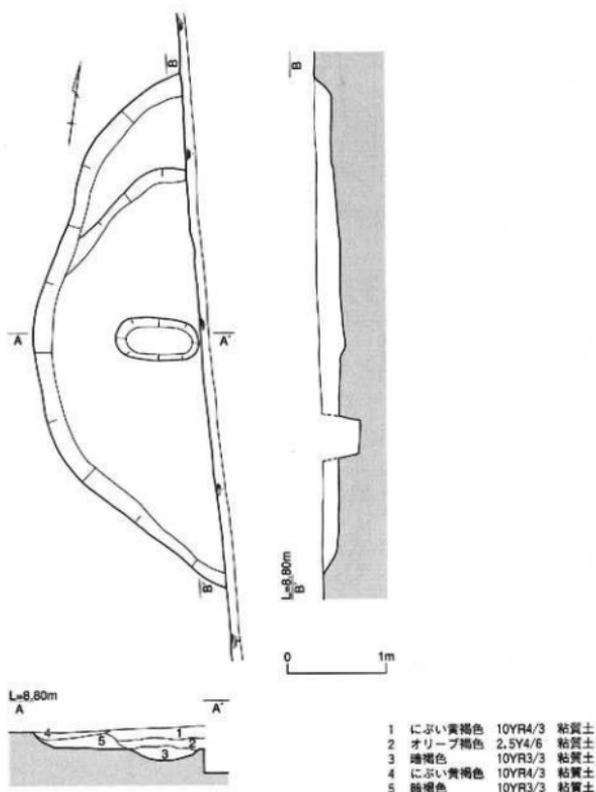
支柱穴 確認されていない。

炉跡 確認されていない。 施設 土坑1基

遺物出土状況 図ができたのは、亮底部1点だけである。

時期 覆土の堆積状況から弥生時代中期後半と考えられる。

備考 検出部分が狭いため、本来の構造が把握できない。よって、竪穴住居跡と断定できない。



第169図 SB2040平・断面図 (S=1/50)

#### 竪穴住居跡 (SB2042)

位置 10区 Loc.E.2 α 1 del5~16 平面形 不整形(五角形?) 床面積 14.7m<sup>2</sup> 土層 12層  
主柱穴 確認されていない。

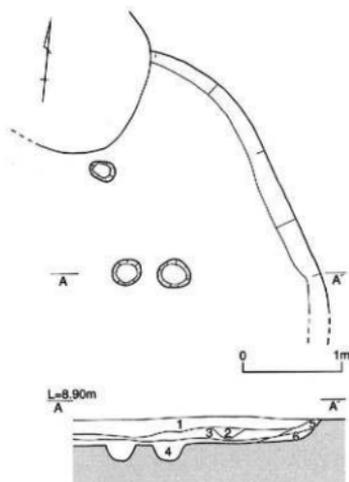
炉跡 確認されていない。

施設 ビット3基

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、甕、高杯など6点である。

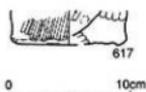
時期 弥生時代中期後半

備考 遺構の西側は調査区外で、南側は前述のSB2041によって破壊されており、完掘することはできなかった。ビット3基は、その位置関係から主柱穴になる可能性を残すものの、掘削深度が浅く主柱穴と断定するには至らなかった。

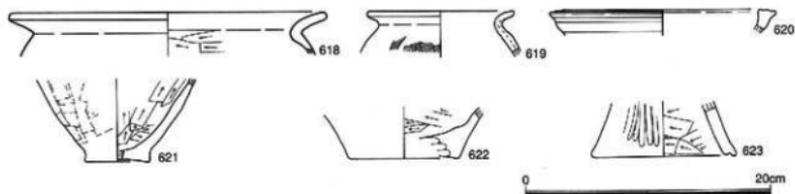


- |   |       |         |         |   |       |         |         |
|---|-------|---------|---------|---|-------|---------|---------|
| 1 | オリブ褐色 | 2.5Y4/4 | シルト砂混じり | 4 | オリブ褐色 | 2.5Y4/4 | シルト砂混じり |
| 2 | オリブ褐色 | 2.5Y4/3 | シルト砂混じり | 5 | オリブ褐色 | 2.5Y4/3 | シルト砂混じり |
| 3 | オリブ褐色 | 2.5Y4/6 | シルト砂混じり | 6 | オリブ褐色 | 2.5Y4/6 | シルト砂混じり |

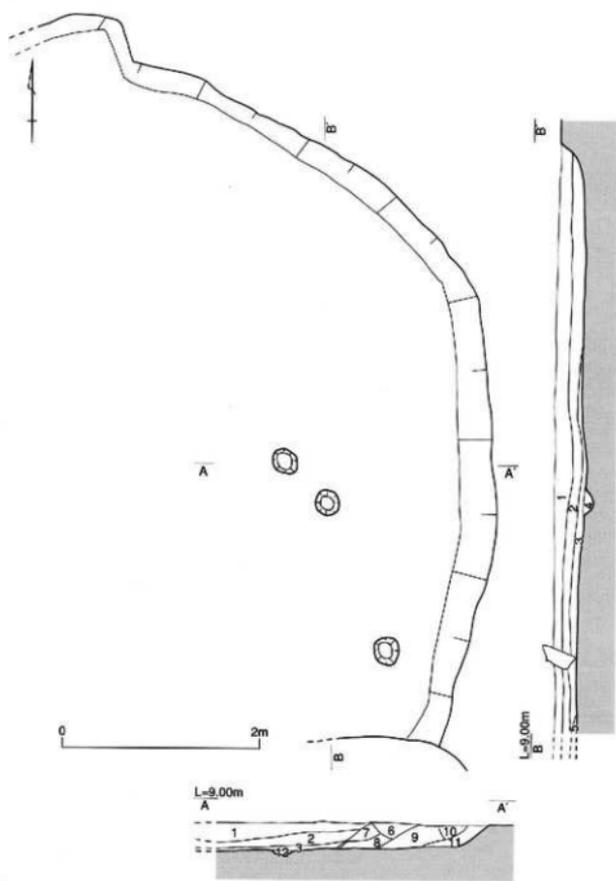
第170図 SB2041平・断面図 (S=1/50)



第171図 SB2041出土土器

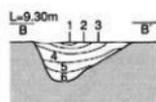
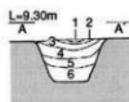
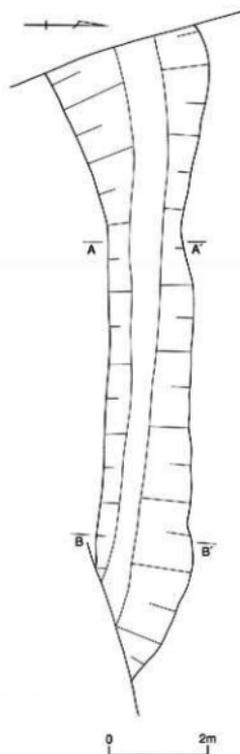


第172図 SB2042出土土器



- |   |         |         |     |    |        |         |     |
|---|---------|---------|-----|----|--------|---------|-----|
| 1 | オリーブ褐色  | 2.5V4/4 | 砂質土 | 7  | オリーブ褐色 | 2.5V4/3 | 砂礫土 |
| 2 | オリーブ褐色  | 2.5V4/3 | 砂質土 | 8  | オリーブ褐色 | 2.5V4/3 | 砂質土 |
| 3 | オリーブ褐色  | 2.5V4/4 | 砂質土 | 9  | オリーブ褐色 | 2.5V4/3 | 砂礫土 |
| 4 | 不明      |         |     | 10 | オリーブ褐色 | 2.5V4/4 | 砂質土 |
| 5 | オリーブ褐色  | 2.5V4/3 | 砂礫土 | 11 | オリーブ褐色 | 2.5V4/3 | 砂礫土 |
| 6 | 暗オリーブ褐色 | 2.5V3/3 | 砂質土 | 12 | 不明     |         |     |

第173図 SB2042平・断面図 (S=1/50)



- |   |        |         |       |  |
|---|--------|---------|-------|--|
| 1 | 灰黄色    | 2.5Y6/2 | 粘性砂質土 | (粒子が細かく、粘性が強い。2cm未満の礫を微量含む。黒褐色粘性砂質土を少量含む。)     |
| 2 | にぶい黄色  | 2.5Y6/3 | 粘性砂質土 | (マンガンを少量含む。5mm〜3cm程度の礫を少量含む。黒褐色粘性砂質土を微量含む。)    |
| 3 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 粘性砂質土 | (粒子が細かく、粘性が強い。マンガンを少量含む。5cm未満の礫を多量に含む。)        |
| 4 | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘性砂質土 | (マンガン、土器片を含む。1cm未満の礫を含む。)                      |
| 5 | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘性砂質土 | (しまりがなく、やや粘性が強い。砂を含む。マンガンが多量に含む。2cm程度の礫を少量含む。) |
| 6 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 粘性砂質土 | (粘性が強く、砂を少量含む。マンガンが多量に含む。1cm程度の礫を微量含む。)        |

第174図 SD2001平・断面図 (S=1/100)

### ③溝状遺構 (SD)

#### 溝状遺構 (SD2001)

位置 3区 Loc.D2 γⅡ st10~13

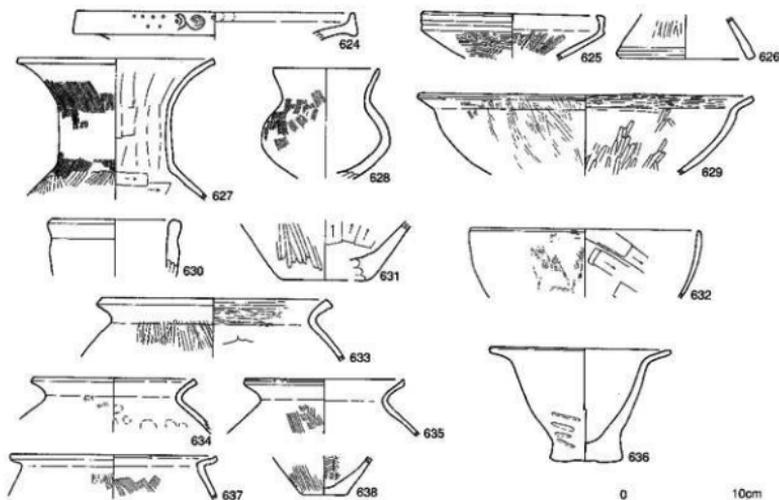
断面形 逆台形

全長 12.5m

土層 6層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。1~6層すべてで土器片は見つかっているが、4層出土のものが比較的目に付いた。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の15点である。

時期 弥生時代中期後半~後期後半



第175図 SD2001出土土器

溝状遺構 (SD2002)

位置 3区 Loc.D2 δⅡ cd14~16

断面形 皿形

全長 14.3m

土層 3層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できたのは、2点である。1765は土製品であり、鋳造の可能性も否定できない。一方、石器は剥片が1点図示できた。

時期 弥生時代中期後半~後期

溝状遺構 (SD2003)

位置 3区 Loc.D2 δⅡ c~g10~18

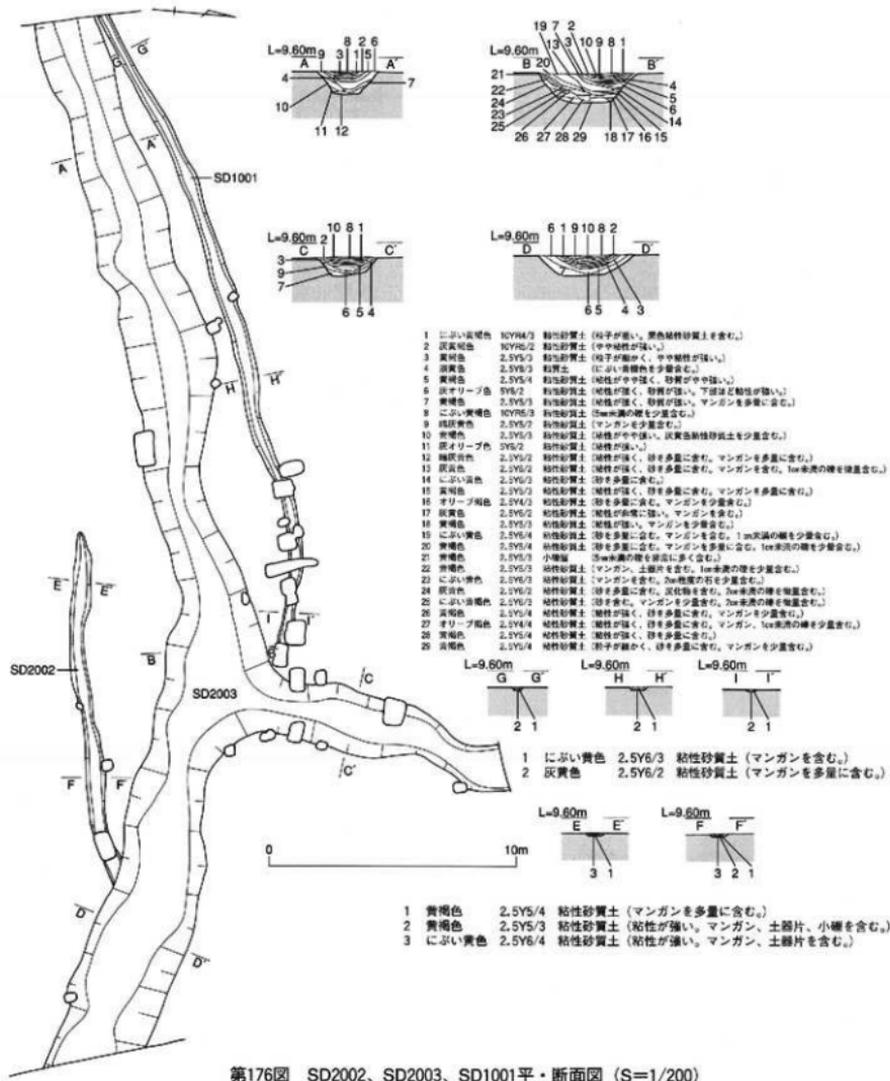
断面形 逆台形

全長 44.0m

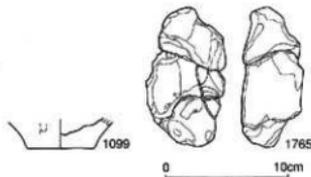
土層 29層

遺物出土状況 比較的まとまって土器、石器が出土している。図示できたのは、壺、甕、鉢、高杯、土鉢の52点である。後期後半の土器を主体とする。壺(641)の頸部には、弧帯文状の線刻が認められる。一方、石器は、石鏃、敲石、剥片、石核など7点が出土している。

時期 弥生時代中期後半~古墳時代前期



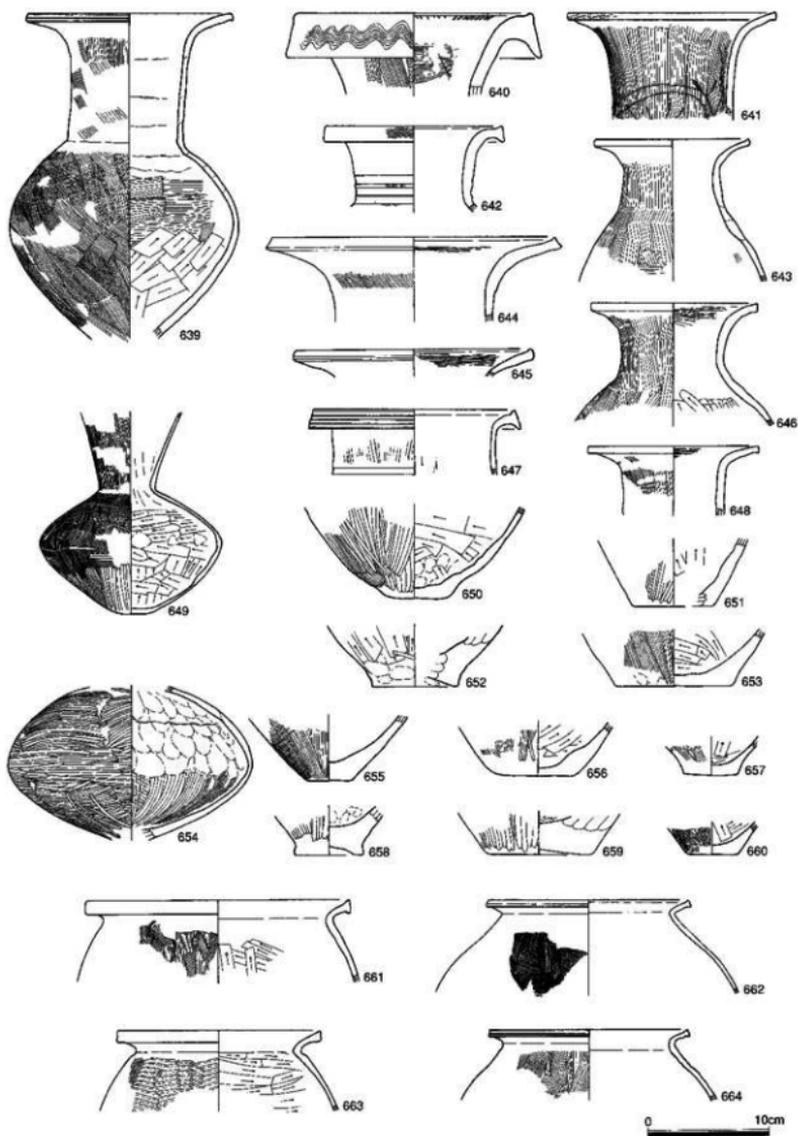
第176図 SD2002、SD2003、SD1001平・断面図 (S=1/200)



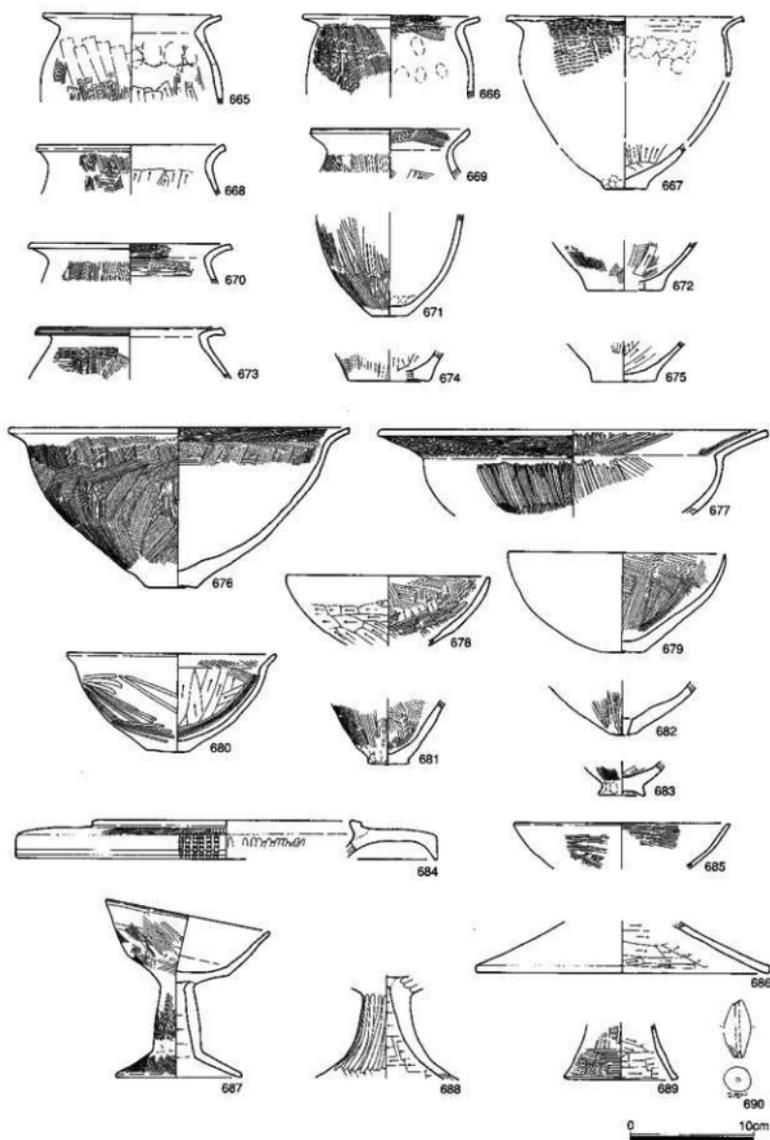
第177図 SD2002出土土器



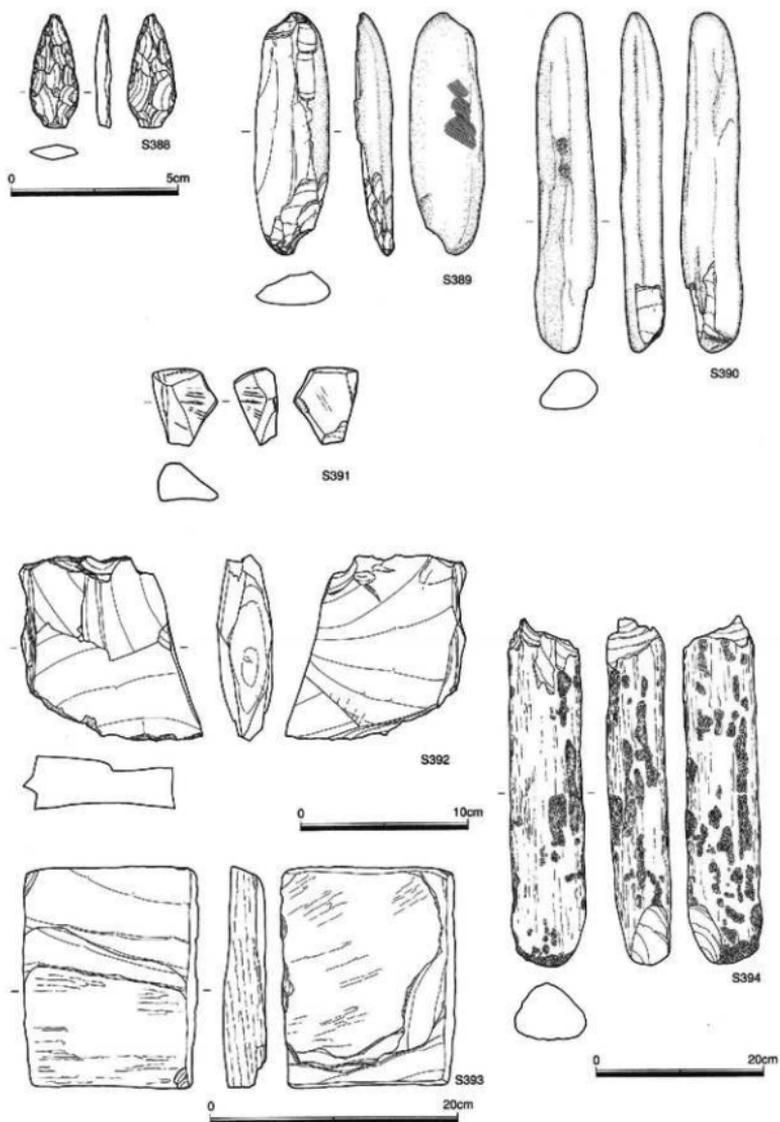
第178図 SD2002出土石器



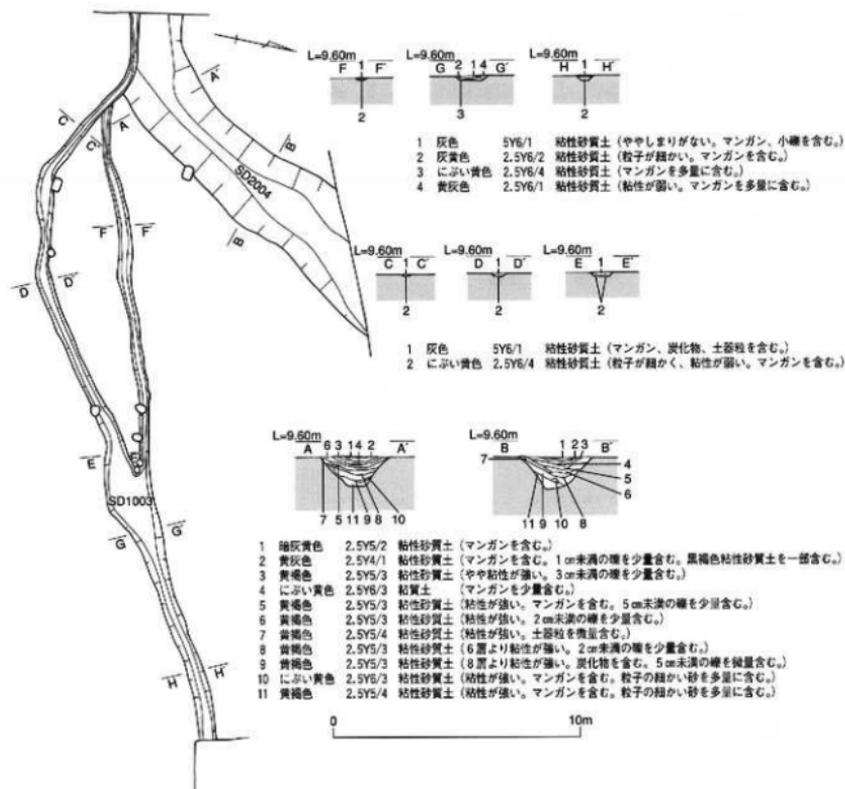
第179图 SD2003出土土器(1)



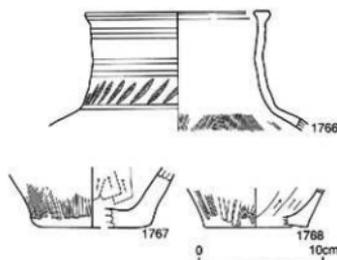
第180图 SD2003出土土器(2)



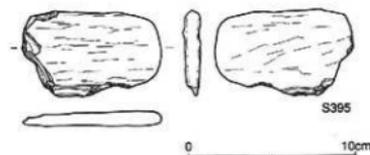
第181图 SD2003出土石器



第182図 SD2004、SD1003平・断面図 (S=1/200)



第183図 SD2004出土土器



第184図 SD2004出土土器

#### 溝状遺構 (SD2004)

位置 3区 Loc.D2 δⅡ f~h9~10

断面形 逆台形 全長 14.2m 土層 11層

遺物出土状況 わずかではあるが、土器、石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の3点である。一方、石器は、スクレイパーが1点だけ図示できた。

時期 弥生時代中期後半~古墳時代前期初頭

#### 溝状遺構 (SD2005)

位置 3区 Loc.D2 δⅡ h~j12~16

断面形 船底形 全長 24.0m 土層 4層

遺物出土状況 覆土からかなりまとまった量の土器と石器が出土している。ただし、特定の地点、層位からの出土ではなく、溝状遺構全体から出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯など107点である。一方、石器は、柱状片刃石斧、石庖丁、スクレイパー、楔形石器、敲石が7点出土している。

時期 弥生時代中期後半~後期前半

#### 溝状遺構 (SD2006)

位置 4区 Loc.D2 δⅡ h~k9~16

断面形 逆台形 全長 43.5m 土層 34層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の26点である。一方、石器は、太型蛤刃石斧と砥石が図示できた。

時期 弥生時代中期後半~古墳時代前期初頭

備考 前述のSD2004と覆土の堆積状況は似ており、また、平面的な位置関係からもSD2006はSD2004と同一の溝状遺構の可能性が高いと考えられる。

#### 溝状遺構 (SD2007)

位置 4~6区 Loc.D2 δeⅡ s~e9~11

断面形 皿形 全長 28.5m 土層 2層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できたのは壺1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

#### 溝状遺構 (SD2012)

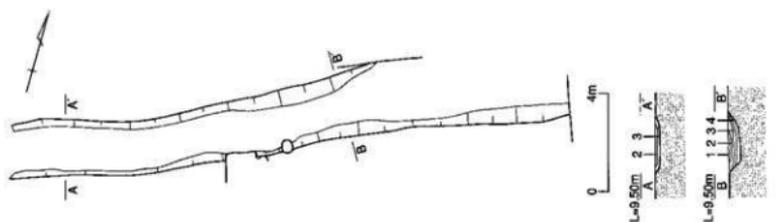
位置 4区 Loc.D2 δⅡ i~k9~11

断面形 逆台形 全長 40.2m 土層 17層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の4点である。

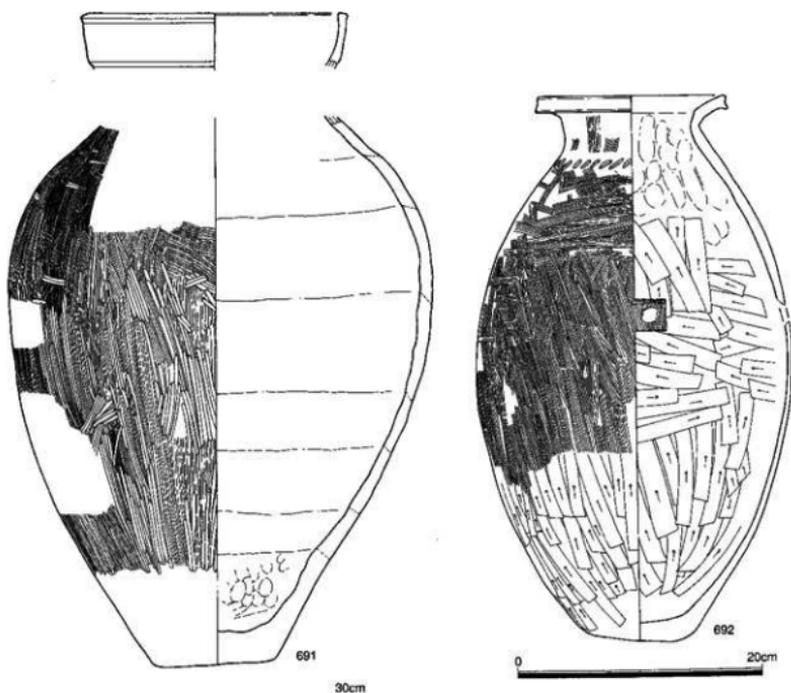
一方、石器は、石鎌と敲石が2点出土している。また、鉄器も1点出土している。

時期 弥生時代中期後半

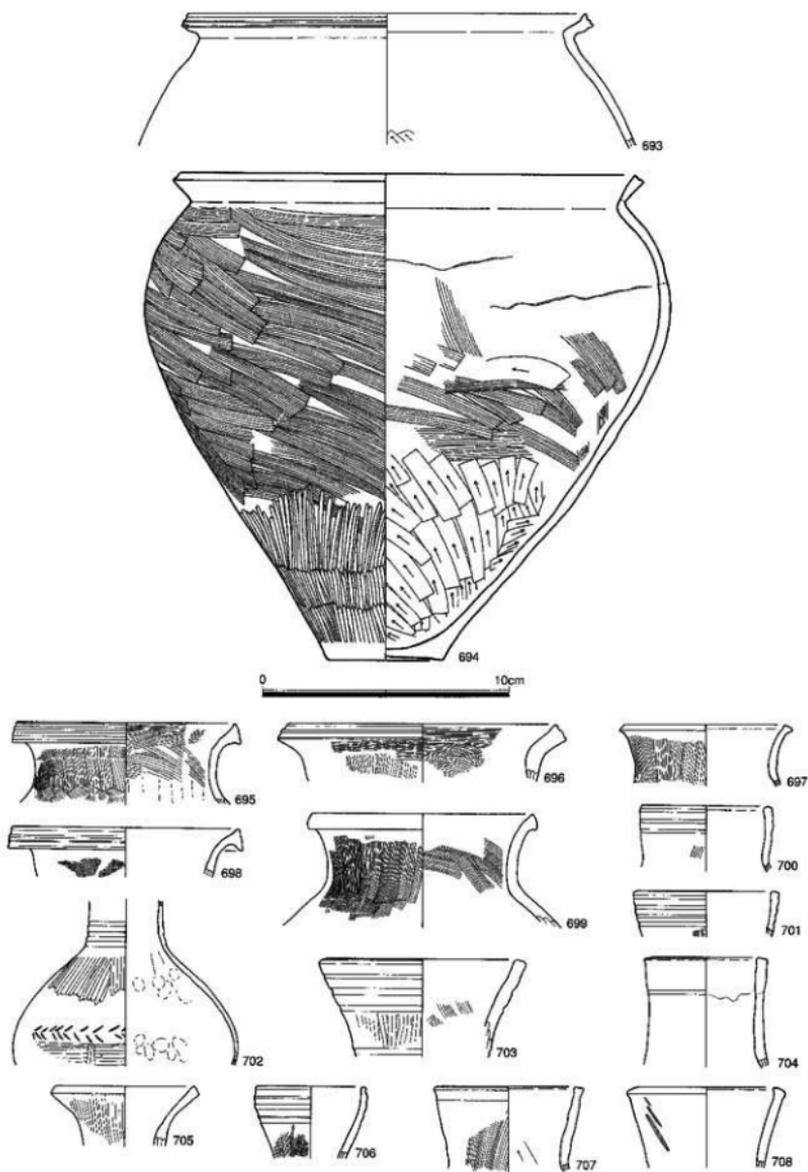


- |   |        |         |                                  |
|---|--------|---------|----------------------------------|
| 1 | 灰青色    | 2.5Y7/2 | 粘性砂質土 (粒子が細かく、粘性が弱い。マンガ、土器片を含む。) |
| 2 | 灰黄色    | 2.5Y6/2 | 粘性砂質土 (粒子が細かく、粘性が弱い。マンガ、土器片を含む。) |
| 3 | にぶい黄色  | 2.5Y6/3 | 粘性砂質土 (粒子が細かく、粘性が弱い。マンガ、土器片を含む。) |
| 4 | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘性砂質土 (粘性が強い。マンガ、石、土器片を含む。)      |

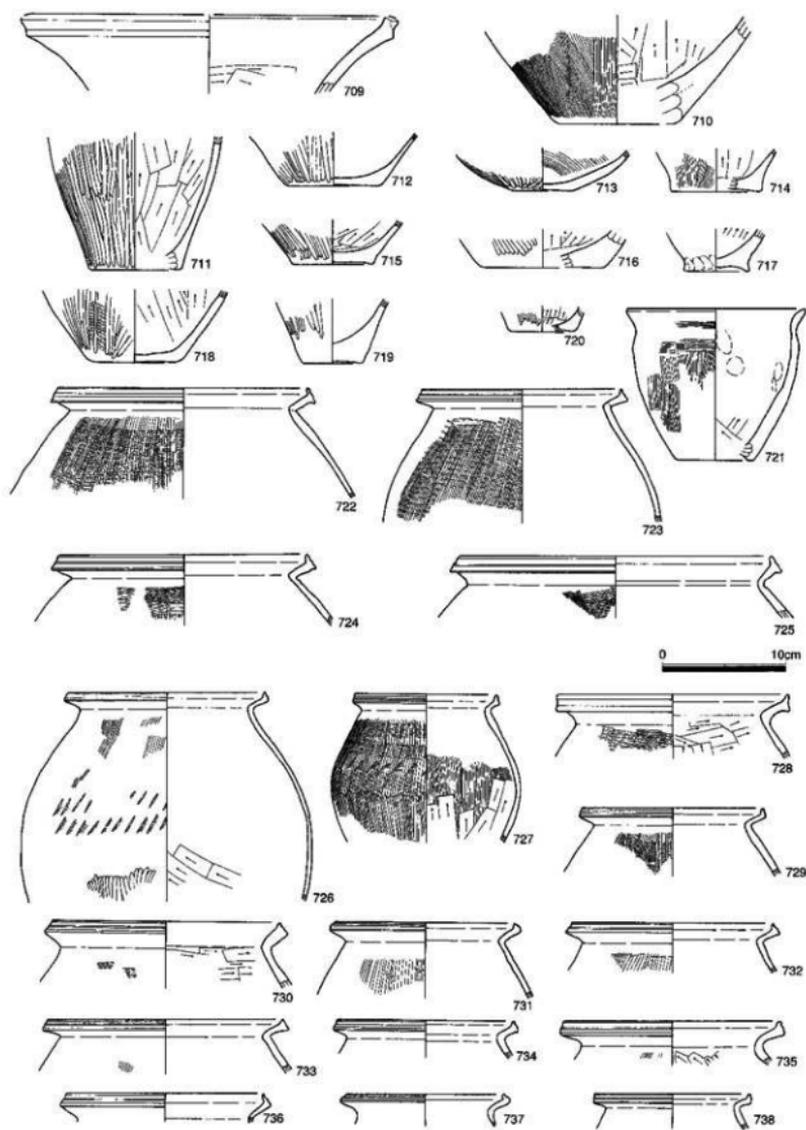
第185図 SD2005平・断面図 (S=1/200)



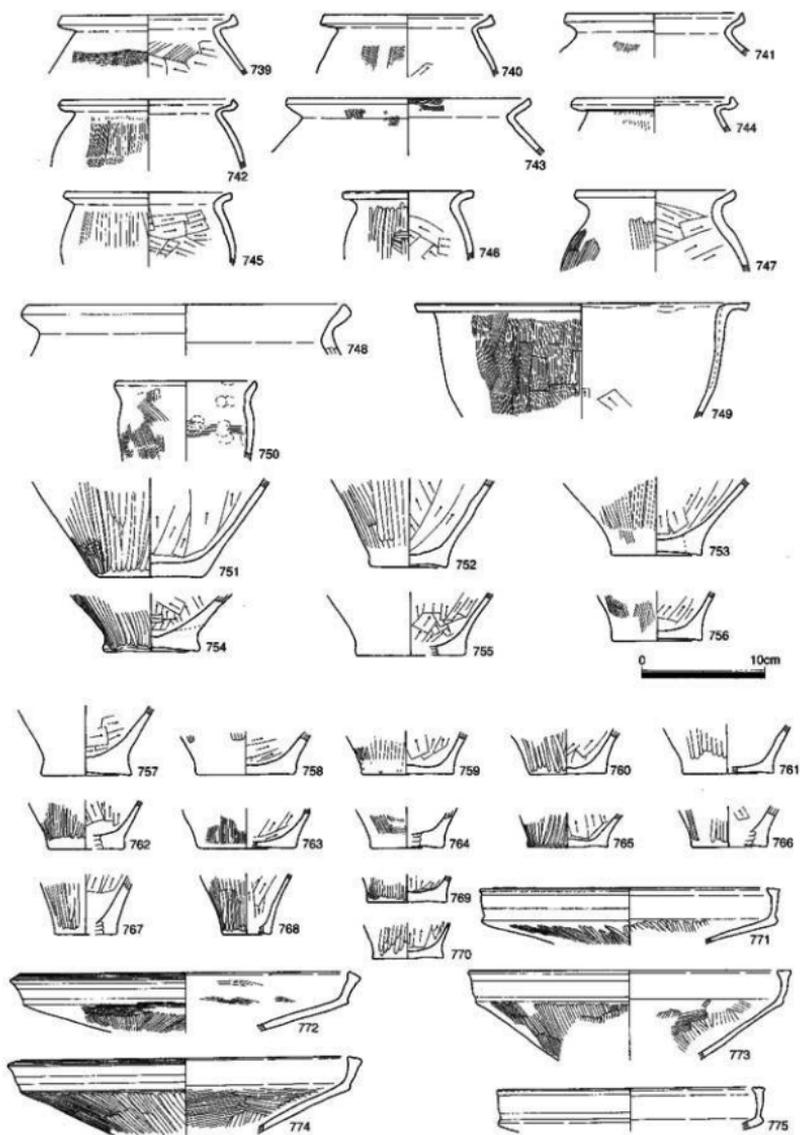
第186図 SD2005出土土器 (1)



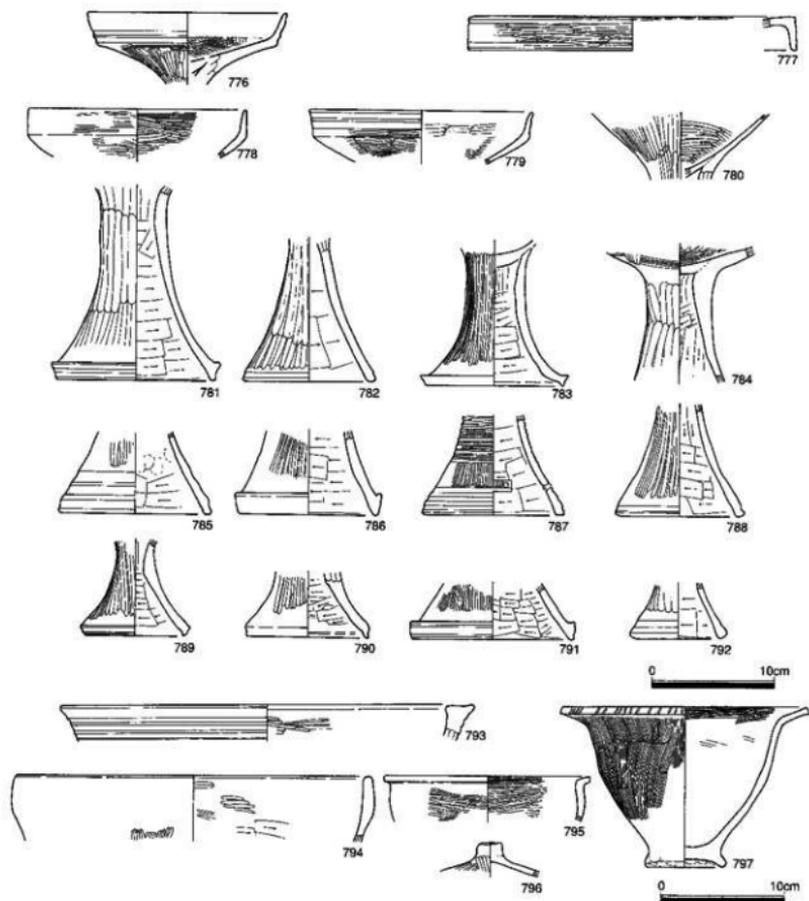
第187图 SD2005出土土器(2)



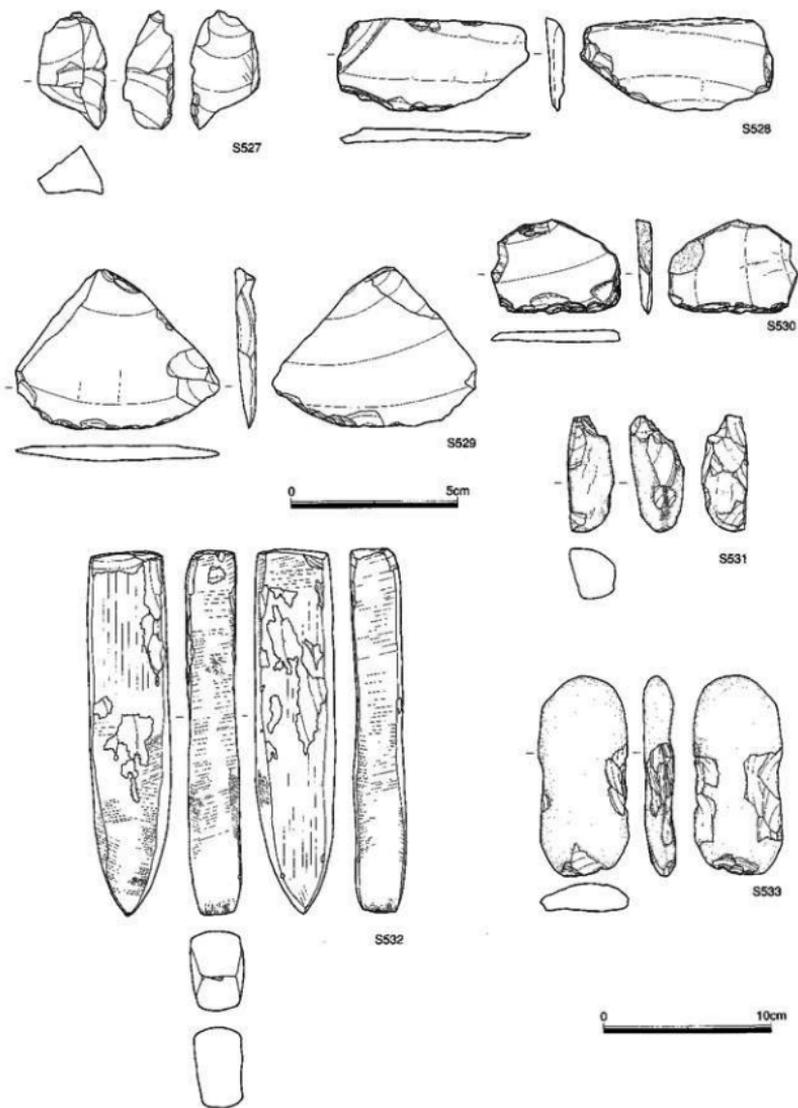
第188图 SD2005出土土器(3)



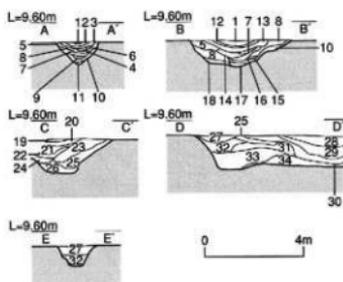
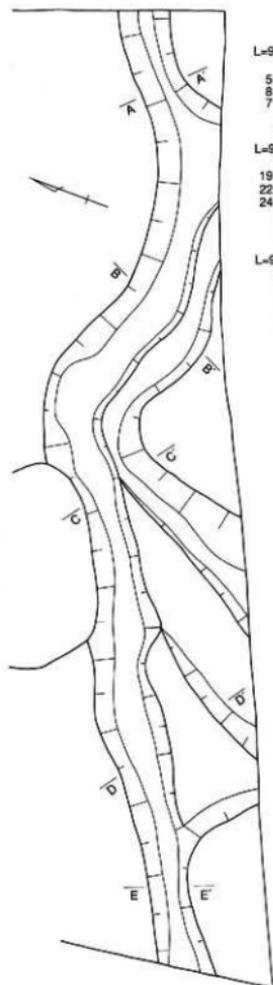
第189图 SD2005出土土器(4)



第190图 SD2005出土土器(5)

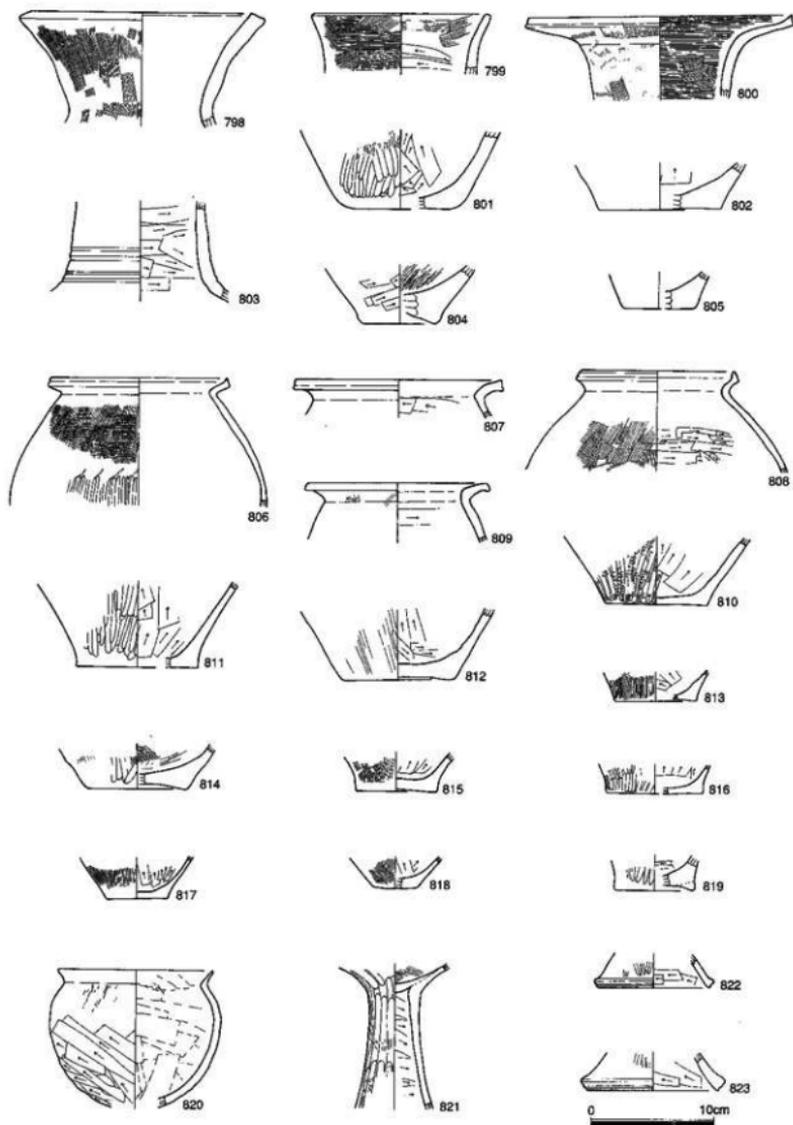


第191图 SD2005出土石器

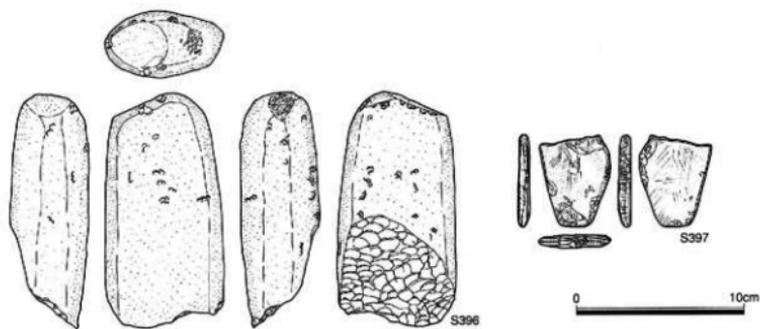


- |    |        |         |       |                                  |
|----|--------|---------|-------|----------------------------------|
| 1  | 黄褐色    | 2.5Y5/3 | 砂質土   | (1層の土を態状に含む。炭化物を含む。)             |
| 2  | 黒褐色    | 2.5Y5/1 | 砂質土   | (2層の土が所々に点在する。)                  |
| 3  | 黄褐色    | 2.5Y5/3 | 砂質土   | (5層より粒子が細かい。)                    |
| 4  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/3 | 砂質土   |                                  |
| 5  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/3 | 砂質土   |                                  |
| 6  | 暗灰黄色   | 2.5Y5/2 | 砂質土   | (6層より粒子が細かい。)                    |
| 7  | 暗灰黄色   | 2.5Y5/2 | 砂質土   |                                  |
| 8  | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 砂質土   | (砂を含む。)                          |
| 9  | 暗灰黄色   | 2.5Y5/2 | 砂質土   | (8層より粒子が細かい。)                    |
| 10 | オリーブ褐色 | 2.5Y5/3 | 砂質土   | (炭化物を含む。)                        |
| 11 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 砂質土   | (1層の土を上部に含む。)                    |
| 12 | 黒褐色    | 2.5Y3/2 | 砂質土   | (炭化物を含む。下部は黄褐色砂質土を含む。)           |
| 13 | 黒色     | 5Y2/1   | 砂質土   | (炭化物を含む。)                        |
| 14 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 砂質土   |                                  |
| 15 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 砂質土   | (8層より粒子が細かい。)                    |
| 16 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 砂質土   |                                  |
| 17 | 暗灰黄色   | 2.5Y5/2 | 砂質土   |                                  |
| 18 | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 砂質土   |                                  |
| 19 | 灰黄色    | 2.5Y6/2 | 粘性砂質土 | (下部に暗灰色粘性砂質土を多く含む。)              |
| 20 | 褐灰色    | 10YR5/1 | 粘性砂質土 | (上部に黒褐色の炭化土を多く含む。0.5~1mの礫を少量含む。) |
| 21 | 灰黄色    | 2.5Y6/2 | 粘性砂質土 | (マンガン、0.5~2cmの礫を多く含む。)           |
| 22 | 灰黄色    | 2.5Y6/2 | 粘性砂質土 | (21層よりマンガンを多く含む。1cm程度の礫を少量含む。)   |
| 23 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 粘性砂質土 | (22層よりマンガンを多く含む。0.5m程度の礫を少量含む。)  |
| 24 | 暗灰黄色   | 2.5Y5/2 | 粘性砂質土 | (上部にマンガンを多く含む。1m程度の礫を少量含む。)      |
| 25 | 黄褐色    | 2.5Y5/4 | 粘性砂質土 | (粘性がやや強い。)                       |
| 26 | 黄褐色    | 2.5Y5/6 | 粘性砂質土 | (粘性が強く、一面に非常に多量のマンガンを含む。)        |
| 27 | 黒褐色    | 2.5Y3/2 | 砂礫層   |                                  |
| 28 | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 砂質土   |                                  |
| 29 | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 砂質土   | (28層より粒子が細かい。)                   |
| 30 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 砂質土   |                                  |
| 31 | オリーブ褐色 | 2.5Y4/3 | 砂礫層   |                                  |
| 32 | 黄褐色    | 2.5Y5/3 | 砂礫層   |                                  |
| 33 | オリーブ褐色 | 2.5Y4/3 | 砂礫層   | (31層より粒子が細かい。)                   |
| 34 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 砂質土   | (30層より粒子が細かい。)                   |

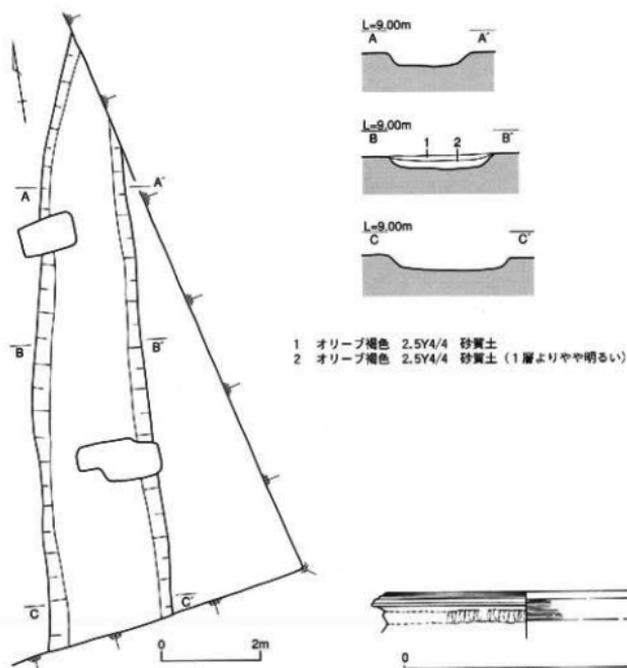
第192図 SD2006平・断面図 (S=1/200)



第193图 SD2006出土土器

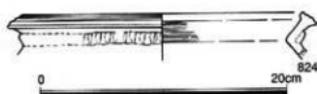


第194図 SD2006出土石器

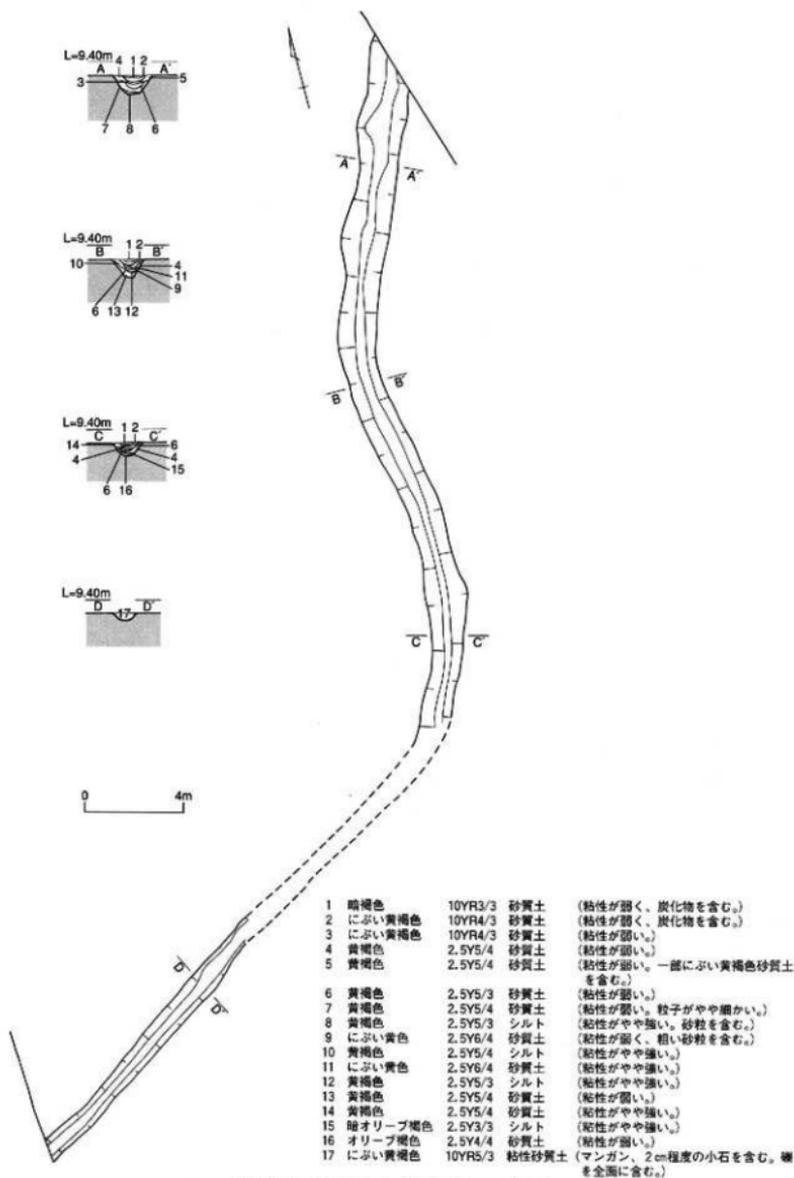


- 1 オリブ褐色 2.5Y4/4 砂質土
- 2 オリブ褐色 2.5Y4/4 砂質土 (1層よりやや明るい)

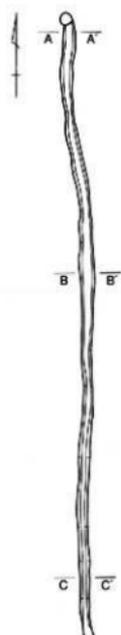
第195図 SD2007平・断面図 (S=1/100)



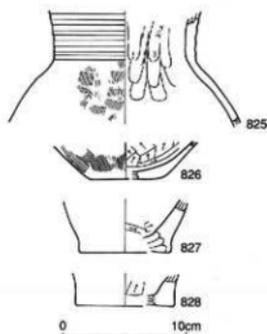
第196図 SD2007出土石器



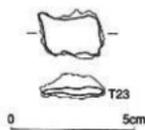
第197図 SD2012平・断面図 (S=1/200)



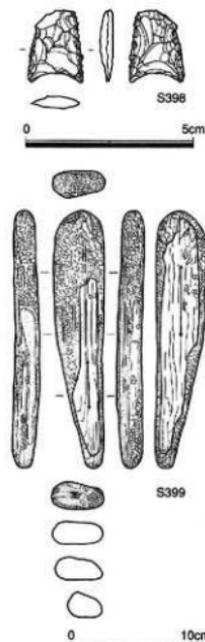
1 灰黄褐色 10YR4/2 粘性砂質土 (マンガンを含む)  
 第198図 SD2014平・断面図 (S=1/200)



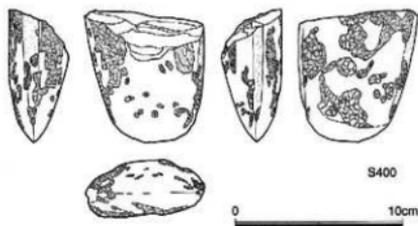
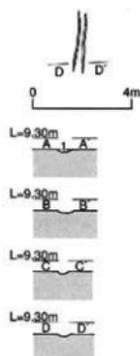
第199図 SD2012出土土器



第200図 SD2012出土鉄器



第201図 SD2012出土石器



第202図 SD2014出土石器

溝状遺構 (SD2014)

位置 4区 Loc.D2 δe II 1~b10

断面形 皿形 全長 32.3m 土層 1層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できたのは、石器で大型蛤刃石斧1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

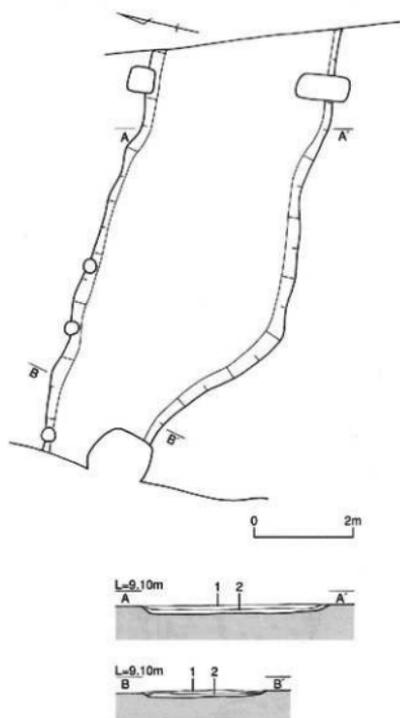
溝状遺構 (SD2017)

位置 4区 Loc.D2 δ II st11~13

断面形 皿形 全長 9.5m 土層 2層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。一方、石器は、楔形石器と剥片が図示できた。

時期 弥生時代中期後半

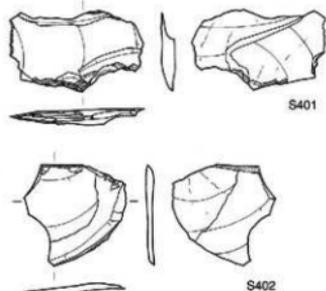


- 1 灰オリーブ色 5Y5/2 シルト (マンガンを含む)  
 2 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土 (マンガンを含む)

第203図 SD2017平・断面図 (S=1/100)



第204図 SD2017出土土器



第205図 SD2017出土石器

溝状遺構 (SD2019)

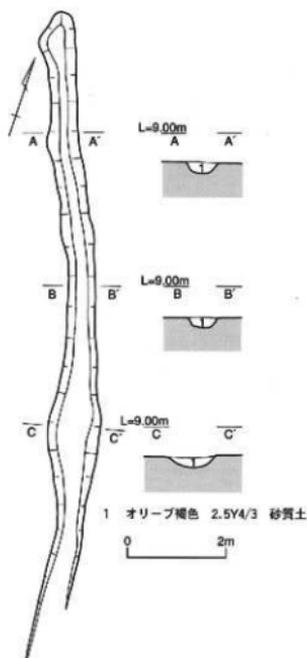
位置 7区 Loc.E2 α II e-g4

断面形 皿形 全長 13.3m 土層 1層

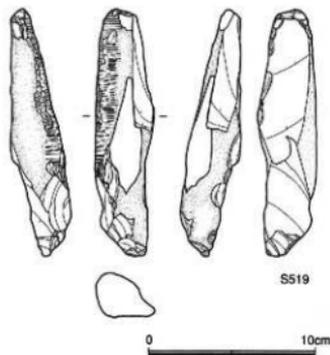
遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の5点である。

一方、石器は、砥石が1点図示できた。この砥石は、特徴的な細かな線状痕を有しており、鉄器製作に関連したものの可能性も指摘できる。

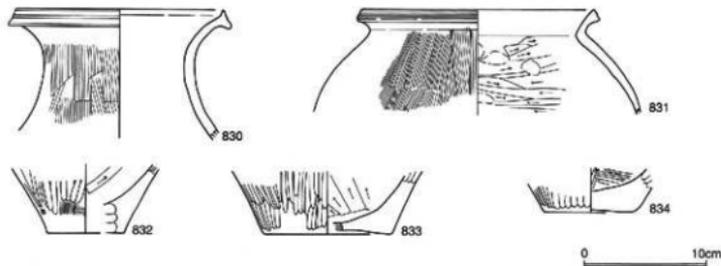
時期 弥生時代中期後半～後期初頭



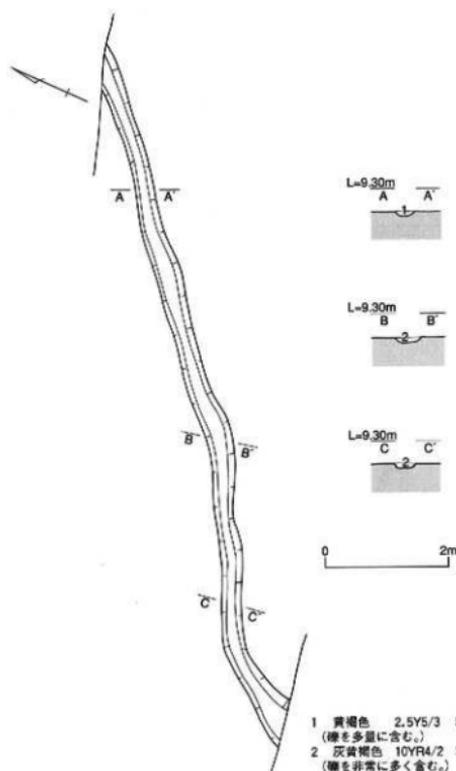
第206図 SD2019平・断面図 (S=1/100)



第207図 SD2019出土石器



第208図 SD2019出土土器



第209図 SD2020平・断面図 (S=1/80)

溝状遺構 (SD2020)

位置 8区

Loc.D2 8Ⅱ o~q 5~6

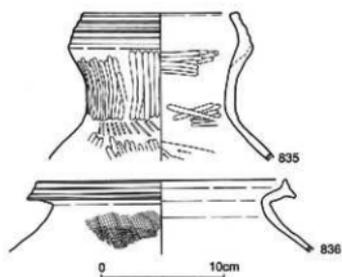
断面形 皿形

全長 11.3m

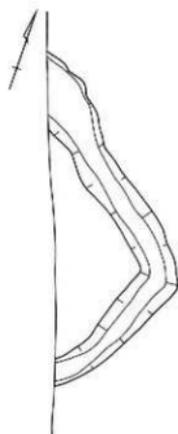
土層 2層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、壺、甕の2点である。

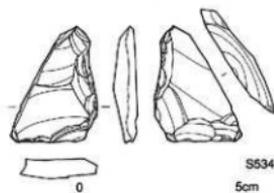
時期 弥生時代中期後半



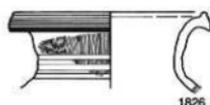
第210図 SD2020出土土器



第211図 SD2022平・断面図 (S=1/100)



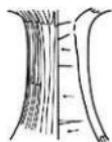
第212図 SD2022出土石器



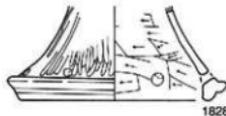
1826



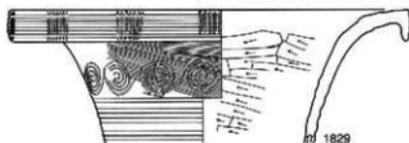
1827



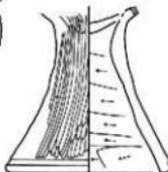
1829



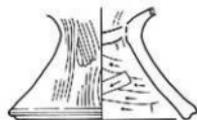
1831



1830



1831



1831

0 20cm

第213図 SD2022出土土器

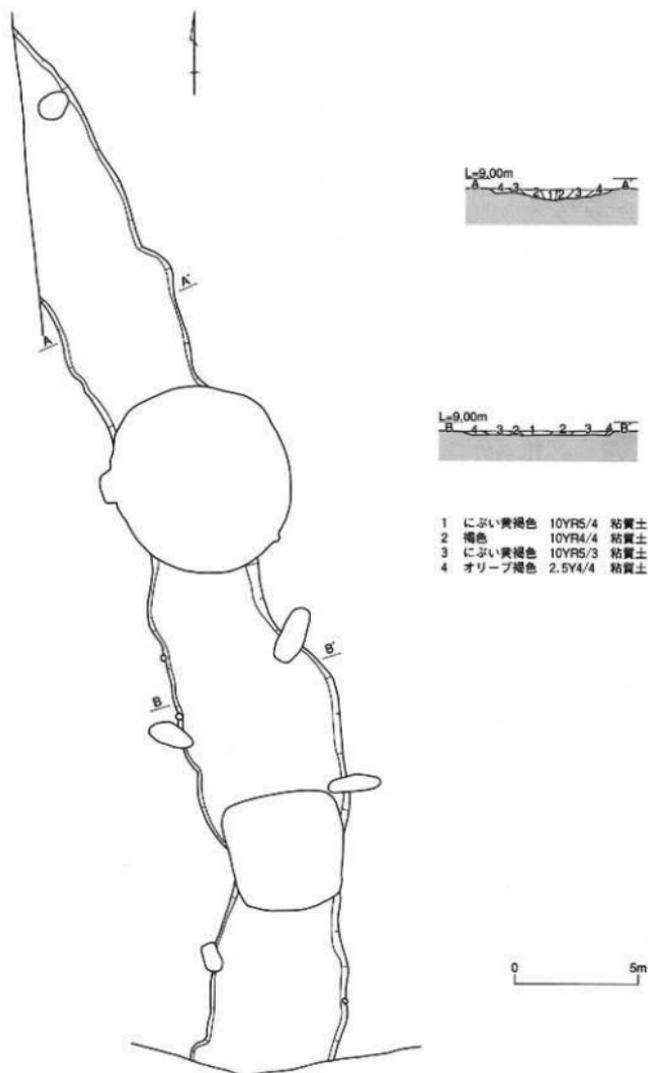
溝状遺構 (SD2022)

位置 9区 Loc.D2 εII g1~2 断面形 逆台形 全長 9.3m 土層 不明

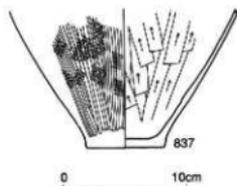
遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、高杯の7点である。一方、石器は、楔形石器が1点出土している。

時期 弥生時代後期初頭

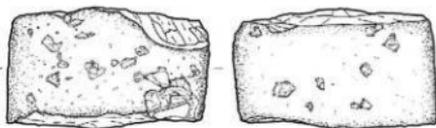
備考 前述のSB2033埋没後に構築されている。



第214図 SD2023平・断面図 (S=1/200)



第215図 SD2023出土土器



第216図 SD2023出土土器

#### 溝状遺構 (SD2023)

位置 10区 Loc.D2 ε I~II 1~t18~1

断面形 皿形 全長 39.0m 土層 4層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の遺物が出土している。図示できた土器は、甕の1点だけである。

一方、石器は、太型蛤刃石斧が1点出土している。

時期 弥生時代中期後半

備考 前述のSB2036、SB2038は、SD2023埋没後に構築されている。

#### 溝状遺構 (SD2026)

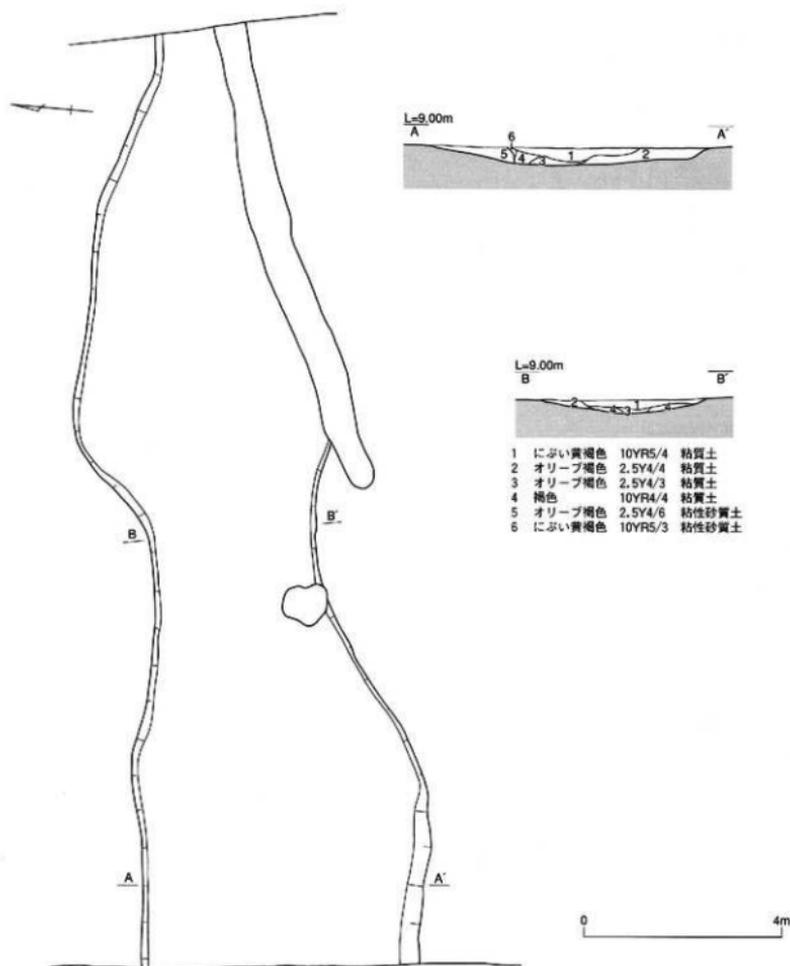
位置 10区 Loc.E2 α I~II a~c18~2

断面形 皿形 全長 19.3m 土層 6層

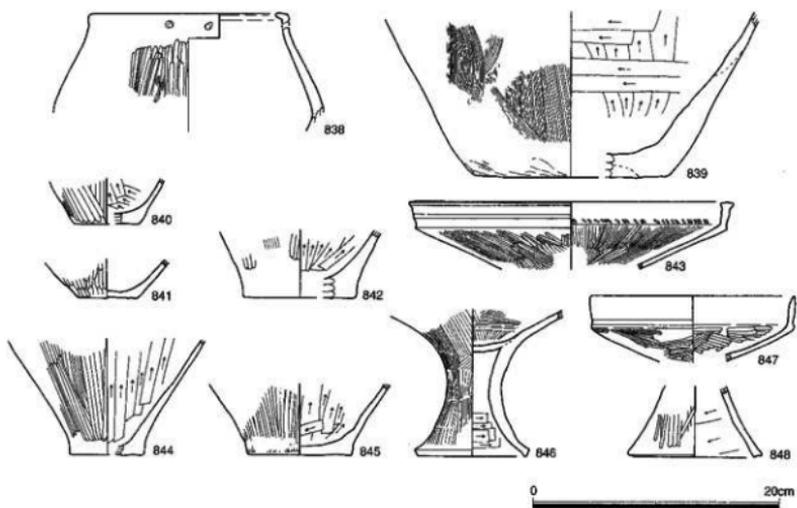
遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の11点である。

時期 弥生時代中期末~後期初頭

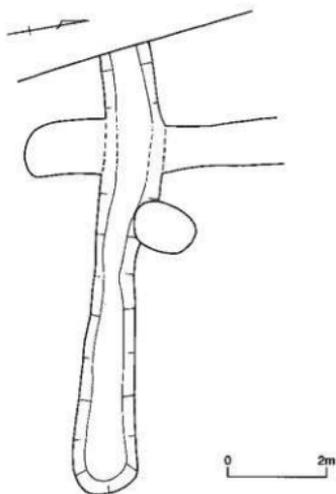
備考 前述のSB2039は、SD2026埋没後に構築されている。



第217図 SD2026平・断面図 (S=1/100)



第218图 SD2026出土土器



第219图 SD2027平·断面图 (S=1/100)



第220図 SD2027出土土器

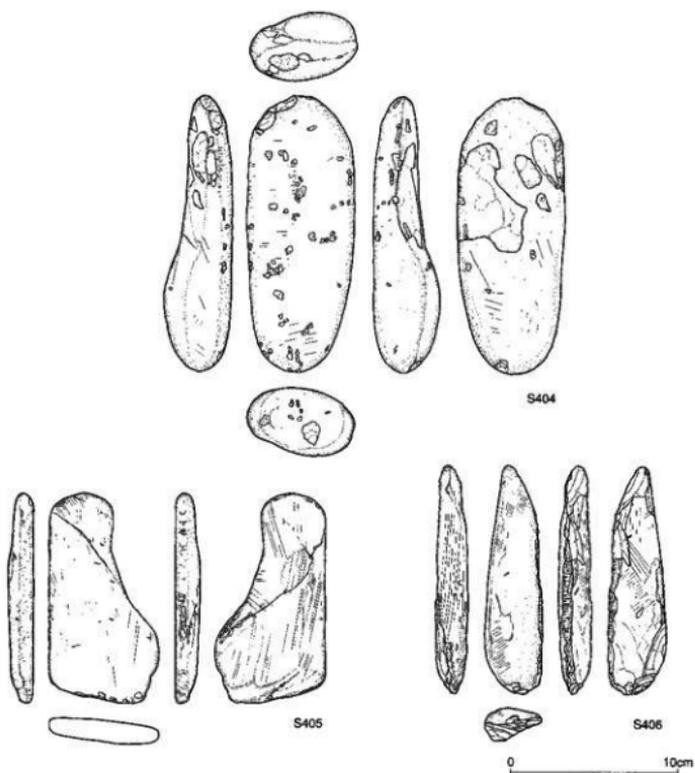
溝状遺構 (SD2027)

位置 10区 Loc.D2 e I rs18~20

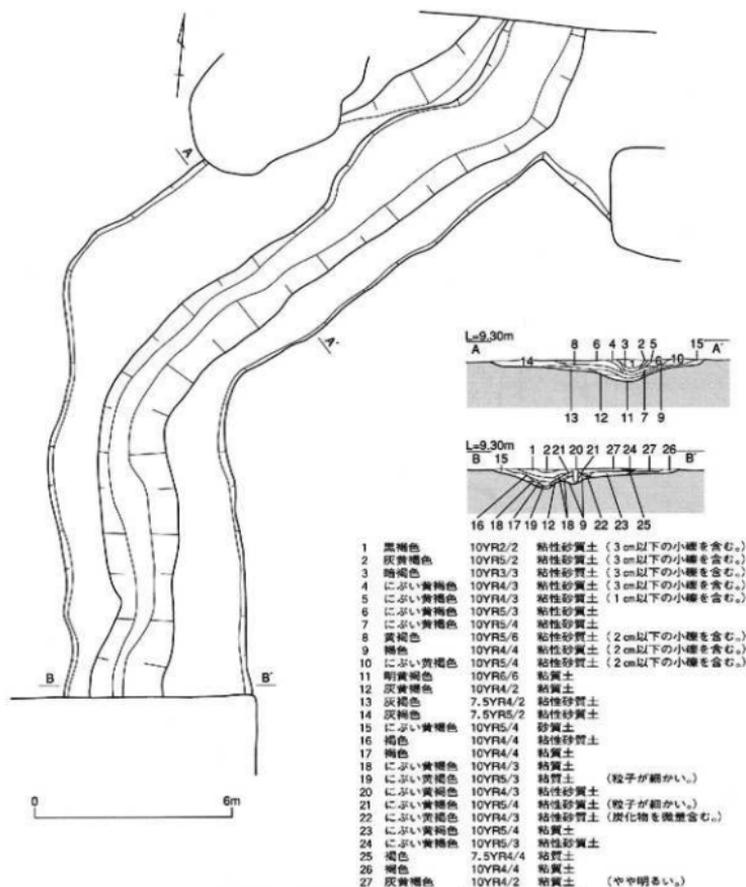
断面形 皿形 全長 9.1m 土層 不明

遺物出土状況 葎土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の20点である。一方、石器は、砥石が3点図示できた。砥石 S106は側面部に特徴ある細かな線状痕を有しており、鉄器製作の関連が窺われる。

時期 弥生時代中期後半～後期初頭



第221图 SD2027出土石器



第222図 SD2028平・断面図(1) (S=1/150)

溝状遺構 (SD2028)

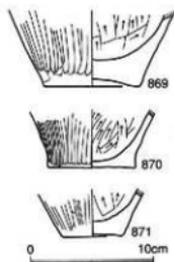
位置 10区 Loc.E2 α I c~g16~19

断面形 皿形 全長 26.9m

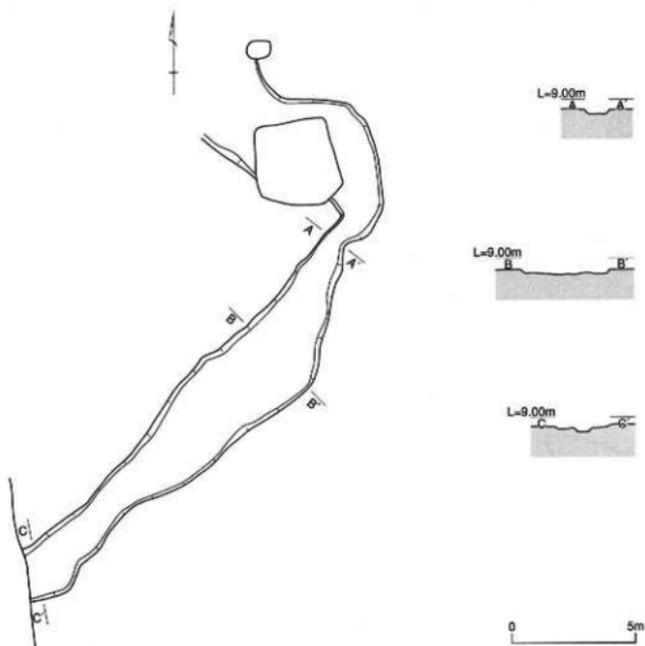
土層 27層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の13点である。一方、石器は、石鏃、石庖丁、楔形石器、敲石・磨石などが10点図示できた。また、鉄器が13点とまとまって出土しているが、確実に弥生時代と考えられるのは、鉄鏃(T32)だけである。その他は、器種も不明な鉄片である。

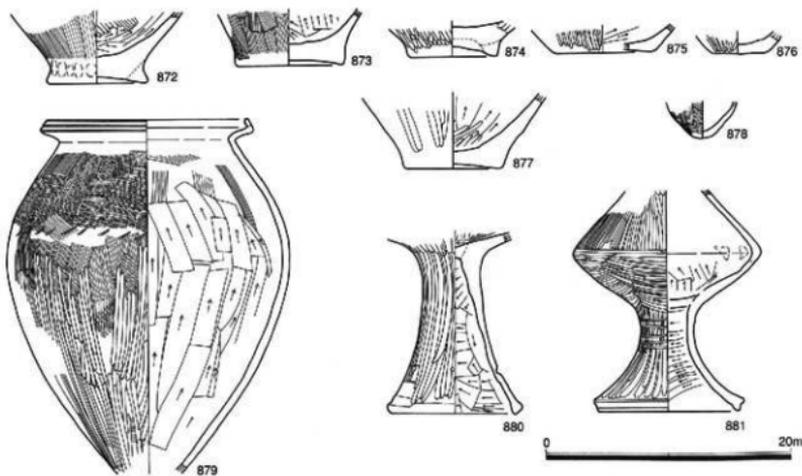
時期 弥生時代中期後半~後期初頭



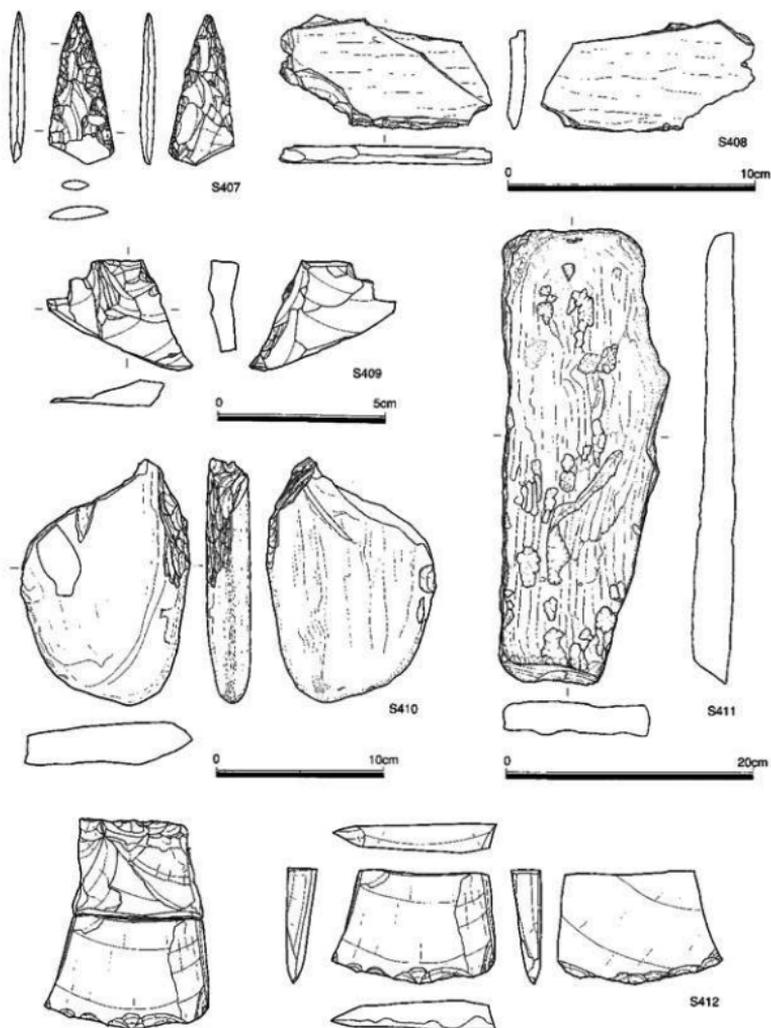
第223図 SD2028出土土器(1)



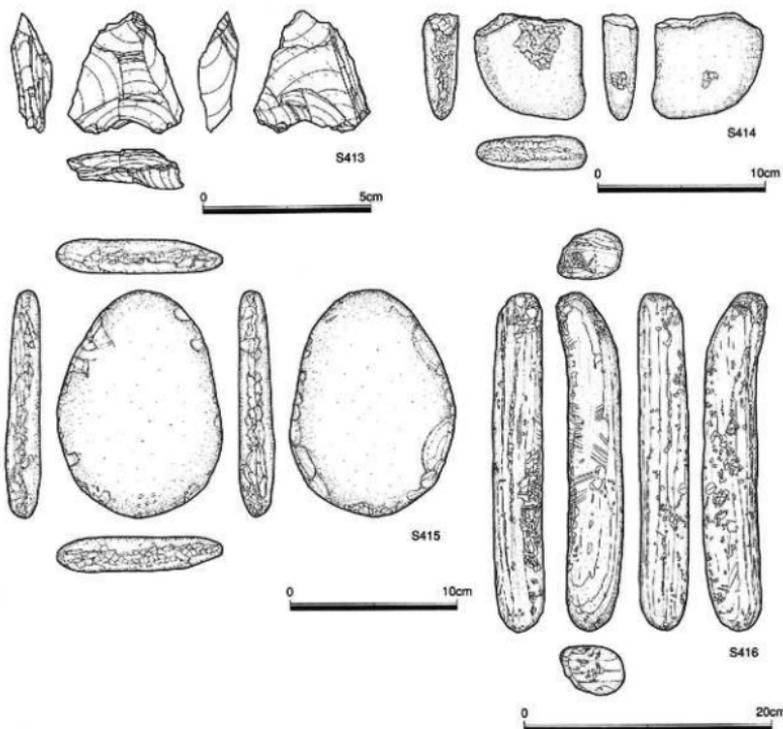
第224图 SD2028平・断面图(2) (S=1/200)



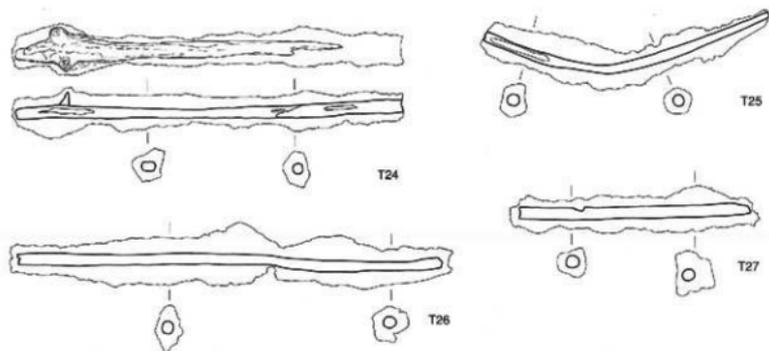
第225图 SD2028出土土器(2)



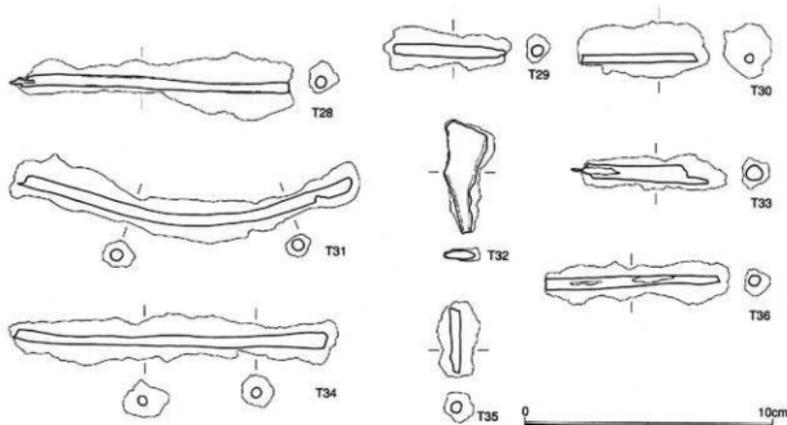
第226图 SD2028出土石器(1)



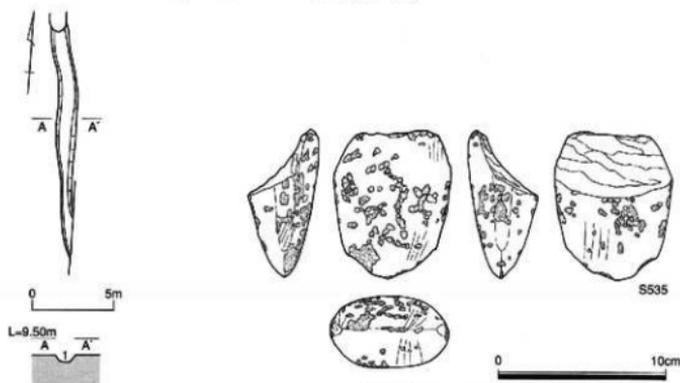
第227图 SD2028出土石器(2)



第228图 SD2028出土铁器(1)



第229図 SD2028出土鉄器(2)



1 黄褐色 2.5YS/4 粘性砂質土  
(マンガンを含み)

第231図 SD2030出土石器

第230図 SD2030平・断面図 (S=1/300)

溝状遺構 (SD2030)

位置 12区 Loc.E2 αⅡ 1~o1

断面形 皿形 全長 14.0m 土層 不明

遺物出土状況 覆土からわずかに石器が出土している。図示できた石器は、太型蛤刃石斧1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

④土坑 (SK)

土坑 (SK2001)

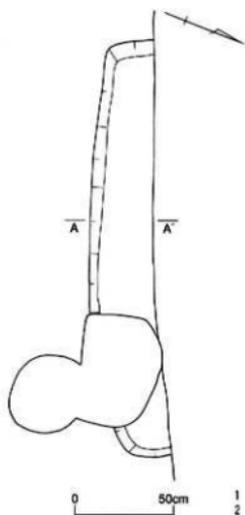
位置 3区 Loc.D2 δ II d13~14 平面形 方形

土層 2層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

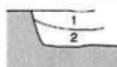
時期 弥生時代中期後半

備考 前述のSD2003に破壊されており、平面形や断面観察から復元を考えると、竪穴住居跡の可能性も考えられよう。



第232図 SK2001平・断面図 (S=1/25)

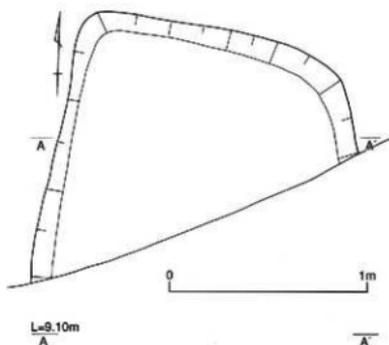
L=9.10m  
A A'



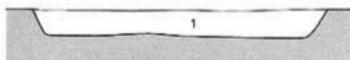
- 1 灰色 5Y5/1 粘性砂質土 (砂子が細く、粘性が高い。マンガン、小礫を含む。)  
2 灰黄色 2.5Y6/2 粘性砂質土 (砂質が高い。マンガンを含む。)



第233図 SK2001出土土器

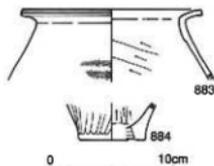


L=9.10m  
A A'



- 1 黄褐色 2.5Y5/4 粘性砂質土 (マンガン、小礫、3cm程度の小石を含む。)

第234図 SK2002平・断面図 (S=1/25)



第235図 SK2002出土土器

土坑 (SK2002)

位置 3区 Loc.D2 δ II de13 平面形 方形

土層 1層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕が2点である。型式学的には、後期後半であるので、混入の可能性も考えられる。

時期 SD2003との前後関係から考えると弥生時代中期後半である。

備考 前述のSD2003により遺構の南東部分は、破壊されている。

土坑 (SK2003)

位置 3区 Loc.D2 δ II e14 平面形 方形

土層 6層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

備考 前述のSD2003に遺構の南西部分を破壊されている。

土坑 (SK2008)

位置 5・6区 Loc.D2 e II c7~8 平面形 円形

土層 6層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

備考 後述するSX2004に遺構の南西部分を破壊されている。

土坑 (SK2016)

位置 7区 Loc.D2 e II m7 平面形 楕円形

土層 3層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器と石器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。一方、石器は、敲石が1点図示できた。

時期 弥生時代中期後半

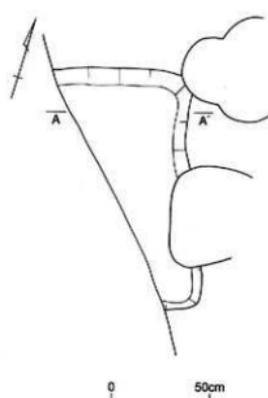
土坑 (SK2017)

位置 7区 Loc.D2 e II mn5~6 平面形 楕円形

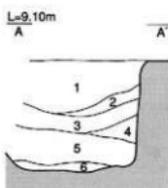
土層 1層

遺物出土状況 覆土からわずかに土器が出土している。図示できた土器は、甕2点である。

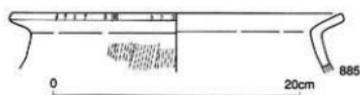
時期 弥生時代中期後半



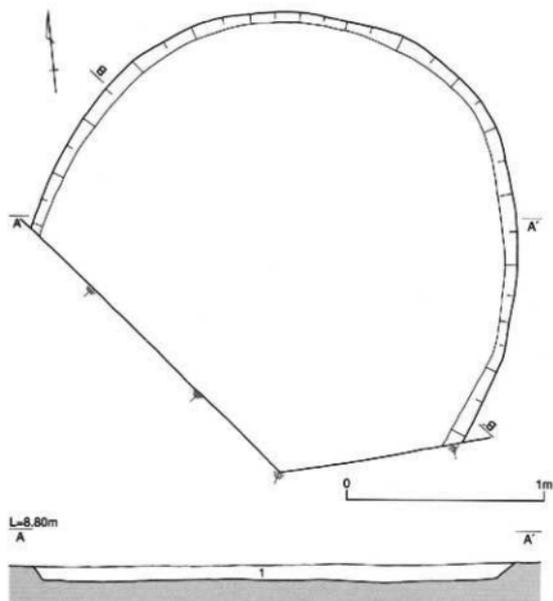
第236図 SK2003平・断面図 (S=1/25)



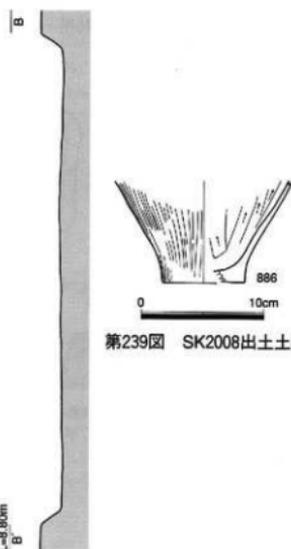
- 1 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト (地山ブロックをやや多く含む。)
- 2 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト (地山ブロックを多く含む。)
- 3 にぶい黄褐色 10YR5/3 シルト (地山ブロックを非常に多く含む。土器片を微量含む。)
- 4 にぶい黄褐色 10YR4/3 シルト (マンガンを少量含む。土器片を含む。)
- 5 灰黄褐色 10YR4/2 シルト
- 6 灰黄褐色 10YR4/2 シルト (マンガンを含む。炭化物、土器粒を微量含む。)



第237図 SK2003出土土器

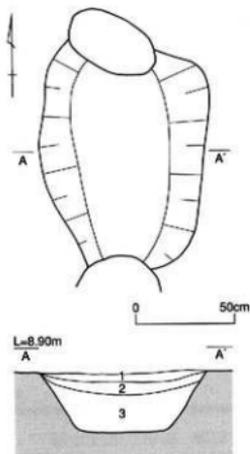


第238図 SK2008平・断面図 (S=1/25)



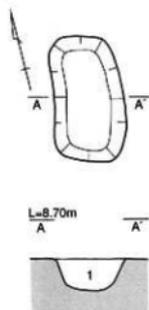
第239図 SK2008出土土器

- 1 オリーブ褐色 2.5Y4/6 砂質土



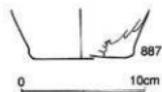
- 1 黄褐色 2.5Y5/3 シルト
- 2 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト  
(やや砂質が強い。マンガンを含む。)
- 3 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト  
(やや砂質が強い。マンガンを含む。炭化物を多量に含む。)

第240図 SK2016平・断面図 (S=1/25)

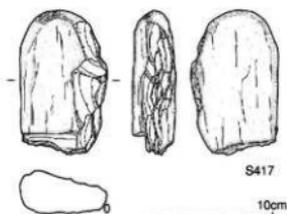


- 1 にぶい黄褐色 10YR5/4 シルト

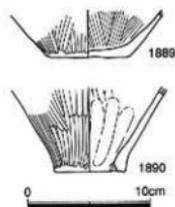
第243図 SK2017平・断面図 (S=1/25)



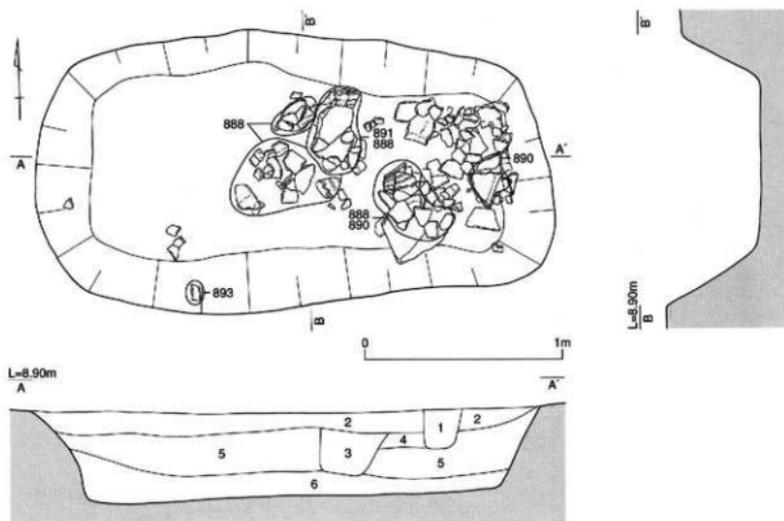
第241図 SK2016出土土器



第242図 SK2016出土石器



第244図 SK2017出土土器



- 1 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘性砂質土 (マンガン、炭化物、土器片を含む。)
- 2 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘性砂質土 (マンガン、小礫土器片を含む。下部に炭化物を含む。)
- 3 にぶい黄褐色 10YR6/4 粘性砂質土 (マンガン、炭化物、小礫、土器片を含む。にぶい黄色粘性砂質土を少量含む。)
- 4 にぶい黄褐色 10YR6/3 粘性砂質土 (マンガン、土器片を含む。)
- 5 にぶい黄褐色 10YR6/3 粘性砂質土 (マンガン、土器片を含む。4層より炭化物を多く含む。)
- 6 にぶい黄色 2.5Y6/3 粘性砂質土 (マンガン、炭化物を含む。褐色粘質土を少量含む。)

第245図 SK2018平・断面図、遺物出土状況図 (s=1/25)

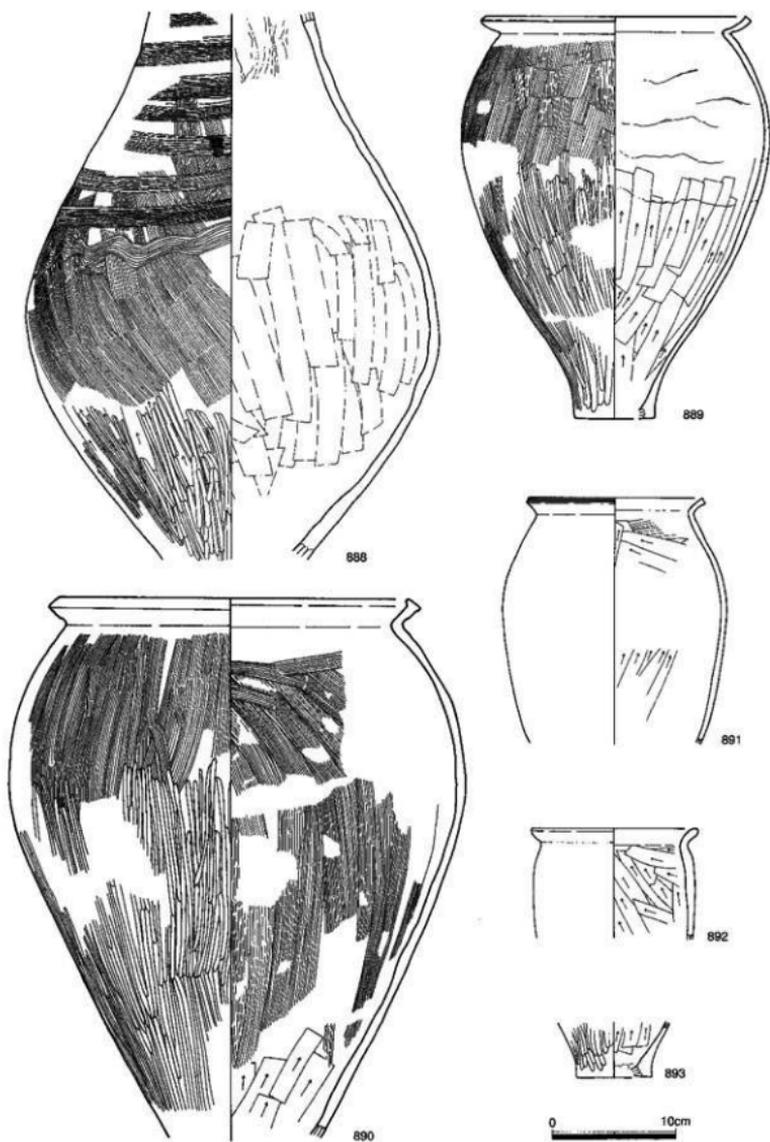
#### 土坑 (SK2018)

位置 7区 Loc.D2 εⅡ p6~7 平面形 楕円形

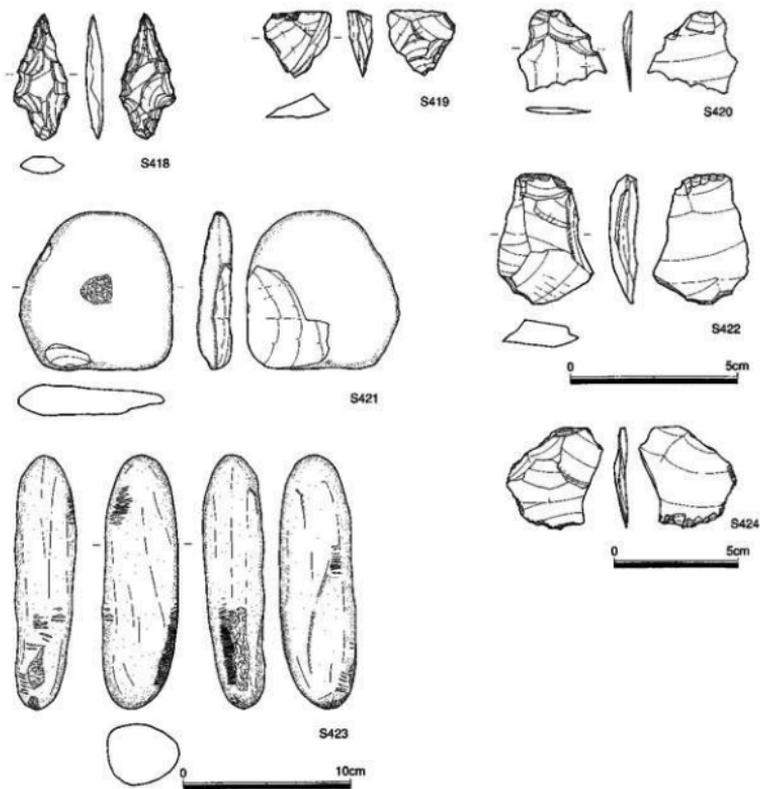
土層 6層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺1点、甕5点である。一方、石器は、石鏃、楔形石器、蔽石、砥石、剥片が7点出土している。これらの遺物は、出土状況図にあるように、土坑東側から集中して出土している。

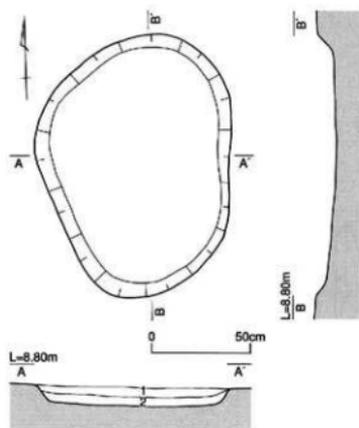
時期 弥生時代中期後半



第246图 SK2018出土土器



第247图 SK2018出土石器



- 1 にぶい黄色 2.5Y6/2 粘性砂質土  
(粒子が細かく、砂質が強い。土器片、マンガンを含む。)
- 2 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘性砂質土  
(マンガン、土器片を含む。砂質の強い褐色粘性砂質土を一部含む。)

第248図 SK2019平・断面図 (S=1/25)

土坑 (SK2019)

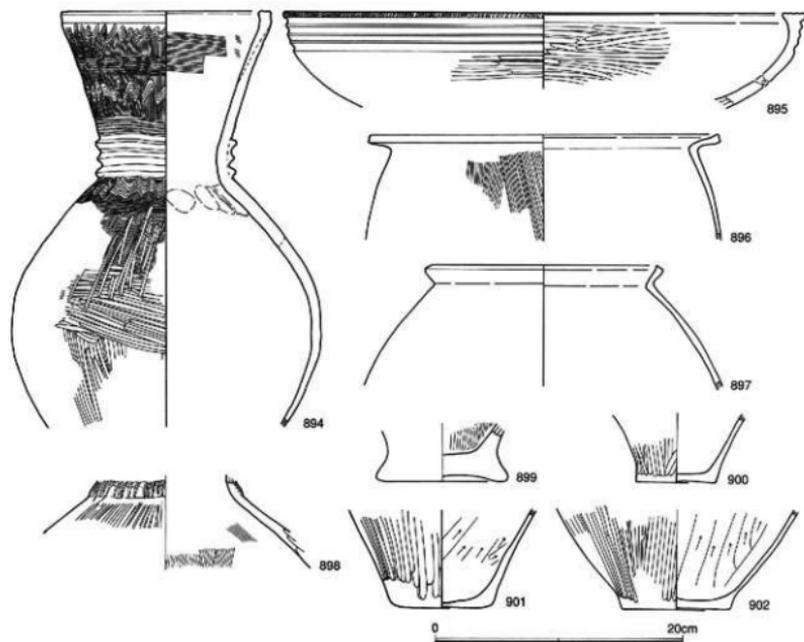
位置 7区 Loc.D2 ε II r6

平面形 楕円形

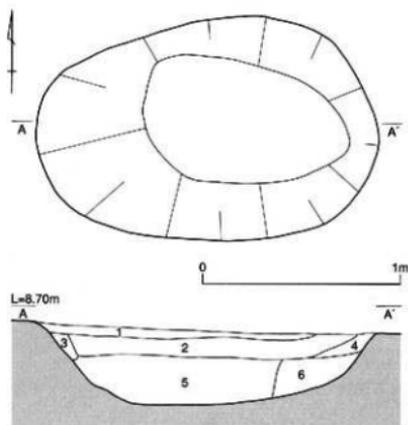
土層 2層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の9点である。

時期 弥生時代中期後半

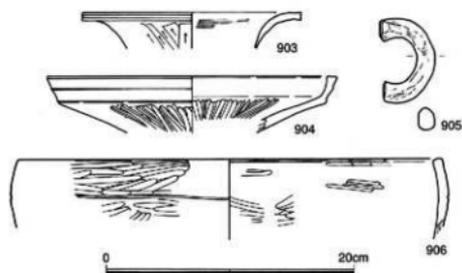


第249図 SK2019出土土器



第250図 SK2020平・断面図、遺物出土状況 (S=1/25)

- |   |        |         |                             |
|---|--------|---------|-----------------------------|
| 1 | にぶい黄色  | 2.5V6/3 | 粘性砂質土 (マンガン、土器片を含む。)        |
| 2 | にぶい黄色  | 2.5V6/4 | 粘性砂質土 (マンガン、小礫、土器片を含む。)     |
| 3 | 黄褐色    | 2.5V5/3 | 粘性砂質土 (マンガン、炭化物、土器片を含む。)    |
| 4 | オリーブ褐色 | 5V6/3   | 粘性砂質土 (砂質が強い、マンガンを含む。)      |
| 5 | 灰黄色    | 2.5V6/2 | 粘性砂質土 (粒子が細かい、マンガン、炭化物を含む。) |
| 6 | にぶい黄色  | 2.5V6/3 | 粘性砂質土 (マンガン、炭化物を含む。)        |



第251図 SK2020出土土器

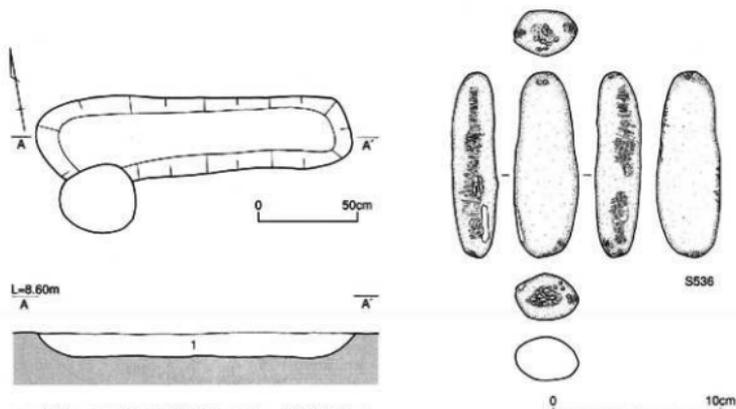
土坑 (SK2020)

位置 7区 Loc.D2 ε II s6~7 平面形 楕円形

土層 6層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、鉢、高杯、把手の4点である。

時期 弥生時代中期後半~後期初頭



1 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土 (マンガン、炭化物を含む)

第252図 SK2021平・断面図 (S=1/25)

第253図 SK2021出土石器

土坑 (SK2021)

位置 7区 Loc.D2 ε II s4~5 平面形 楕円形

土層 1層

遺物出土状況 覆土から石器が出土している。図示できた石器は、砥石の1点だけである。側縁部には、特徴的な線状痕を有している。鉄器製作との関連が窺われる遺物である。

時期 弥生時代中期後半

土坑 (SK2024)

位置 7区 Loc.E2 α II b4~5

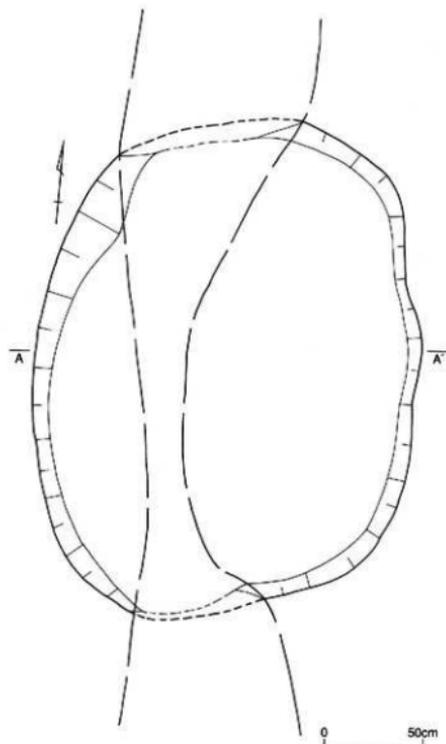
平面形 楕円形

土層 11層(焼土、灰、炭化物を多く含む。)

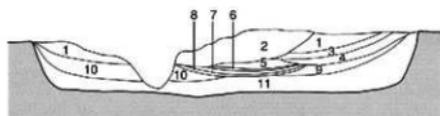
遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。他の土坑と比べ、遺物量は多かった。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の61点である。一方、石器は、石鏃、石砲丁、蔽石、砥石などが9点出土している。これらの遺物は、出土状況図にあるように、平面的には土坑全体から細かな破片となつて出土している。また、断面観察からは、土器片がとくに多い層が認められる。

時期 弥生時代中期末

備考 土坑の中央西側一部は、古代の溝状遺構により破壊されている。断面観察から、焼土、炭化物、灰が土器片とともに、何層にも折り重なる状況が確認できた。このことから、火を用いた何らかの(祭祀)行為が行われた可能性が指摘できよう。

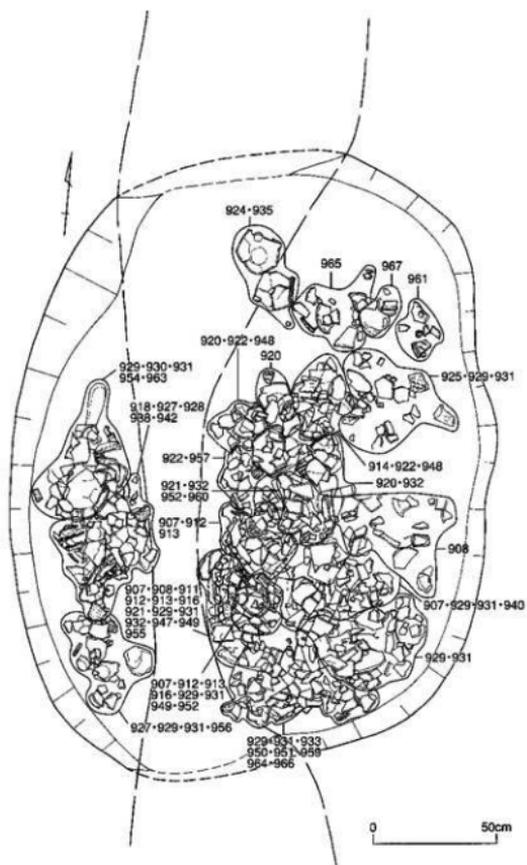


L=8.90m  
A

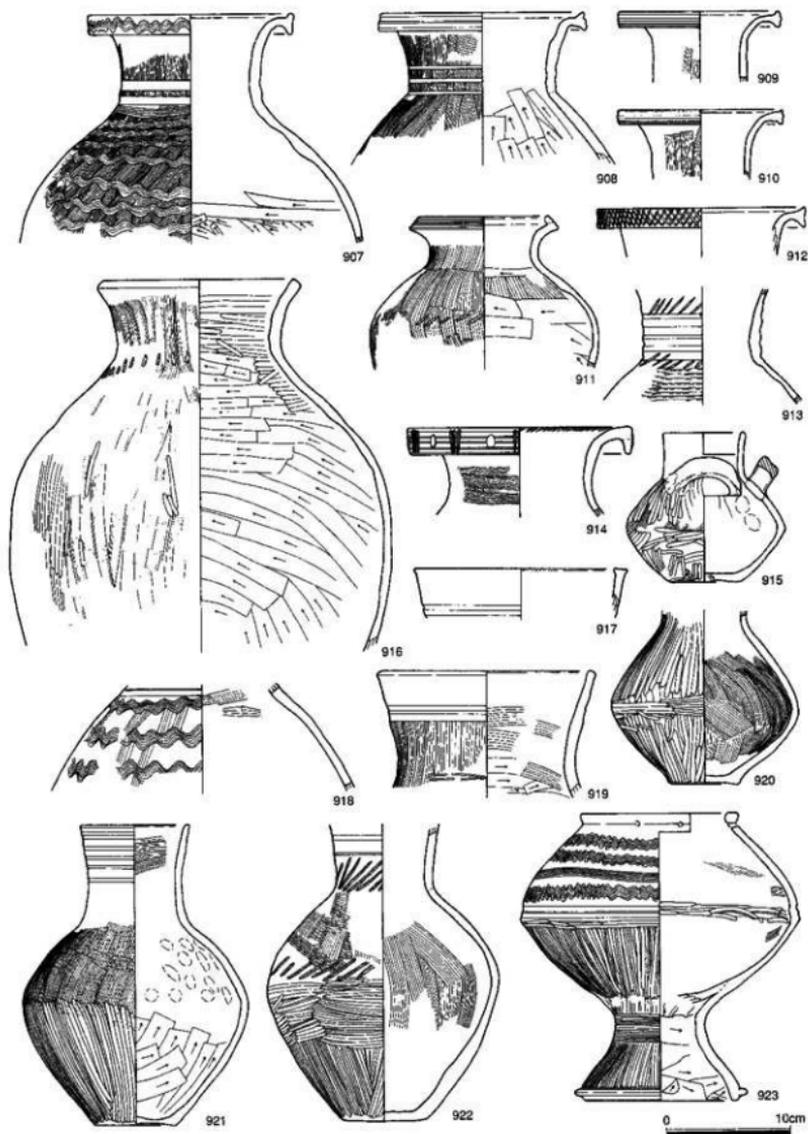


- |    |        |          |       |                       |
|----|--------|----------|-------|-----------------------|
| 1  | にぶい黄褐色 | 10YR5/4  | シルト   | (焼土を所々に含む。)           |
| 2  | 灰白色    | 10YR7/1  | 粘性砂質土 | (灰と土器片を多く含む。)         |
| 3  | にぶい黄褐色 | 10YR5/4  | シルト   | (炭化物を多く含む。)           |
| 4  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3  | シルト   | (焼土、炭化物を含む。)          |
| 5  | 灰黄褐色   | 10YR4/2  | シルト   | (焼土、炭化物を含み、土器片を多く含む。) |
| 6  | 暗灰色    | 7.5YR5/1 | 炭化物層  |                       |
| 7  | にぶい黄褐色 | 10YR6/4  | 粘質土   |                       |
| 8  | 暗灰色    | 7.5YR5/1 | 炭化物層  | (6層よりやや暗い。)           |
| 9  | にぶい黄褐色 | 10YR5/3  | シルト   | (炭化物を含む。)             |
| 10 | にぶい黄褐色 | 10YR6/3  | シルト   | (焼土を含み、マンガンを非常に多く含む。) |
| 11 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3  | シルト   | (マンガンの沈澱が著しい。)        |

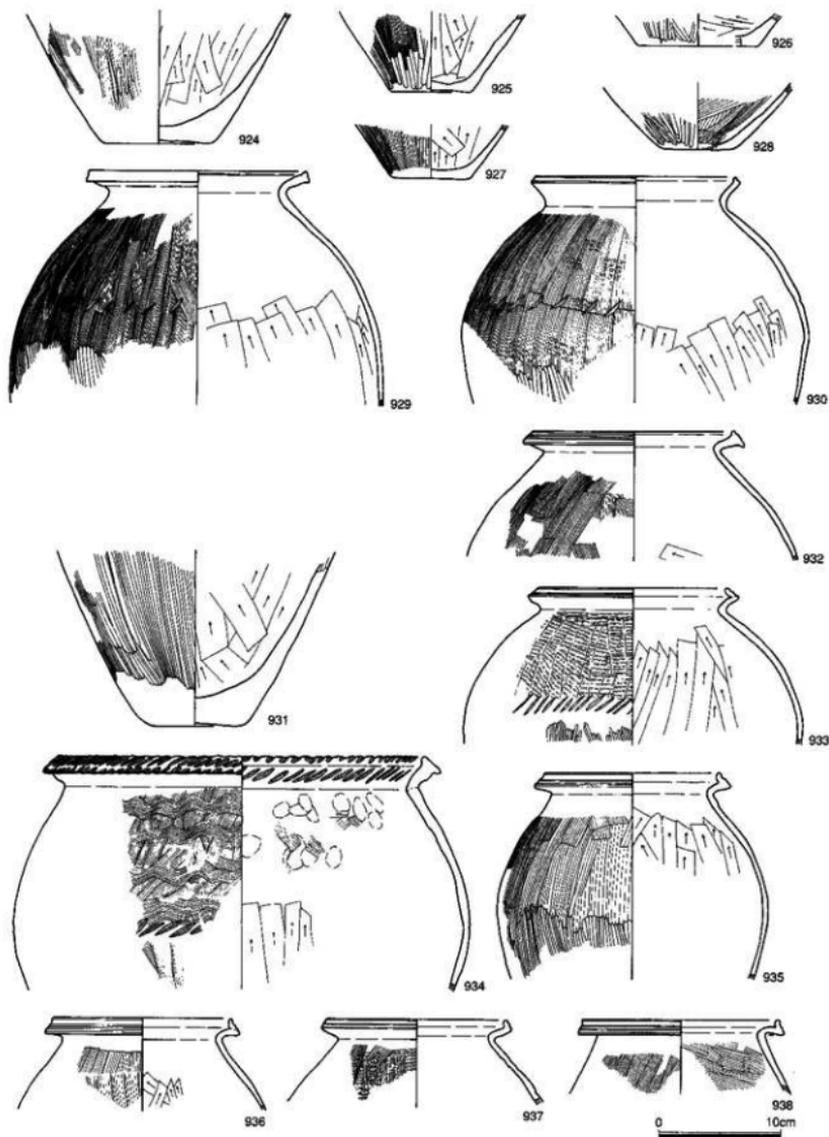
第254図 SK2024平・断面図 (S=1/25)



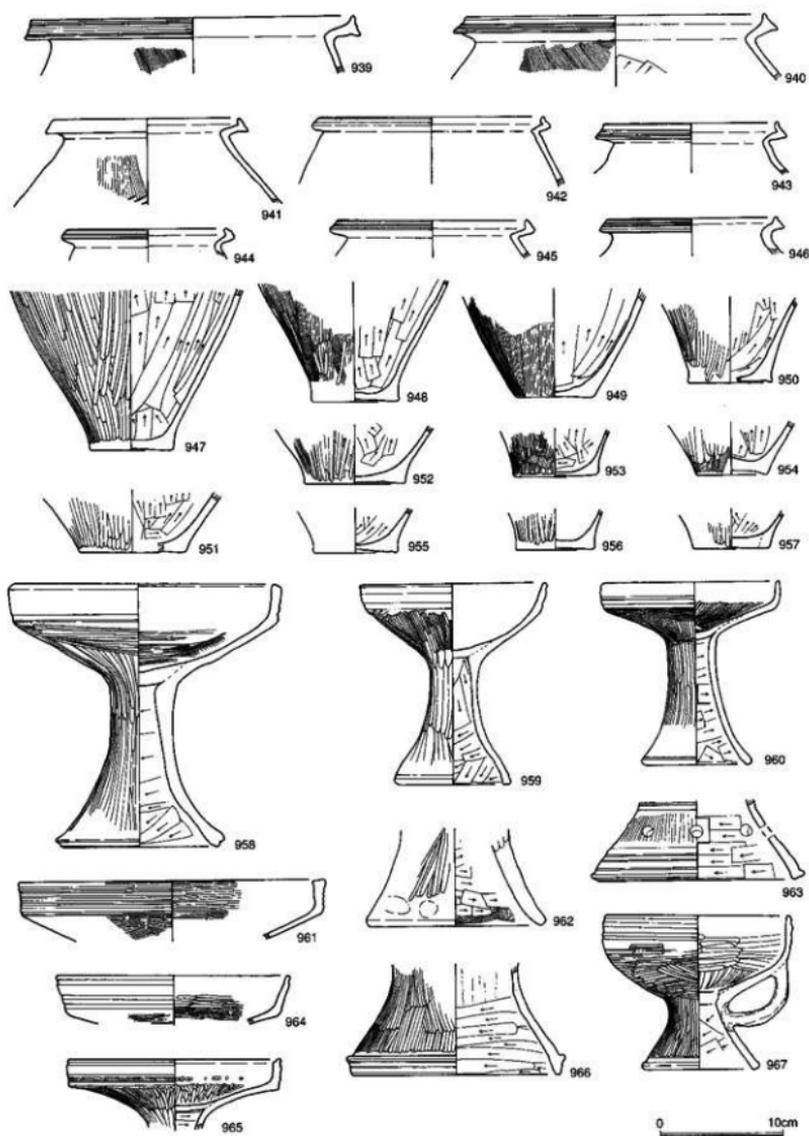
第255図 SK2024遺物出土状況図 (S=1/20)



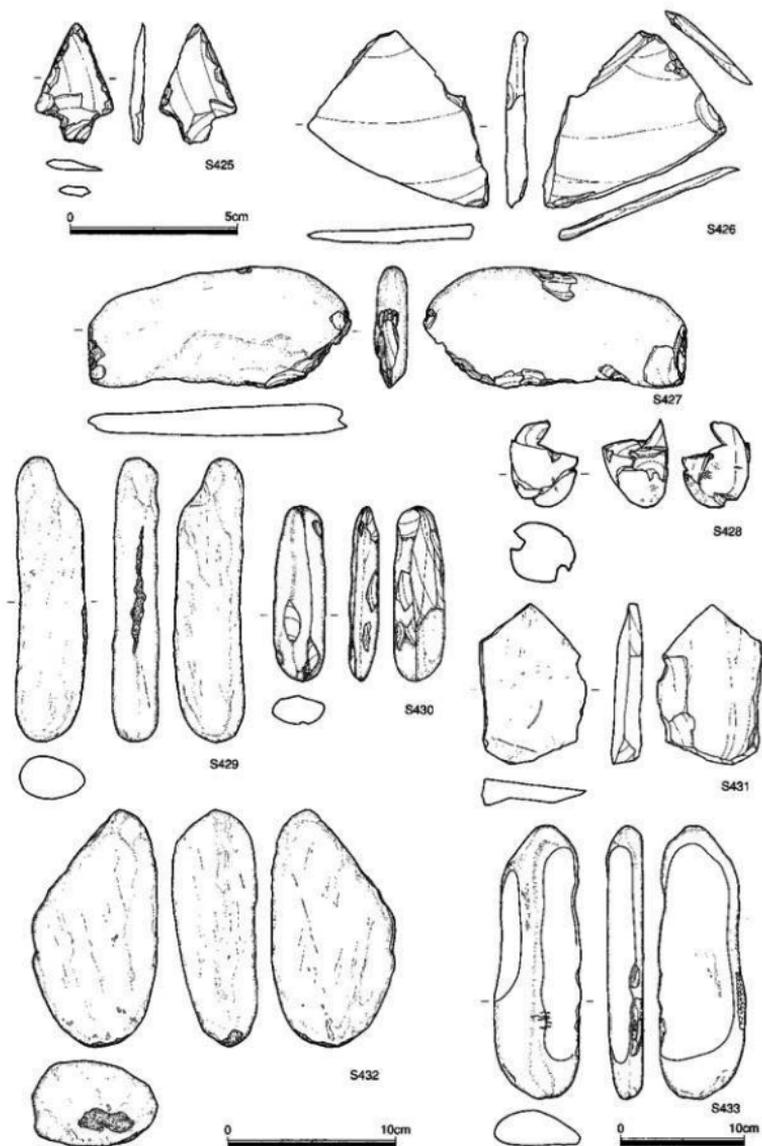
第256图 SK2024出土土器(1)



第257图 SK2024出土土器(2)



第258图 SK2024出土土器(3)



第259图 SK2024出土石器

溝状遺構 (SK2026)

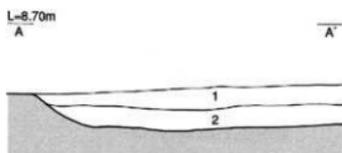
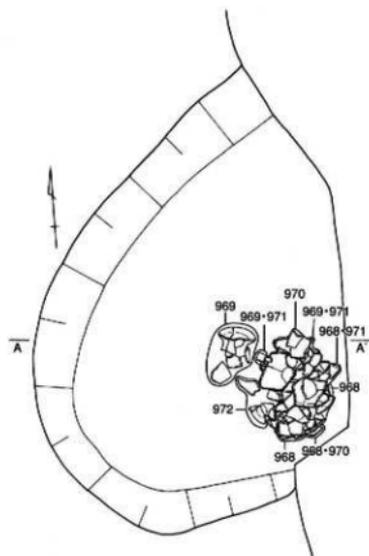
位置 7区 Loc.E2 α II k12~3

平面形 楕円形

土層 2層

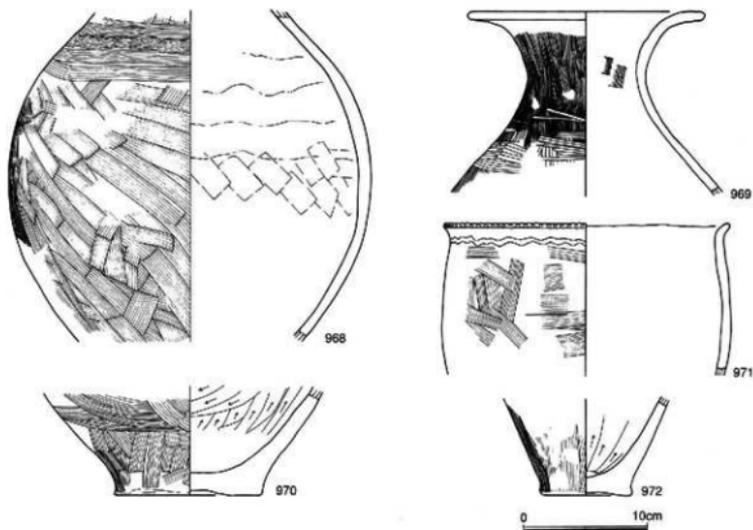
遺物出土状況 覆土から土器が出土している。出土状況図にあるように、土坑の中央やや南東よりに土器片が出土している。図示できた土器は、壺、甕の5点である。

時期 弥生時代中期前半

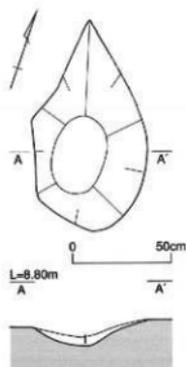


- 1 オリーブ褐色 2.5Y4/6 砂質土 (マンガンを多く含む)  
2 褐色 10YR4/4 砂質土 (マンガンを多く含む)

第260図 SK2026平・断面図、遺物出土状況図 (S=1/25)

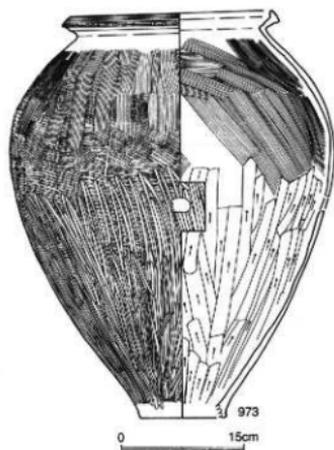


第261図 SK2026出土土器



1 黄褐色 2.5Y5/3 粘性砂質土  
(5m程度の礫を含む。)

第262図 SK2031平・断面図 (s=1/25)



第263図 SK2031出土土器

#### 土坑 (SK2031)

位置 8区 Loc.D2 δⅡ p5 平面形 楕円形 土層 1層

遺物出土状況 覆土からほぼ完形で甕が出土している。口縁部を北側に向けて、横倒しの状態で見つっている。土器体部と底部には穿孔が施されている。甕の口縁部を塞ぐような土器片は見つかっていない。

時期 弥生時代中期後半

備考 出土状況から土器棺墓の可能性も考えられる。

#### 土坑 (SK2032)

位置 8区 Loc.D2 δⅡ r5 平面形 楕円形 土層 1層

遺物出土状況 覆土からほぼ完形で甕と鉢が出土している。口縁部を東側に向けて、横倒しの状態で見つっている。土器体部と底部には穿孔が施されている。甕の口縁部を塞ぐような形で鉢が見つっている。

時期 弥生時代中期後半

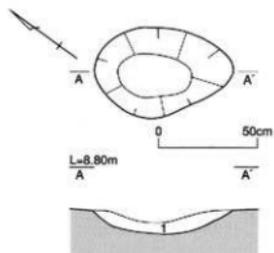
備考 出土状況から土器棺墓の可能性も考えられる。

#### 土坑 (SK2034)

位置 9区 Loc.D2 δⅡ t4 平面形 楕円形 土層 3層

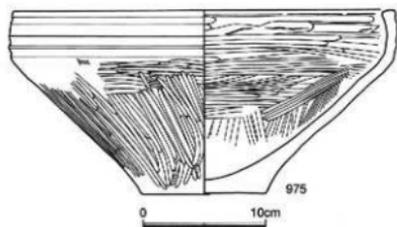
遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、甕、甕の5点である。

時期 弥生時代中期後半

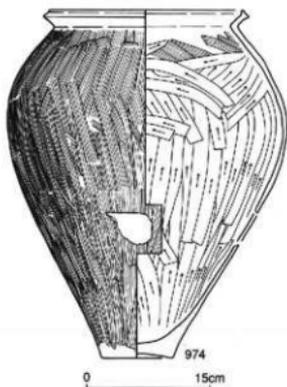


1 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘性砂質土  
(粘性がやや強い。マンガ、礫、小石を含む。)

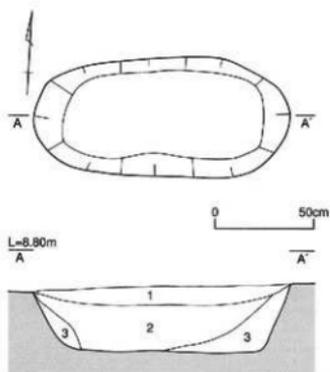
第264図 SK2032平・断面図 (S=1/25)



第265図 SK2032出土土器 (1)

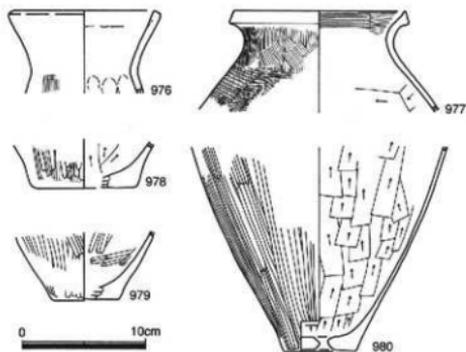


第266図 SK2032出土土器 (2)

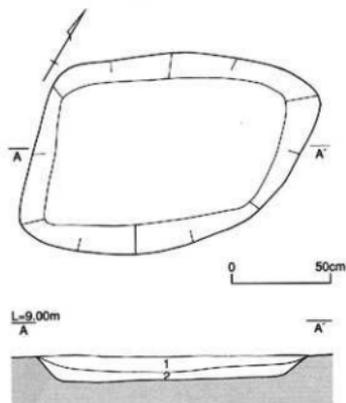


1 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘質土  
2 褐色 7.5YR4/3 粘質土  
3 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土

第267図 SK2034平・断面図 (S=1/25)

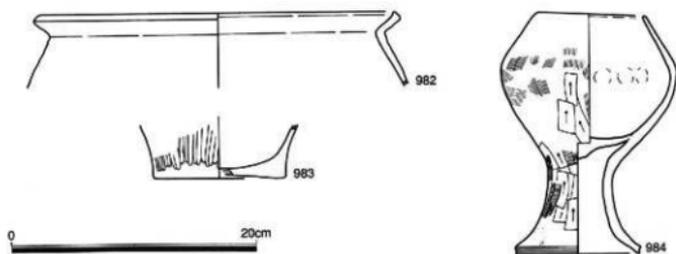


第268図 SK2034出土土器



- 1 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土  
 2 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土 (3~4cm大と1~2cm大の礫を含む。)

第269図 SK2035平・断面図 (S=1/25)



第270図 SK2035 出土土器

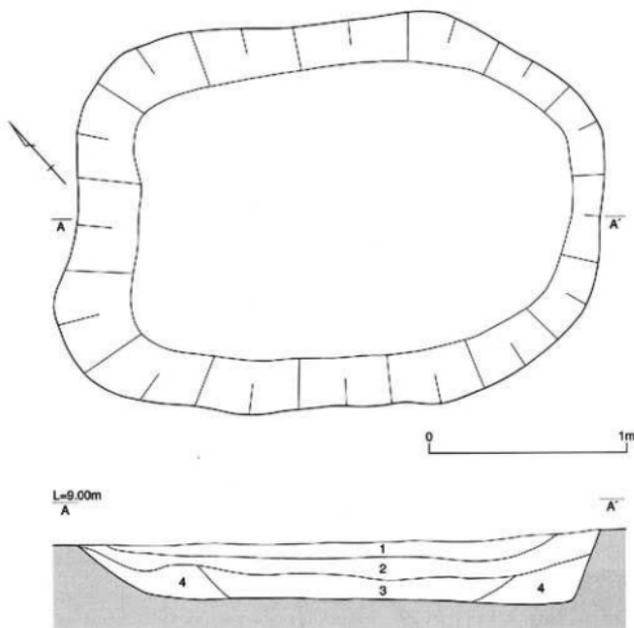
土坑 (SK2035)

位置 9区 Loc.D2 δ II t5 平面形 不整な方形

土層 2層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺と鉢（脚台付）の3点である。

時期 弥生時代中期後半



- |          |         |       |       |         |       |
|----------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 1 褐色     | 10YR4/4 | 粘性砂質土 | 3 黄褐色 | 2.5Y5/4 | 粘性砂質土 |
| 2 オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘性砂質土 | 4 褐色  | 10YR4/6 | 粘性砂質土 |

第271図 SK2042平・断面図 (S=1/25)

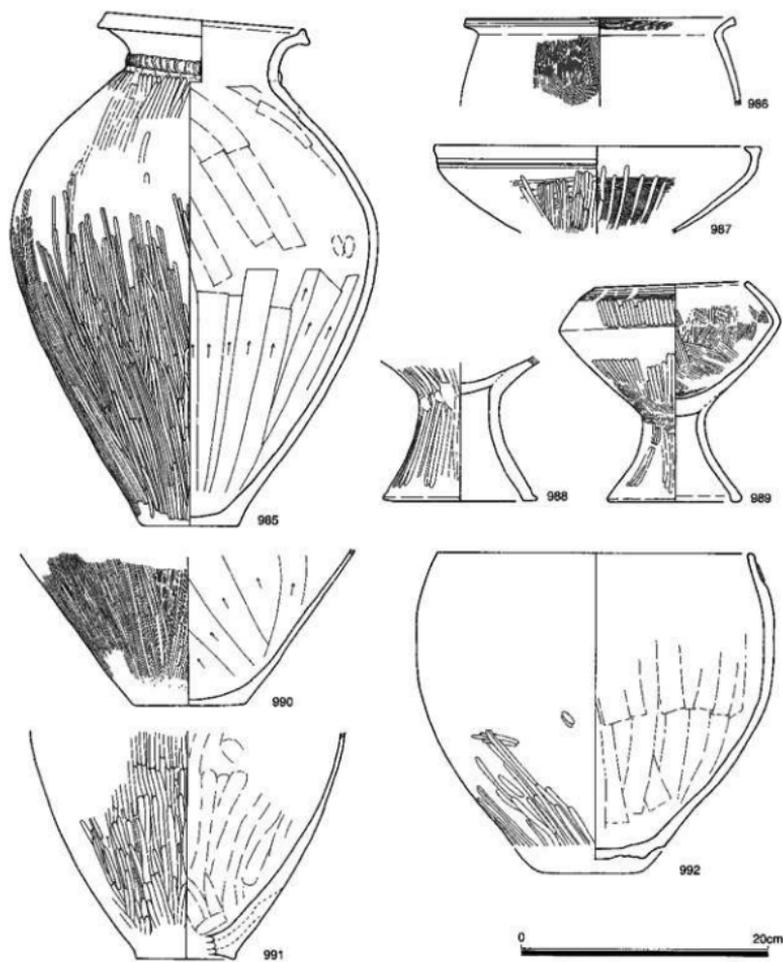
土坑 (SK2042)

位置 9区 Loc.D2 e II f3~4 平面形 隅丸長方形

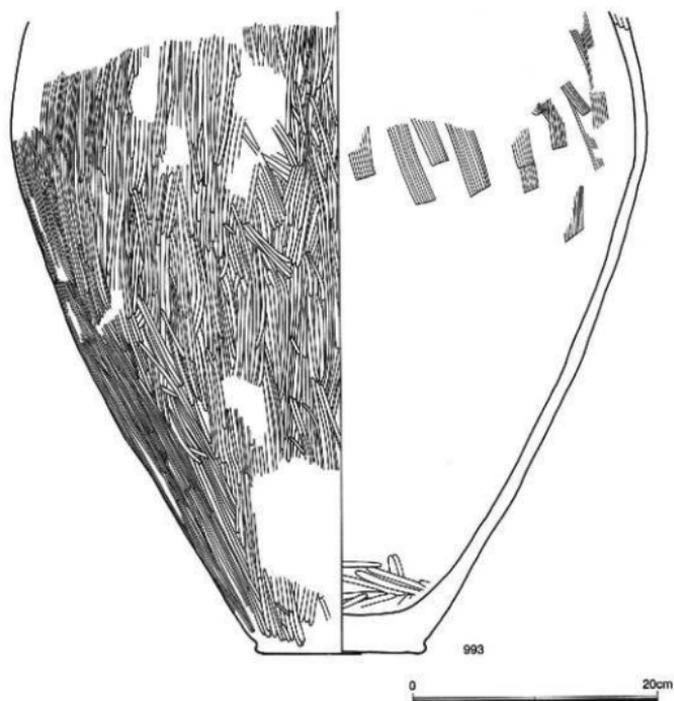
土層 4層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の9点である。一方、石器は、砥石が1点図示できた。

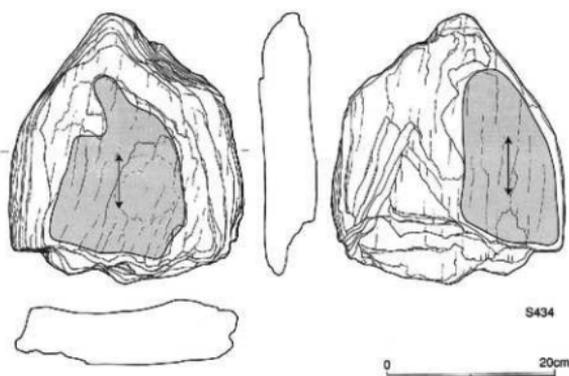
時期 弥生時代中期後半



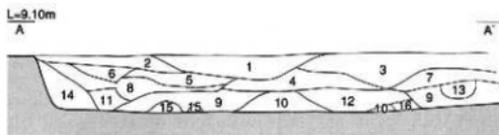
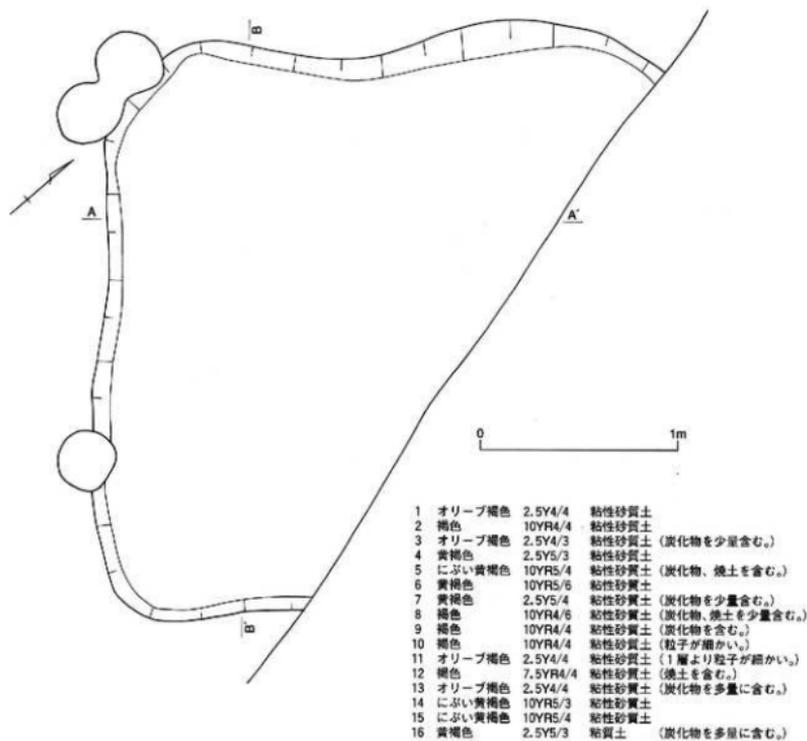
第272図 SK2042出土土器(1)



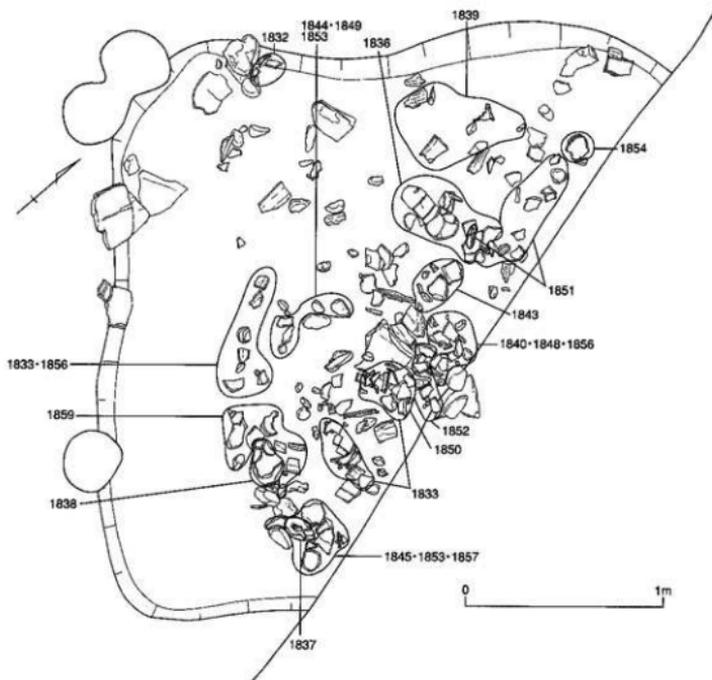
第273図 SK2042出土土器 (2)



第274図 SK2042出土石器



第275図 SK2043平・断面図 (S=1/25)



第276図 SK2043遺物出土状況図 (S=1/25)

土坑 (SK2043)

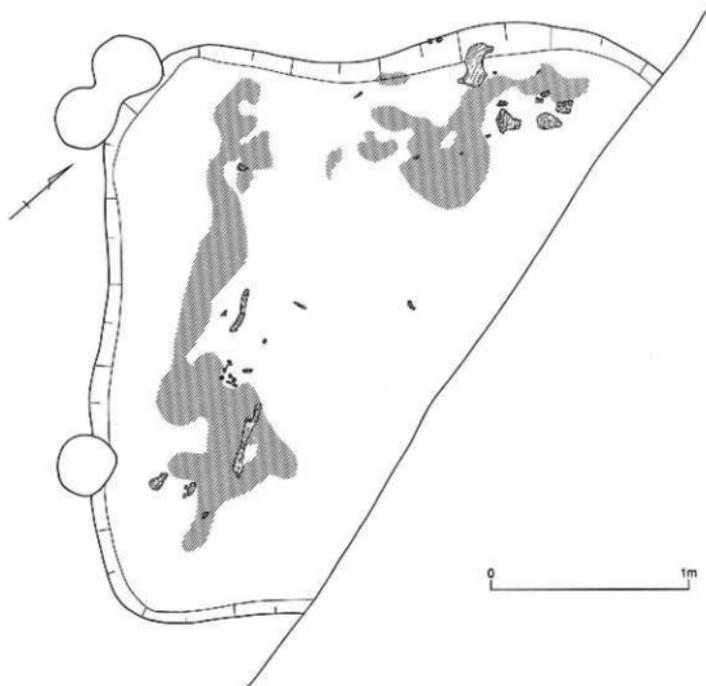
位置 9区 Loc.D2 e II g4 平面形 方形

土層 16層

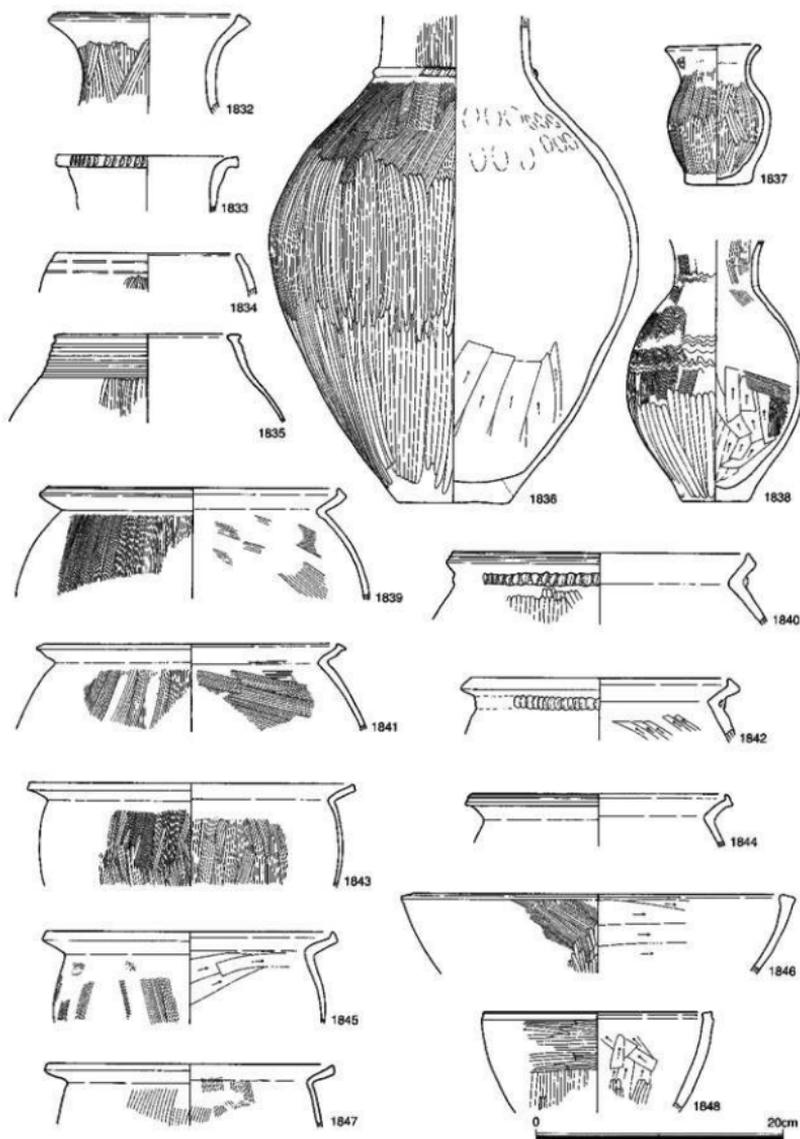
遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、鉢、高杯の28点である。一方、石器は、砥石が3点図示できた。また、出土状況図にあるように、土坑内から炭化材、炭化物、焼土が多量に検出されている。

時期 弥生時代中期後半

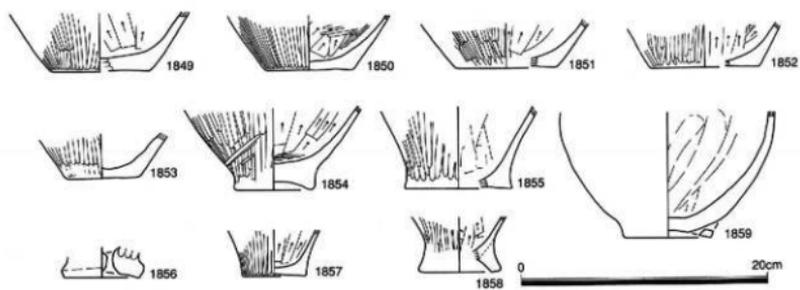
備考 平面形態や断面観察から竪穴住居跡の可能性が指摘できる。ただし、柱穴や炉跡は確認されていない。そのため竪穴住居跡であると断定はできない。



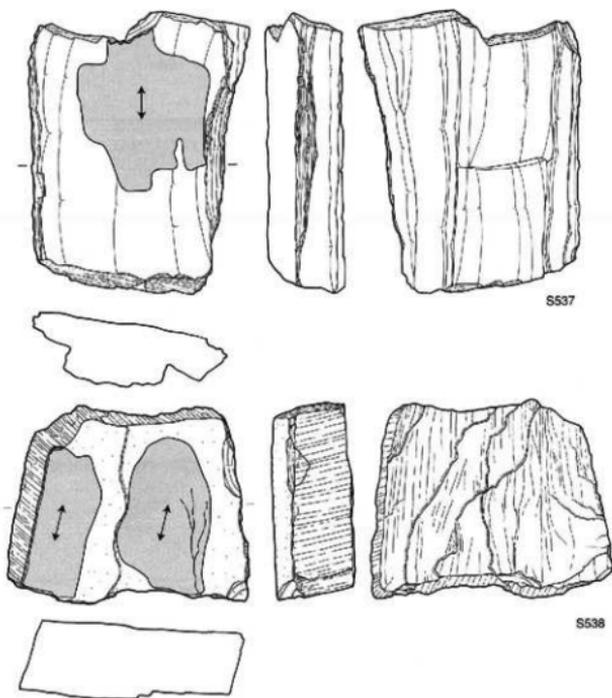
第277図 SK2043焼土、炭化材出土状況図 (S=1/25)



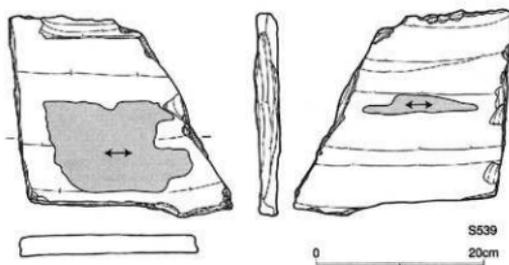
第278图 SK2043出土土器(1)



第279图 SK2043出土土器 (2)



第280图 SK2043出土石器 (1)



第281図 SK2043出土石器(2)

土坑(SK2044)

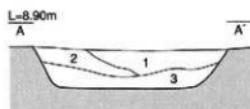
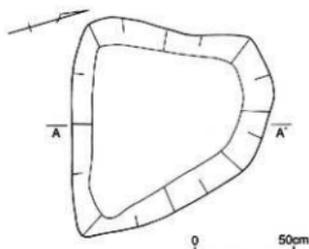
位置 9区 Loc.D2 e II g2

平面形 不整な方形

土層 3層

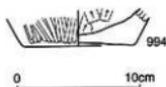
遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、壺の1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

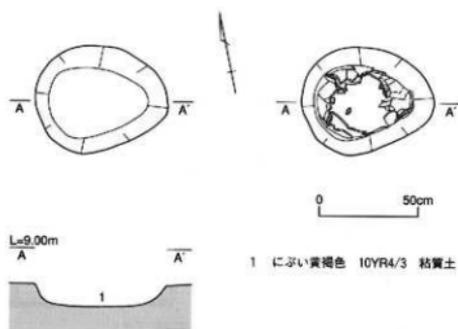


- 1 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘性砂質土
- 2 オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘性砂質土
- 3 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘性砂質土

第282図 SK2044平・断面図 (S=1/25)

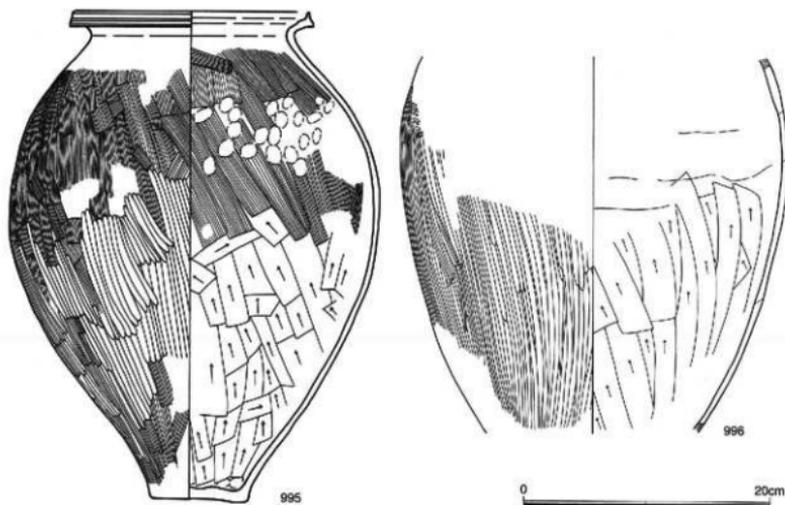


第283図 SK2044出土土器



1 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘質土

第284図 SK2047平・断面図。遺物出土状況図 (S=1/25)



第285図 SK2047出土土器

土坑 (SK2047)

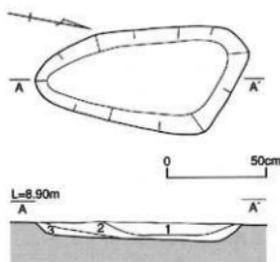
位置 9区 Loc.D2 ε II h4 平面形 楕円形

土層 1層

遺物出土状況 覆土から甕形土器が2点出土している。出土状況図にあるように、口縁部を西側に向けて、横倒しの状態で出土している。口縁部は、別の甕形土器の体部破片で覆いをされていた。

時期 弥生時代中期後半

備考 出土状況からすれば、土器棺墓の可能性が指摘できる。



1 オリーブ褐色 2.5Y4/4 砂質土 (炭化物を含む。)  
 2 黄褐色 2.5Y5/4 砂質土 (炭化物を含む。)  
 3 オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土  
 第286図 SK2048平・断面図 (=1/25)



第287図 SK2048出土土器

#### 土坑 (SK2048)

位置 9区 Loc.D2 e II h 4 平面形 楕円形

土層 3層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕1点だけである。

時期 弥生時代中期後半

#### 土坑 (SK2052)

位置 10区 Loc.D2 e II lm 2 平面形 長方形

土層 11層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕4点である。

時期 弥生時代中期後半

#### 土坑 (SK2054)

位置 10区 Loc.D2 e II mn 1~2 平面形 隅丸方形

土層 1層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯の4点である。一方、石器は、楔形石器、敲石・磨石、剥片の5点が図示できた。

時期 弥生時代中期後半

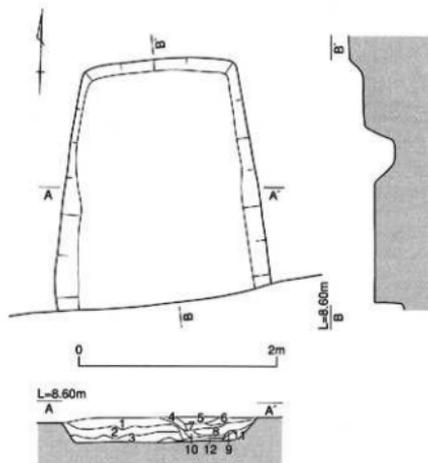
#### 土坑 (SK2055)

位置 10区 Loc.D2 e II n 2 平面形 楕円形

土層 4層

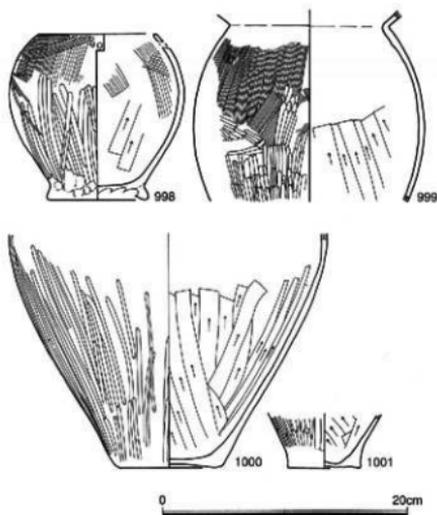
遺物出土状況 覆土から石器が出土している。図示できた石器は、剥片の4点である。

時期 弥生時代中期後半

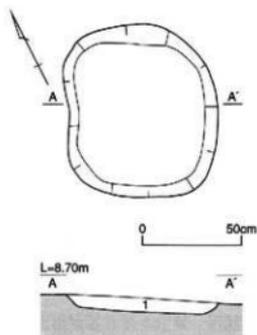


- |    |        |         |                    |
|----|--------|---------|--------------------|
| 1  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土 (焼土ブロックを微量含む。) |
| 2  | 褐色     | 7.5Y4/3 | 粘質土                |
| 3  | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘質土 (炭化物を微量含む。)    |
| 4  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘質土 (炭化物を微量含む。)    |
| 5  | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘質土                |
| 6  | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土                |
| 7  | 褐色     | 10YR4/4 | 粘質土                |
| 8  | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘質土                |
| 9  | 褐色     | 10YR4/4 | 粘質土                |
| 10 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土 (炭化物を含む。)      |
| 11 | 暗褐色    | 10YR3/3 | 粘質土 (炭化物を微量含む。)    |

第288図 SK2052平・断面図 (S=1/50)

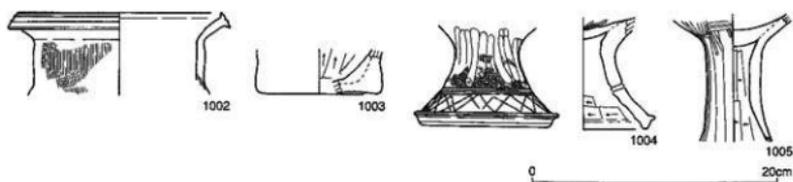


第289図 SK2052出土土器

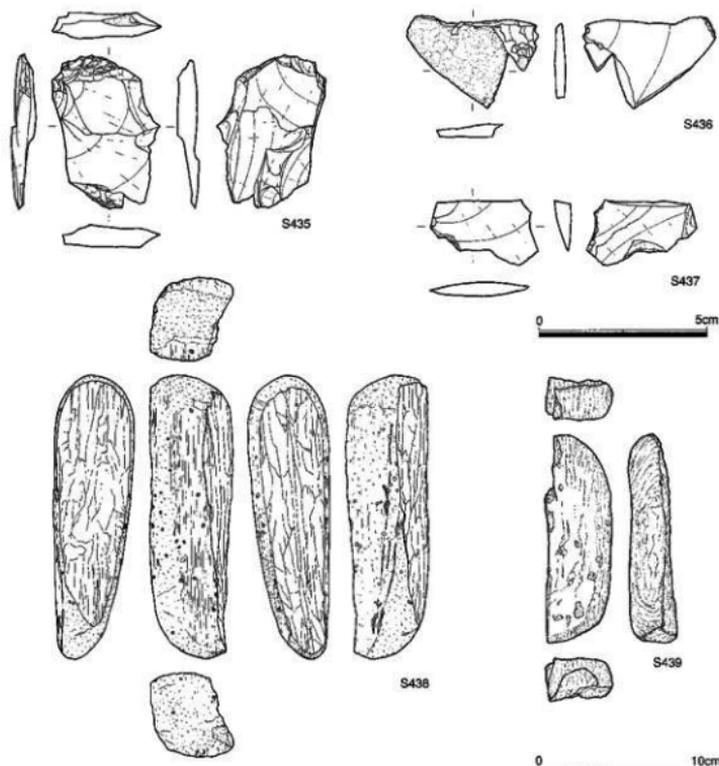


- 1 褐色 10YR4/4 粘性砂質土

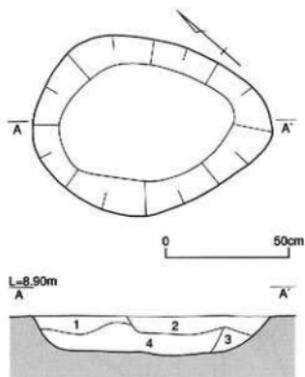
第290図 SK2054平・断面図 (S=1/25)



第291図 SK2054出土土器

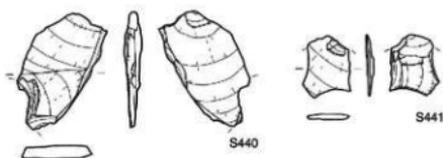


第292図 SK2054出土石器

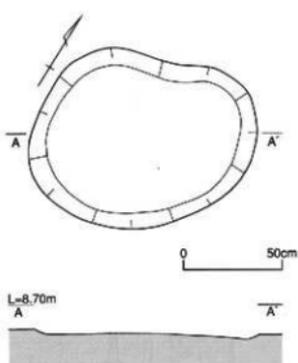
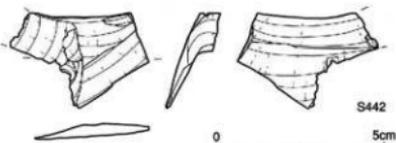


- 1 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘質土 (炭化物を含む)  
 2 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土  
 3 にぶい黄褐色 2.5Y6/4 粘性砂質土  
 4 黄褐色 10YR4/4 粘性砂質土

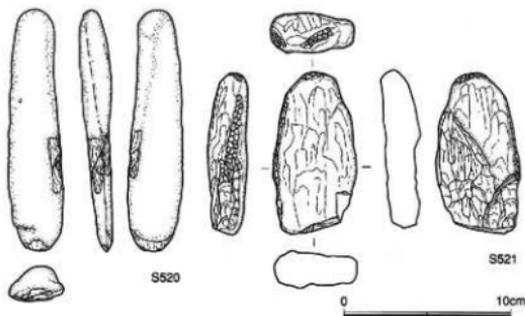
第293図 SK2055平・断面図 (S=1/25)



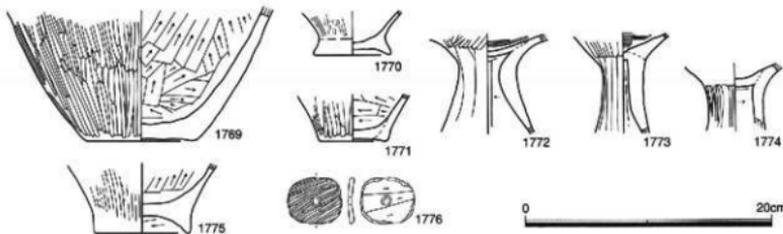
第294図 SK2055出土石器



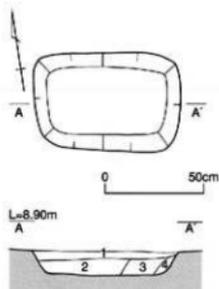
第295図 SK2056平・断面図 (S=1/25)



第296図 SK2056出土石器

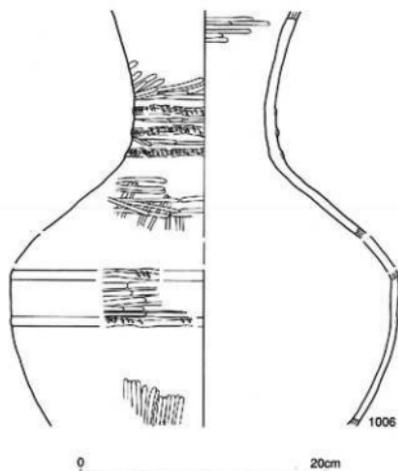


第297図 SK2056出土土器



- 1 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土
- 2 黄褐色 2.5Y5/4 粘質土
- 3 オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘性砂質土
- 4 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土

第298図 SK2057平・断面図 (S=1/25)



第299図 SK2057出土土器

土坑 (SK2056)

位置 10区 Loc.D2 e II n2 平面形 楕円形

土層 不明

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕、高杯、紡錘車の8点である。一方、石器は、敲石などが2点図示できた。

時期 弥生時代中期後半

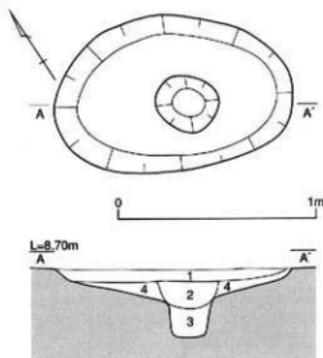
土坑 (SK2057)

位置 10区 Loc.D2 e II no2 平面形 長方形

土層 4層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、壺の1点だけである。

時期 弥生時代前期末～中期初頭



- 1 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘質土 3 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘質土  
 2 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘粒砂質土 4 褐色 10YR4/4 粘質土

第300図 SK2059平・断面図 (S=1/25)

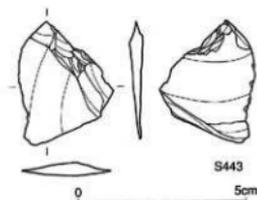
土坑 (SK2059)

位置 10区 Loc.D2 ε II o1 平面形 楕円形

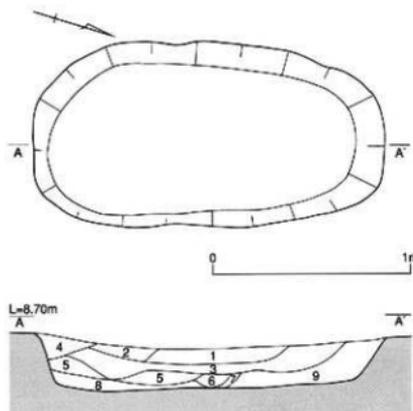
土層 4層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の石器が出土している。図示できた石器は、剥片の1点だけである。

時期 弥生時代中期後半



第301図 SK2059出土石器



- 1 褐色 7.5YR4/3 粘質土 (炭化物、焼土を含む)  
 2 にぶい黄褐色 10YR4/3 粘質土 (炭化物、焼土を含む)  
 3 にぶい黄褐色 10YR5/3 粘質土 (炭化物を微量含む)  
 4 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘質土  
 5 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土 (炭化物、焼土ブロックを含む)  
 6 黄褐色 2.5Y5/4 粘質土  
 7 にぶい黄褐色 10YR5/4 粘質土  
 8 褐色 10YR4/4 粘質土  
 9 にぶい赤褐色 5YR4/4 粘質土 (にぶい黄褐色の粘質土を多量に含む。炭化物を含む。)

第302図 SK2065平・断面図 (S=1/25)

土坑 (SK2065)

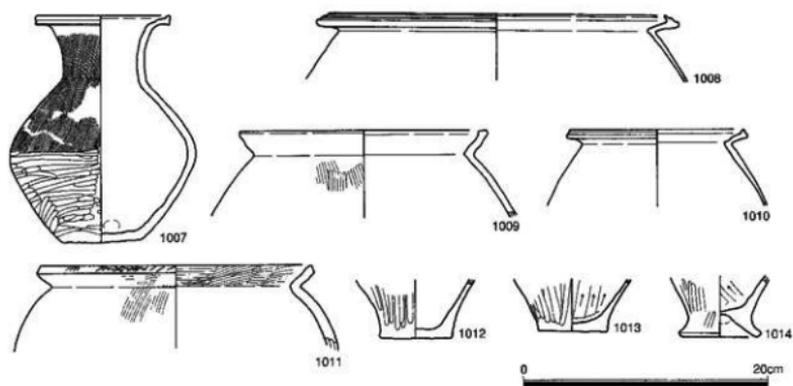
位置 10区 Loc.D2 ε II o1

平面形 楕円形

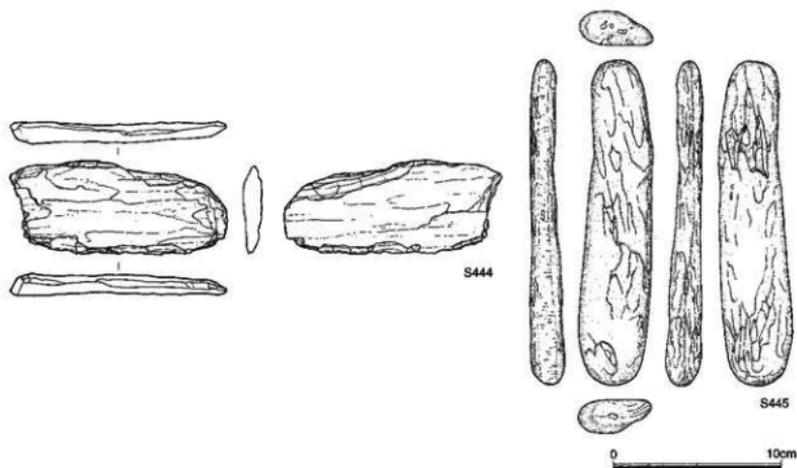
土層 9層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の8点である。一方、石器は、石庵丁と敲石が2点図示できた。

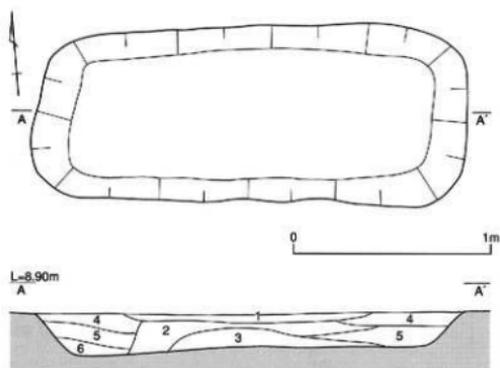
時期 弥生時代中期後半



第303图 SK2065出土土器

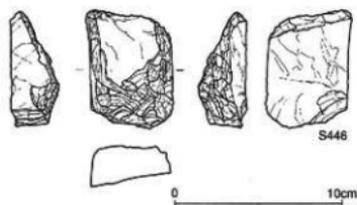


第304图 SK2065出土石器



- |          |         |       |          |         |       |
|----------|---------|-------|----------|---------|-------|
| 1 褐色     | 10YR4/6 | 砂質土   | 4 にぶい黄褐色 | 10YR6/4 | 粘性砂質土 |
| 2 にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 粘性砂質土 | 5 黄褐色    | 10YR5/6 | 粘質土   |
| 3 にぶい黄褐色 | 10YR6/3 | 粘性砂質土 | 6 黄褐色    | 10YR5/8 | 粘質土   |

第305図 SK2066平・断面図 (S=1/25)



第306図 SK2066出土石器

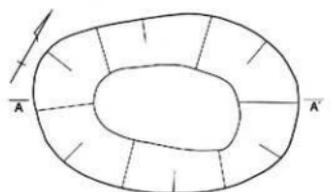
土坑 (SK2066)

位置 10区 Loc.D2 e I p20 平面形 長方形

土層 6層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の石器が出土している。図示できた石器は、敲石の1点だけである。

時期 弥生時代中期後半



土坑 (SK2068)

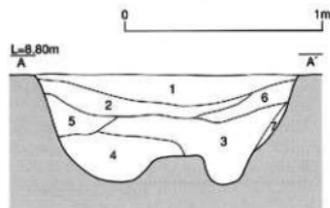
位置 10区 Loc.D2 ε II q1

平面形 楕円形

土層 7層

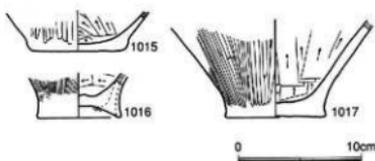
遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕の3点である。

時期 弥生時代中期後半

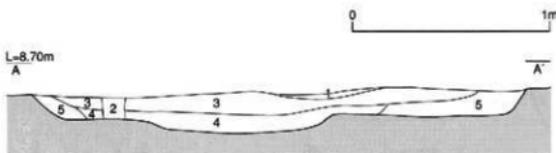
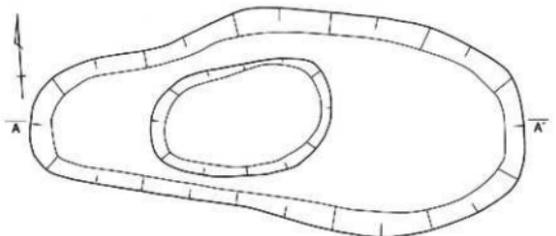


- |                  |                 |                   |       |
|------------------|-----------------|-------------------|-------|
| 1 にびい黄褐色 10YR4/3 | 粘粒砂質土           | 4 暗オリーブ褐色 2.5Y2/3 | 粘粒砂質土 |
| 2 紫色 10YR4/4     | 粘質土             | 5 黄褐色 2.5Y5/4     | 粘粒砂質土 |
| 3 暗褐色 10YR3/4    | 粘質土<br>(炭化物を含む) | 6 オリーブ褐色 2.5Y4/3  | 粘質土   |
|                  |                 | 7 オリーブ褐色 2.5Y4/4  | 粘粒砂質土 |

第307図 SK2068平・断面図 (S=1/25)



第308図 SK2068出土土器



- |                  |                       |                  |                 |
|------------------|-----------------------|------------------|-----------------|
| 1 にびい黄褐色 10YR4/3 | 粘質土                   | 4 にびい黄褐色 10YR5/3 | 粘質土             |
| 2 にびい黄褐色 10YR5/4 | 粘質土 (0.3%程度の炭化物を少量含む) | 5 明黄褐色 10YR6/6   | 粘質土 (黄土ブロックを含む) |
| 3 にびい黄褐色 10YR4/3 | 粘質土 (0.8%程度の炭化物を少量含む) |                  |                 |

第309図 SK2073平・断面図 (S=1/25)



第310図 SK2073出土土器

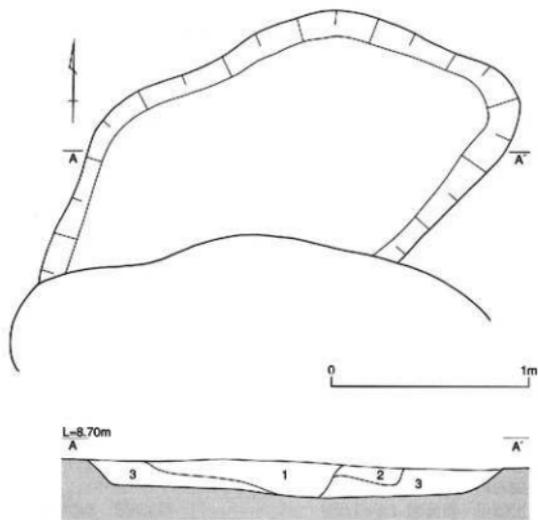
土坑 (SK2073)

位置 10区 Loc.D2 ε I・II q20~1 平面形 楕円形

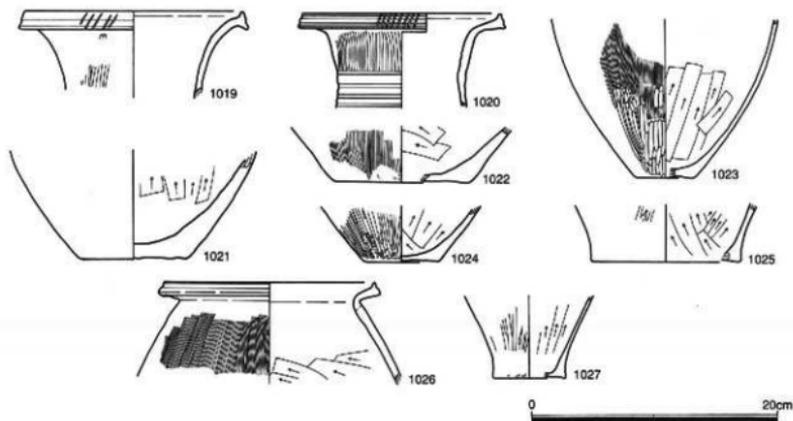
土層 5層

遺物出土状況 覆土からわずかな量の土器が出土している。図示できた土器は、甕の1点だけである。

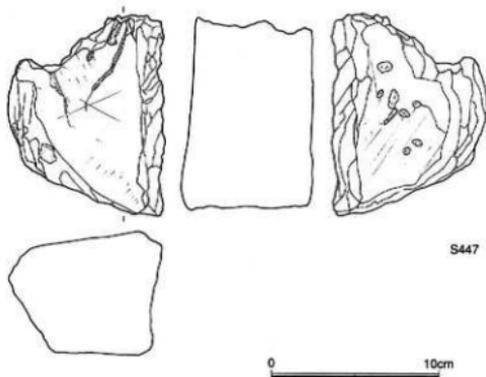
時期 弥生時代中期後半



1 暗褐色 10YR3/3 粘質土 2 灰黄褐色 10YR4/2 粘質土 3 オリーブ褐色 2.5Y4/4 粘質土  
 第311図 SK2076平・断面図 (S=1/25)



第312図 SK2076出土土器



第313図 SK2076出土石器

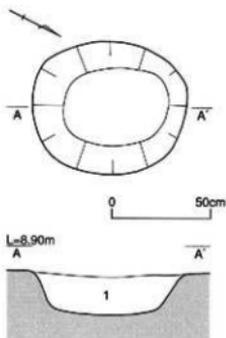
土坑 (SK2076)

位置 10区 Loc.D2 e I・II q20~1 平面形 不整な楕円形

土層 3層

遺物出土状況 覆土から土器と石器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の9点である。一方、石器は、砥石が1点図示できた。

時期 弥生時代中期後半



土坑 (SK2077)

位置 10区 Loc.D2 e II r1 平面形 円形

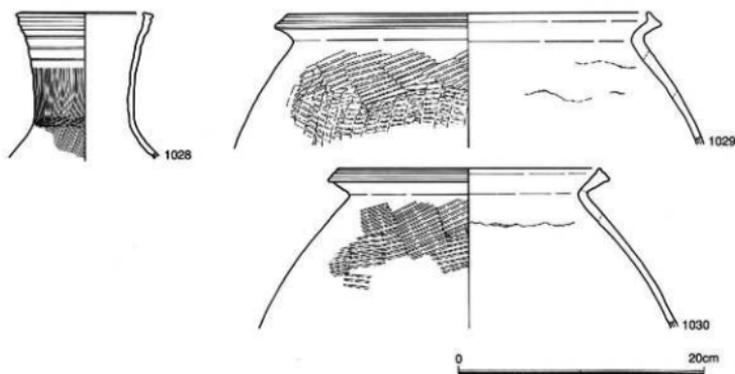
土層 1層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。図示できた土器は、壺、甕の3点である。

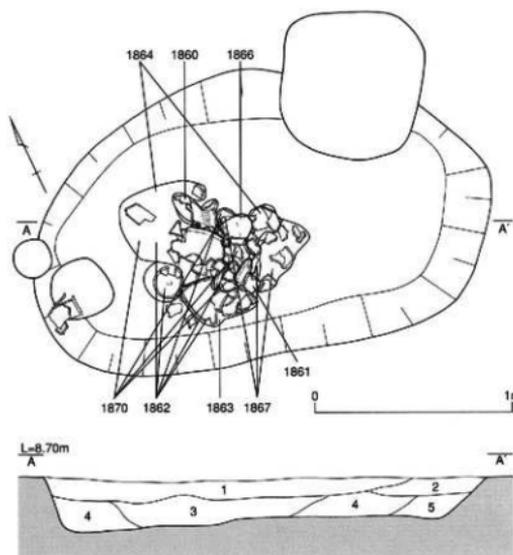
時期 弥生時代中期後半

1 暗褐色 10YR3/4 粘性砂質土

第314図 SK2077平・断面図 (s=1/25)



第315図 SK2077出土土器



土坑 (SK2078)

位置 10区

Loc.D2 ε I・II r20~1

平面形 楕円形

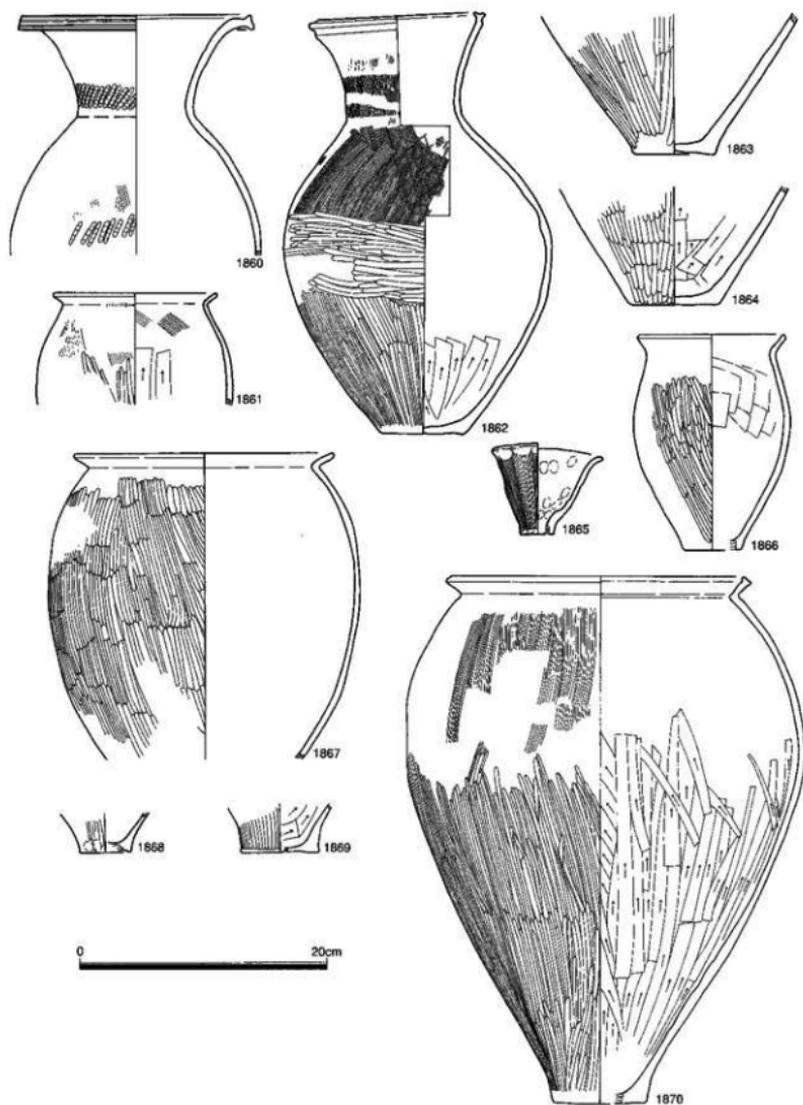
土層 5層

遺物出土状況 覆土から土器が出土している。出土状況図にあるように、土坑中央やや南西よりで、まとめて検出されている。図示できた土器は、壺、甕、鉢の11点である。

時期 弥生時代中期後半

- |   |        |         |     |   |        |         |              |
|---|--------|---------|-----|---|--------|---------|--------------|
| 1 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 粘質土 | 4 | オリーブ褐色 | 2.5Y4/4 | 粘質土          |
| 2 | 褐色     | 10YR4/4 | 粘質土 | 5 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 粘質土 (粒子が細かい) |
| 3 | にぶい黄褐色 | 10YR5/3 | 粘質土 |   |        |         |              |

第316図 SK2078平・断面図、遺物出土状況 (S=1/25)



第317图 SK2078出土土器